

旧 鵜 巢 小 学 校 災 害 復 旧 工 事

図面リスト

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－０１	建築改修工事仕様書 その１	A－２７	校舎棟 ２階天井伏図、損傷リスト	E－０１	工事仕様書（電気設備） １／３
A－０２	建築改修工事仕様書 その２	A－２８	校舎棟 ３階天井伏図、損傷リスト	E－０２	工事仕様書（電気設備） ２／３
A－０３	建築改修工事仕様書 その３	A－２９	校舎棟 １階展開図（１）、損傷リスト	E－０３	工事仕様書（電気設備） ３／３
A－０４	建築改修工事仕様書 その４	A－３０	校舎棟 １階展開図（２）、損傷リスト	E－０４	改修前後 校舎 照明器具姿図
A－０５	建築物概要・配置図・付近見取図	A－３１	校舎棟 ２階展開図、損傷リスト	E－０５	改修前後 校舎 １階平面 L E D取替工事図
A－０６	敷地面積求積図	A－３２	校舎棟 ３階展開図（１）、損傷リスト	E－０６	改修前後 校舎 ２階平面 L E D取替工事図
A－０７	床面積求積図・求積表	A－３３	校舎棟 ３階展開図（２）、損傷リスト	E－０７	改修前後 校舎 ３階平面 L E D取替工事図
A－０８	校舎棟 既存仕上表	A－３４	屋内運動場棟 既存仕上表	E－０８	改修前後 体育館 照明器具姿図
A－０９	校舎棟 １階平面図	A－３５	屋内運動場棟 １階平面図	E－０９	改修前後 体育館 １階平面 L E D取替工事図
A－１０	校舎棟 １階損傷リスト	A－３６	屋内運動場棟 １階平面損傷リスト	E－１０	改修前後 体育館 屋階平面 L E D取替工事図
A－１１	校舎棟 ２階平面図	A－３７	屋内運動場棟 ２階平面図、屋根伏図、損傷リスト	E－１１	キュービクル改修等災害復旧工事
A－１２	校舎棟 ２階損傷リスト	A－３８	屋内運動場棟 立面図（１）、損傷リスト		
A－１３	校舎棟 ３階平面図	A－３９	屋内運動場棟 立面図（２）、損傷リスト		
A－１４	校舎棟 ３階損傷リスト	A－４０	屋内運動場棟 建具リスト（１）		
A－１５	校舎棟 屋根伏図	A－４１	屋内運動場棟 建具リスト（２）	M－０１	工事仕様書（機械設備） ３枚組
A－１６	校舎棟 屋根損傷リスト	A－４２	屋内運動場棟 建具リスト（３）	M－０２	工事仕様書（機械設備） ２／３
A－１７	校舎棟 立面図（１）	A－４３	屋内運動場棟 建具リスト（４）	M－０３	工事仕様書（機械設備） ３／３
A－１８	校舎棟 立面（１）損傷リスト	A－４４	屋内運動場棟 １階天井伏図、損傷リスト	M－０４	校舎棟 給排水設備 １階平面図
A－１９	校舎棟 立面図（２）	A－４５	屋内運動場棟 屋階天井伏図、損傷リスト	M－０５	校舎棟 給排水設備 屋根伏図
A－２０	校舎棟 立面（２）損傷リスト	A－４６	屋内運動場棟 展開図（１）、損傷リスト	M－０６	校舎棟 給排水設備 １階食堂・配膳室 詳細図
A－２１	校舎棟 建具リスト（１）	A－４７	屋内運動場棟 展開図（２）、損傷リスト	M－０７	屋外ポンプ室 給排水設備 １階平面図
A－２２	校舎棟 建具リスト（２）	A－４８	E X P．J 部分 平面図（改修前） 詳細図（改修後）	M－０８	校舎棟 空調設備 １階平面図
A－２３	校舎棟 建具リスト（３）	A－４９	屋外附帯配置図・断面図・詳細図（改修前）	M－０９	屋内運動場 空調設備 １階平面図
A－２４	校舎棟 建具リスト（４）	A－５０	屋外附帯損傷リスト		
A－２５	校舎棟 建具リスト（５）	A－５１	屋外附帯配置図・断面図・詳細図（改修後）		
A－２６	校舎棟 １階天井伏図、損傷リスト	A－５２	仮設計画図		

監 修 輪 島 市 教 育 委 員 会 教 育 総 務 課
年 月 日



（株）ヒゲウコン建築事務所

金 沢 市 笠 舞 ３ 丁 目 ２ ３ 番 １ ３ 号 T E L（ 0 7 6 ） 2 2 2 - 5 5 2 2
1級建築士 登録 第215321号 佐 藤 和 仁

工 事 名 称

旧鵜巢小学校災害復旧工事

図 面 名 称

図面リスト

検 印

係 印

製 図

縮 尺

N . S

設 計 年 月 日

R8.2.4

図 面 番 号

／

最終改訂 令和7年10月1日

建築改修工事仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名

旧鵜巣小学校災害復旧工事

2 工事場所

輪島市 大野町菰沢

3 工事種目

外壁改修工事

屋根改修工事

内部改修工事、塗装改修工事、内装改修工事

建具改修工事

環境配慮改修工事

屋外付帯工事

電気・機械設備改修工事

4 完成期日

令和 9 年 3 月 3 1 日（概成工期 令和 年 月 日）
（余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。）

5 別契約
関連工事

・ 屋外付帯工事

・ 植栽工事

・ 電気設備工事

・ 給排水衛生設備工事

・ 暖房設備工事

・ 冷房設備工事

・ 換気設備工事

・ 空調設備工事

・ 昇降機設備工事

・ 電話設備工事

・ 浄化槽設備工事

○ 解体工事（プール）

Ⅱ 建築工事仕様

1 共通仕様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）（以下「解体共仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準」という。）による。
2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（ 〃 ）図、機械設備工事の工事仕様書は（ 〃 ）図による。
2 特記仕様
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「標準」の該当項目、当該図又は当該表を示す。
4）（別図ー ）は、「標準」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。
5）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
6）〔G〕印は、「図等による環境物品等の調達に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
7）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。
8）斜線で消した章は適用しない。

1 章 一般共通事項

① 適用基準等

設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。
○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
○建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房営繕部 令和3年通知）のうち第3章
○営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
○営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部令和3年度版）
・ 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
○屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修 平成29年版）
○鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
・ 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
・ 鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修）
・ 石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（施設整備の手引き）
・ 石川県公共事業景観形成ガイドライン

② 工事実績情報の登録

※登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）

③ 発生材の処理

1）産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。
また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。
2）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。
イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所・引渡を要するもの・引渡し場所
ロ）特別管理産業廃棄物の有無・有○無
ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 A-04 番 図参照
3）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。
・現場で再利用を図るもの
○再資源化を図るもの
4）せつこうボードの処理（有害物質非含有のものに限る） [1.3.12]
○最終処分・再資源化
5）PCB含有シーリング材分析調査・する ※しない [1.3.12]
6）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無
○有・無

4 電気保安技術者

※ 適用する [1.3.3]

⑤ 施工条件

・仮設住宅がグラウンドに設置済です、住民に迷惑にならぬよう作業を行うこと [1.3.5]
・屋内運動場棟は、市民に利用していただいています、使用者の配慮を十分に行って作業すること
・近隣住民に迷惑にならぬよう作業を行うこと
・作業工程については、監督員と十分な打合せの上行うこと

⑥ 施工調査

施工数量調査 [1.6.2]
調査範囲 ○ 校舎棟、屋内運動場棟外壁調査 ○ 校舎棟食堂屋根改修部分
調査方法 ○ 目視、打診による
調査破壊部分の修補方法・

2 建築材料等 [1.4.2][1.4.4]

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。
①「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新年版）」（（社）公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。
②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からへ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承諾を受ける者とする。
イ）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ハ）安定的な供給が可能であること。
ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
2）請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県の工事材料については、「使用材料確認」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。
3）請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。
※杭・型枠類 ○防水材料・石材 ○木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。
4）請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調査等を使用すべき工事材料は次のものとする。
○高強度コンクリート試し練り
5）請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。
○金属製品 ○合成樹脂製品・木製建具 ○塗装
・家具及び家具の金物・量 ○内外装材料 ○屋根材料
なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、指示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。
6）本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。

8 特別な材料の工法

「標準」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑨ 技能士等 [1.7.2]

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	○土び作業
鉄筋工事	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	○型枠作業 ○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・構造物鉄工作業・土び作業
ブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	○アスファルト防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・セメント系防水工事作業・FRP防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業・ウレタンゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材加工作業・石張り作業・石積み作業
タイル工事	○タイル張り作業
木工事	○大工工事作業
屋根及びとい工事	○内外装板金作業・かわらぶき作業
金属工事	・鋼製地下工事作業・内外装板金作業
左官工事	○左官作業
建具工事	○ビル用サッシ施工作業・自動ドア施工作業・ガラス工事作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテン工事作業・ビル用カー施工作業・ガラス工事作業
塗装工事	○建築塗装作業
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業・木質系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業・木質系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業・壁装作業
排水工事	○建築配管作業
植栽工事	・造園工事作業

・「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。
※作成する
工事完成図は、A3版製本（※1部 ○2部・部）を提出する。
屋外付帯工事実測図 ※提出しない・提出する（1部）
保全に関する資料 ※提出しない・提出する（1部）
保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き（改訂版）」（（財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

⑩ 完成図等 [1.9.1~3][表1.9.1]

区分	分類	大きさ	撮影枚数	部数
着工前	※カラー	・	※100×148程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
	・	・	・	※ 2部
工事中	※カラー	・	※85×115程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
	・	・	・	※ 2部
完成時	※カラー	・	※100×148程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
	・	・	・	※ 2部

2）完成写真の撮影・専門業者の撮影（撮影者を明記） ○専門業者以外の撮影
3）原版の使用権を次の者に移譲すること。 ※発注者・設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。
特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。

⑪ 工事写真等の記録

1）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

区分	分類	大きさ	撮影枚数	部数
着工前	※カラー	・	※100×148程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
工事中	※カラー	・	※85×115程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
	・	・	・	※ 2部
完成時	※カラー	・	※100×148程度	※ 10景以上
	・	・	・	※ 2部
	・	・	・	※ 2部

2）完成写真の撮影・専門業者の撮影（撮影者を明記） ○専門業者以外の撮影
3）原版の使用権を次の者に移譲すること。 ※発注者・設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。
特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。

⑫ 責任施工

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。

⑬ 工事報告書

工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。

⑭ 設備工事との取合い

1）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。

位置／大きさ	100mm	125mm	150mm	175mm	200mm			
補強筋箇所数	梁							
	壁							
	床							

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
経路地下で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ）天井部分 箇所 ロ）壁部分 箇所
他工事との取合い 建築工事 電気工事 機械工事 備考
機器の基礎、換気扇取付用枠 ○ ○
梁、床、壁貫通部の補強 ○ ○
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠 ○ ○ ○
外気取付ガリリー、床下水槽マンホール蓋 ○ ○ ガリリーは、立面図に図示
ステンレス流し台等 ○ 排水トラップ共
換気フード、レンジフードファン ○ 建築図に図示
取付枠（鋼製）とも ○ ○
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫 ○ ○
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水 ○ ○
小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（地下床） ○ ○
洗面所、手洗所等の鏡 ○ ○ ○ 特殊なものは、建築工事
ポイラーの煙突 ○ ○ ○ 鋼板製は、機械設備工事
実験台に付属する設備機器 ○ ○ ○
実験台の配管等の接続 ○ ○ ○
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強 ○ ○
埋込み分電盤、端子盤等の型枠 ○ ○
天井、壁ボード類の地下補強 ○ 墨出し、ギブ 類切り込みは、設備工事
簡易間仕切り（内装パネル）内の位置ボックス及び配管の取付 ○ ○
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤 ○ ○
屋上に設置するテレビアンテナ・避雷針等 ○ ○ 屋根伏図に図示
配線ビッド及び蓋 ○ ○
照明器具幹線等の吊りボルト用インサート ○ ○
身体障害者用の手すり ○ ○
洗濯機用防水パン及びトラップ ○ ○
F F 暖房機・クーラー等の配管用スリーブ ○ ○
電話・テレビ等の配線用スリーブ ○ ○
クーラー取付ボルト用インサート ○ 建築図に図示
ユニットバス本体・付属品（シャワー金具 ○ 配管接続以降は設備工事
・手すり・鏡・照明）
ユニットバス用換気扇 ○ ○
消火器 ○ ○ 公共住宅に適用
自動扉、電動 S、電動ルーバー、1 次側配線 ○ ○ 機器は建築工事
防火設備の閉鎖制御機器、感知器 2 次側配線 ○ ○
地下タンク室 ○ ○

⑮ 設計 G L

※図示・設計 G L＝現状 G L
○地区の区分に応じた風速（V（m/sec）） 30（県内全域）
○地表面粗度区分・Ⅰ・Ⅱ ○Ⅲ・Ⅳ
○多雪地域の指定 垂直積雪量 1.0m

⑯ 工事現場の掲示板

工事現場には、下記掲示板を設置する。（記入例）

90cm	
工事名	
工期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日	
発注者 （監修） 設計 監理 建築（業者名を記入する） 施工（業者名を記入する） 電気（業者名を記入する） 給排水（業者名を記入する） 暖房（業者名を記入する）	60cm（75cm）
この工事は、週休 2 日に取り組んでいます	

（注意事項）
①（監修）内は、監修を委託した場合。
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑰ 施工の検査等 [1.7.5]

監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。
※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋・型枠の組立て
その他監督員が指示するもの

⑱ 施工の立会い等 [1.7.7]

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。
※杭打ち・コンクリートスラブ確認及び打込み ○屋外タイル圧着試験
その他監督員等の指示するもの

20 中間検査 [1.8.2]

中間検査の実施 ※有・無
実施時期 ※総体工事完了時・

⑳ 公共事業労務調査等に対する協力

・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
1）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
2）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
4）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。

㉑ 保険

工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。
※建設工事保険又は組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く）
加入期間 引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）

㉓ 室内空気汚染対策

室内空気汚染対策の実施 ※実施する・実施しない [1.7.9]
1）測定の有無等
測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
イ）測定の有無 ※有・無
ロ）測定対象室
測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
内装改修等を行った居室について測定を行う。
ハ）1室当たりの測定箇所数

室の床面積 A（㎡）	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定箇所数	1	2	3	4

全ての測定箇所において、二）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。
二）測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びステレンとし、同時に測定する。測定方法は、バツシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課課長通知（平成24年4月5日国営第4号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ホ）測定時期
測定は下記の時期に行うものとする。
①測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
②別途工事又は家具の設置等が行われる前。
③内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
④中央式空調調設備のように換気を行いがら空調調を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。
ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
建設部整備課課長通知（平成24年4月5日国営第4号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ト）その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。
2）施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。
3）引き渡し時
室内空気中に化学物質を放散するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。
4）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ）からホ）の事項を満たすものとする。
イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上り塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ハ）接着剤は、フタル酸ジブチル及びフタル酸ジブチルエチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ホ）上記のイ）、ハ）、ニ）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
※「規制対象外」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
ア）非ホルムアルデヒド系接着剤使用
イ）接着剤等不使用
ウ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
エ）ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
オ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
カ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・「第三種」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③JISのE0規格品

㉔ 名札の着帯

現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請負額1,000万円以上の工事）

7mm	<div>○建設（株）社員証</div> <div>氏名 △△太郎</div> <div>発行日 令和○年○月○日</div> <div>代表者 □ □ 建 一 代表印</div>	7mm			
10mm		（顔写真） カラー写真 貼付	7mm		
10mm			40mm		
18mm		55mm	6mm		
2mm	13mm	42mm	2mm	30mm	2mm
91mm					

（注意事項）
①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとりとする。
②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。

㉕ 施工体制台帳の作成等

当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。

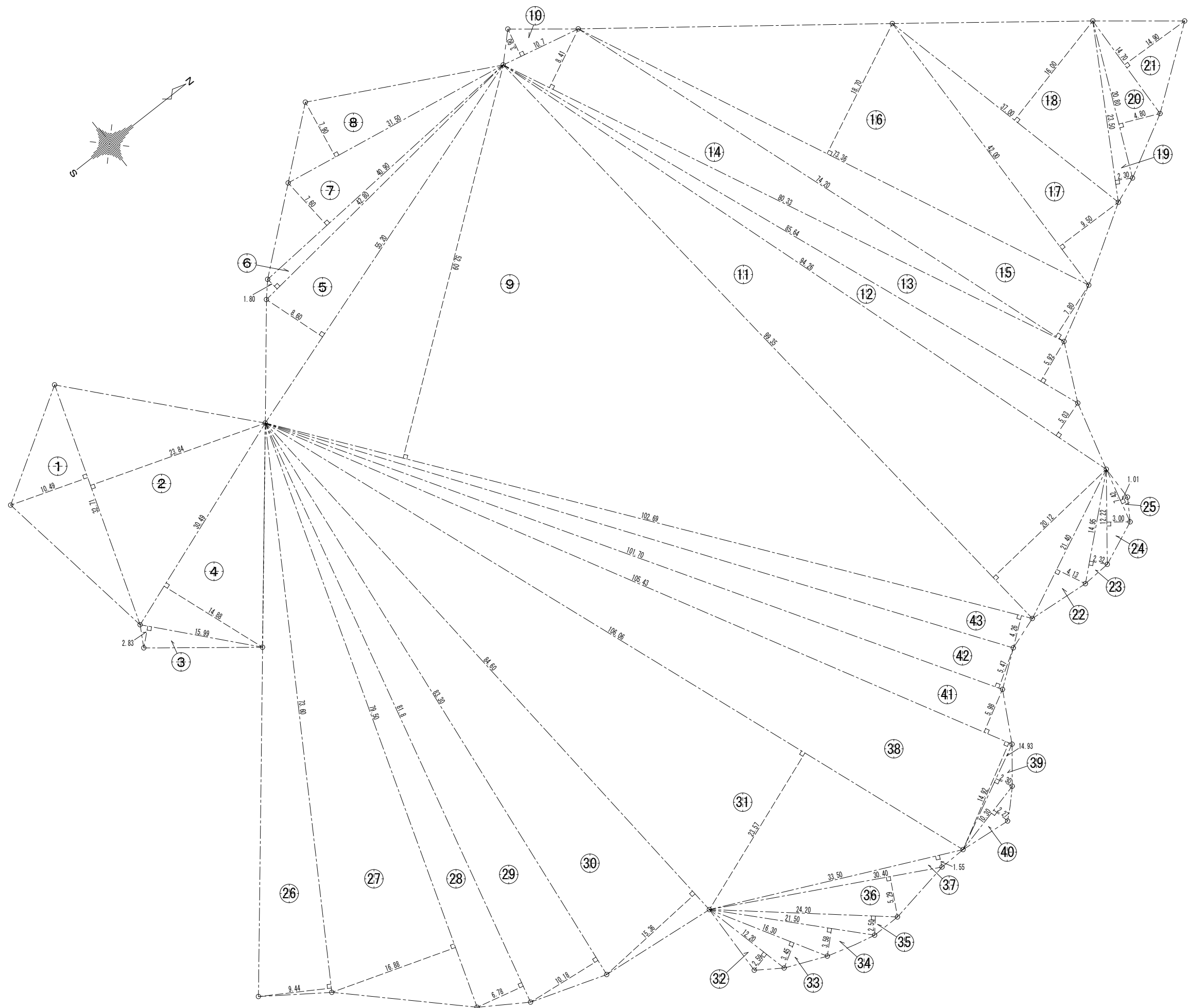
設計

工事名 旧鵜巣小学校災害復旧工事
図面名 建築改修工事仕様書 その1 図面番号 A-01

[illegible]

4	浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合				[4.1.4][4.3.5][4.3.11~16][表4.3.5~6]	
		改修工法の種類		アール・ヒンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充填量 又は注入量 (ml/箇所)	
				一般部	指定部	一般部	指定部
		・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法		※16 ・	※25 ・	※25 ・	
		○アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法		※13 ・	※20 ・	※12 ・	
		・アンカーピンニング全面 ※リマー・ワイヤ・注入工法		※13 ・	※20 ・	※20 ・	
		・注入口付アール・ヒン部分 エポキシ樹脂注入工法		※9 ・	※16 ・	※25 ・	
		・注入口付アール・ヒン全面 エポキシ樹脂注入工法		※9 ・	※16 ・	※25 ・	
		・注入口付アール・ヒン全面 ※リマー・ワイヤ・注入工法		※9 ・	※16 ・	※25 ・	
		アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの		[4.3.5]			
注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm		[4.3.5]					
4章-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事							
項目 特記事項							
1	既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ○図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ○張付けモルタルまで					
		2					
2	ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（・コンクリート面 ・モルタル面） ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.4.5~6] 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（ml/m） ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3以下 ※50～100 ※40 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3超え～0.5以下 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5超え～1.0以下 ※150～250 ※130 注材料 [4.4.5] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜取り） ※行わない [4.2.5] ・行う（抜取り部の補修方法： ・） ・ウカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面） [4.1.4][4.2.4][4.2.6]					
		3					
3	網戸	4					
		4					
4	樹脂製建具	5					
		5					
5	鋼製建具	6					
		6					
6	標準型鋼製建具	7					
		7					
7	鋼製軽量建具	8					
		8					
8	標準型鋼製軽量建具	9					
		9					
9	ステンレス製建具	10					
		10					
10	木製建具	11					
		11					
4章-5 仕上塗材仕上げ外壁改修工事							
項目 特記事項							
1	既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜の劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.5.4][4.5.4~7] 工 法 処 理 範 囲 ひび割れ部等の補修 ※サンダー工法 ※既存仕上げ面全体 ○改修部分 ○ひび割れ部改修工法 ・高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 ・ ○浮き部改修工法 ・塗膜はく離剥工法 ※既存仕上げ面全体 ・ ○欠損部改修工法 ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体					
		2					
2	下地調整材	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.5.4]					
		3					
3	下塗り塗材塗り	種類及び凸面処理仕上げ [4.6.2][表4.6.1] 種 別 仕 上 げ 仕 上 材 塗 り ・A種 ・凸面処理仕上げ ・アクリル樹脂エナメル ・B種 ・					
		5章 建 具 改 修 工 事					
項目 特記事項							
1	一般事項	①改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法 [5.1.3] 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ・ ②防犯建物部品 ※建具表による [5.1.7] ③防火戸 [5.1.4] 防火性能 ・防火設備（建具番号） ○特定防火設備（建具番号） S D - 1（ 防火戸の開閉機構 ・自動開鎖機構（建具番号） ・ヒューズ装置と連動（建具番号） ・熱感知器と連動（建具番号） ・煙感知器と連動（建具番号）					
		④見本の製作等 [5.1.5] ・建具見本の製作（建具番号） ・特殊な建具の仮組（建具番号） ⑤建具回り等の充填モルタル [6.15.3] 防水剤（モルタルに混入する防水剤の品質） 項 目 混合割合 凝結及び安定性（JIS R 5201） 曲げ及び圧 吸水比 透水性 （%） （%） （%） 品 質 セメント質量 始発1時間以上 収縮性、膨張性のひび割れ 70以上 95以下 80以下 の5%以下 終結10時間以内 そりがなくこと ⑤取付け調整等 [5.1.6] ・ブラインド： ・カーテンボックス： 外部に面する建具の性能等級 [5.2.2][5.2.4][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み（mm） 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70（注）共 ・B種 S-5 ・ ・ ・ ・C種 S-6 A-4 W-5 100 防音ドアセット ※適用は建具表による 断熱ドアセット ※適用は建具表による 耐震ドアセット ※適用は建具表による 表面処理 [5.2.4][表5.2.2] 施工箇所 種 別 色合い等 外部建具 ※B B-1種 無着色 ・B B-2種 ※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） 内部建具 ※AC-1種又はBB-1種 無着色 ・AC-2種又はBB-2種 ※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） 防虫網 [5.2.3~4] 網の種類 ・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316） 形式 ※外部可動式 ・固定式 1）外部に面する建具の性能値等 [5.3.2][5.3.4][表5.3.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み（mm） 施工箇所 ・A種 S-4 ※W-4 ・60 ・80 ・B種 S-5 A-4 W-5 ・100 ・C種 S-6 2）表面色 ※白色（ 3）ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス 1）簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 [5.4.2][表5.4.1] ※適用する（適用箇所は建具表による） 2）外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][表5.2.1] ・S-4 ・S-5 ・S-6 3）材料 ※JIS G3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） 4）鋼板類の厚さ（1枚の戸の有効開口幅 950mm、又は有効高さ 2,400mmを超える場合） ※下表以外は表5.4.2による [5.4.4][表5.4.2] 区 分 使 用 箇 所 厚さ（mm） 窓 枠種 外部の下枠、水切り板 2.3 出入口 枠種 外部に面するスイングドアの建具 2.3 戸 中骨 2.3 ・ 図示 簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.4.6] ・適用する（適用箇所は建具表による） [表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.4.6][表5.2.1] 耐風圧性 施 工 箇 所 ・S-4 ・S-5 ・S-6 簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による [5.5.2] 標準型鋼製軽量建具 [5.5.2][5.5.6] ステンレス製建具 [5.4.2][5.6.2] 外部に面する建具の耐風圧性 [表5.4.1][表5.2.1] 耐風圧性 施 工 箇 所 ・S-4 ・S-5 ・S-6 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放数量 [5.7.2] ※規制対象外 ・第三種 フラッシュ戸の表面材の種類 ※天然木化粧合板 かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） [16.7.2] ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 [表5.7.3] 枠及び靴ずりの材料 [5.7.2] 枠 ※木製枠 ・鋼製枠 靴ずり ・木製 ・ステンレス製 1）材質、形状及び寸法 [5.8.2][表5.8.1] シンダーサイド 外側 ・ ※シンダー 内側 ・ ※サムターン 軸吊りヒンジの自閉装置機能 ・適用する ・適用しない ドアクローザーのディレードアクション ・適用する ・適用しない 戸当りのあおり止め付き ・適用する ・適用しない レバー・ハンドルのバックセット ・ ※64mm 2）鍵 マスターキー ・製作する ※製作しない（但し既設マスターキーに合わせる） [5.8.4] 3）鍵箱 ・適用する 自動ドア開閉装置 [5.9.2][表5.9.4] 自動ドアの開閉機構 ※スライディングドア ※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・スイングドア ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ 凍結防止措置 ・行う（ ） ・行わない [5.9.2] 1）形式及び機構 [5.11.2][表5.11.1] 種 類 開閉機構 危害防止機構 シッターケース ・管理用シャッター ※上部電動式 ※障害物感知装置 ※設ける ・外壁用防火シャッター（手動併用）（自動開鎖型） ・ 設けない ・屋内用防火シャッター ・上部手動式 ・防煙シャッター 外部に面するシャッターの耐風圧強度 ・耐風圧性能 N/m ²					
14	軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） [5.12.2][表5.12.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ） N/m ² [5.12.2] スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8 [5.12.3][表5.12.2] 材質 ※JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯） ・JISG3322（塗装溶融55%Zn-Mn-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） 形状 ※インターロックング形 ・オーバーラッピング形 [5.12.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） [表5.12.2] 形式及び機構 [5.13.2~3][表5.13.1] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ※バランスタイプ ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・電動式 ・ハイルト形 （SUS304） ・パーチカル形 耐風圧性能（ ） N/m ² [5.13.2] ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能等は下記による。 ・合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類 ・（JIS R 3205） ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ※熱線吸収フロート板ガラス 2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン ・複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分 ・断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射熱遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 ・熱線反射板ガラス 品 種 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 色 調 映像調整 ※熱線反射ガラス ・フロート板ガラス ・ブルー ・行わない ・高性熱線反射 ・熱線吸収フロート板ガラス ・グレー ・行う ガラス 強化ガラス ・ブロンズ ・シルバー ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ [5.13.2][表3.7.1] 建具の種類 種 類 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット（F I X部はシーリング材） 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.14.3] ※「改修標仕」図5.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等 が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。 ガラスブロック [5.14.5] 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色 調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材 [5.14.5] 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※改修共仕5.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 [5.14.5] シーリング材料 [5.14.5][3.7.2][表3.7.1] 下表以外は改修標仕表3.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等を用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの、または認定を受け けた条件による。 ガラス用フィルム 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム G I ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム G D ※内張り ・外張り 品質 JIS A 5759Hによる					
		6章 内 装 改 修 工 事					
項目 特記事項							
1	床改修一般事項	1）工法 [6.2.2] (1)ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫工法 (2)改修後の床清掃範囲 ※改修箇所の室内					
		2					
2	壁改修一般事項	1）工法 [6.1.3][6.3.2] (1)既存壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 (2)天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 (3)間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・適用する（範囲は図示） ※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る ・図示 2）新設壁下地 ・木製壁下地 ・軽量鉄骨壁下地					
		3					
3	天井改修一般事項	1）工法 [6.1.3][6.4.2] (1)天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示の範囲 2）新設天井下地 ・木製天井下地 ・軽量鉄骨天井下地					
		2					
4	ビニルシート張り	材料 [6.8.2] 種 類 JISの記号 色 柄 厚さ・高さ（mm） ※発泡層のないもの ※F S ・ ※無地 ・マーブル柄 ※2.0 ・2.5 ・発泡層のあるもの ・H S ※柄物 ・無地 ・ ・ ・ ・ ・ビニル幅木 ※60 ・ 工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） [6.8.3] 材料 [6.8.2] ビニル床タイル 種 類 JISの記号 厚さ・高さ（mm） ※コンポジションビニル床タイル（半硬質） K T ※2 ・ ・複層ビニル床タイル F T ・ ・ビニル幅木 ※60 ・ 視覚障がい者用床タイル ※塩化ビニル系 ※300×300 ブロックパターンは ・磁器又はせりタイル ・ JIS T 9251による 帯電防止床タイル 種 類 厚 さ 性 能 ・コンポジションビニル床タイル ※2.0 体積抵抗値（JIS K 6911による） ・ホモジニアスビニル床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10 ⁹ Ω以下、または、 ・ 漏えい抵抗値（JIS A 1454による） 1.0×10 ¹⁰ Ω未満					
		5					
5	ビニルタイル張り	接着剤 [6.5.3~4][6.8.2][6.9.3] 木工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。 壁紙施工でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・第三種 [6.11.4~5][6.13.2][6.14.2][6.16.4] ホルムアルデヒドの放数量 [6.5.2] ※規制対象外 ・第三種 下張り用床板及び畳下床板の材料 [6.5.2][表6.5.8] 使用区分 材 料 厚さ（mm） 下張り用床板の材料 ※合板 G ※12 畳下床板 ・パーティクルボード G ・ ・繊維板（MDF） G ・ [6.10.3][表6.10.4~8] 種 別 仕上げの種類 厚膜型 ○弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ○防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ○エポキシ樹脂系塗床材 ※薄膜流し展べ工法（※平滑 ・防滑） ○厚膜流し展べ工法（※平滑 ○防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑 ・防滑） 薄型 ○エポキシ樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ○ 9					
		7					
6	床板張り用合板等	G					
		8					
7	合成樹脂塗塗り床	G					
		9					
8	フローリング張り	G					
		10					
9	畳敷き	G					
		11					
10	カーペット敷き	G					
		12					
11	木下地等	G					
		13					
12	設計	G					
		14					
輪島市教育総務課							
		工事名		旧鶴巣小学校災害復旧工事			
		図面名		建築改修工事仕様書 その3 図面番号 A-03			

13	軽量鉄骨天井下地	4) 防蟻・防蟻処理 防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲)) 防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲) 防蟻・防蟻剤は、クロロピリホス等含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。 防蟻・防蟻処理の方法 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。	[6.5.5]
		5) 防虫処理 ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。	[6.5.5]
14	軽量鉄骨壁下地	6) 県産材使用証明 [G] 木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。 また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名が（石川県産）と明記されたもの）を監督員に提出するものとする。	[6.5.2]
		1) 形式及び寸法 ダブル野縁 ・ mm ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を1.2.2 [施工計画書] による品質計画で定める。	[6.6.3] [6.6.4]
15	せっこうボード、その他ボード及び合板張り	2) 工法 引抜き試験 ・適用する ・適用しない 屋外の場合の試験 荷重 ・400N 箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う 補強箇所 ※ 図示 ・ 補強方法 ※ 図示 ・	[6.6.4]
		1) 形式及び寸法 スタッド、ランナーの種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※スタッドの高さによる区分に応じた種類	[6.7.3][表6.7.1]
16	壁紙張り	種 類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等 ・硬質毛セメント板 [G] HW ・15 ・20 ・25 再生の木材質又は植物繊維の質量比割合が90%以上であること。但し ・普通毛セメント板 [G] NW ・15 ・20 ・25 体積比20%以下の接着剤、混和剤の質量は除くことができる。 ・ビニル樹脂被覆ボード [G] MDF ・ ・パーティクルボード [G] ・ ○けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石棉) ○ロックウール化粧吸音板 DR ○フラットタイプ (※9 ○12 ・) ○凹凸タイプ (※12 ・15 ・19 ・) ・ロックウール化粧吸音板 (野天井用) ○凹凸タイプ (※12 ・15) ((個) 不燃) ○せっこうボード GB-R 12.5 (不燃) (テーパーエッジボード施工箇所は図示) ○不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ・シーシングせっこうボード GB-S 12.5 ((個) 不燃) ・強化せっこうボード GB-F ※12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・せっこうラスボード GB-L 9.5 ○化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材付き ・メラミン樹脂化粧板 JIS K6903による 厚さ1.2 ・難燃合板 [G] ・	[6.13.2][表6.13.1]
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない 施 工 素地ごしらえ [表7.3.4][表7.3.7] 下地の種類 素地ごしらえの種類 モルタル及びプラスター面 ・A種 ※B種 せっこうボード面 ・A種 ※B種	[6.14.3]
17	モルタル塗り	既製目地材 ※適用しない ・適用する	[6.15.3]
		7章 塗装改修工事 特 記 事 項	
18	素地ごしらえ	1) 材料 屋内の壁・天井仕上げ材は、防火材料とする。	
		2) 下地調整 既存塗膜の除去範囲 (塗替えて「改修仕様」表7.2.1～表7.2.7のR・B種の場合) ・ ※劣化部分 下地調整 [表7.2.1～7] 下 地 の 種 類 種 別 施工箇所 木部 ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 垂れめつき面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル及びプラスター面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面等 ・RA種 ※RB種 ・RC種 せっこうボード及びその他のボード面 ・A種 ※RB種 ・RC種 既存モルタル下地等のひび割れ部の補修 ○行う (補修範囲及び補修方法は図示) ※行わない	[7.2.1] [表7.2.1～7]
19	錆止め塗料塗り	素地ごしらえ [表7.3.1～7] 下 地 の 種 類 種 別 施工箇所 木部 ・A種 ・B種 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 垂れめつき面 ・A種 ・B種 モルタル及びプラスター面 ・A種 ※B種 コンクリート面等 ・A種 ※B種 せっこうボード及びその他のボード面 ・A種 ・B種	[表7.3.1～7]
		SOPまたはEP-Gの場合 [7.4.3][表7.4.3][表7.4.5] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 見え掛り ※A種 ・B種 見え隠れ ※A種 ※B種 垂れめつき面 ・A種 ・B種 ※C種 鋼製建具等 ※A種 ・B種 その他 ※A種 ※B種 D.P.の場合 [7.4.3][表7.4.4][表7.4.6] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・C種 垂れめつき面 ・A種 ・B種 ※C種 表7.4.6による	[7.4.3][表7.4.3][表7.4.5] [7.4.3][表7.4.4][表7.4.6]
20	合板・合板調合ベイント塗り (SOP)	下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 木部 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 下地調整は各 鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ※B種 表の注意書きによる 垂れめつき面 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ・B種 その他 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.6.2][表7.6.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種	[7.5.3～5][表7.5.1～3] [7.6.2][表7.6.1]
		7 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) 下地の種類 工程等 塗替えの種類 新規塗りの種類 コンクリート、モルタル面等 下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 「塗料その他」の欄による 塗り種類 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 [表7.8.1～3] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの場合 ・鉄鋼面 表7.8.1による ・垂れめつき面 表7.8.2による ・コンクリート面 ・A-1種 ・A-2種 ・A-1種 ・B-1種 ・C-1種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-1種 上塗り塗料 ・1級 ・2級 ・3級 [7.9.2～5][表7.9.1～4] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの場合 ・コンクリート面、モルタル面等 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種 ・木部 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・垂れめつき面 ※A種 ・B種 ※A種 塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.10.2][表7.10.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 適用箇所 塗 料 ・ ・油性 ・水性 ・ ・油性 ・水性 塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.11.2][表7.11.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 種類 ・A種 ※B種 [7.13.2][表7.13.1]	[7.5.3～5][表7.5.1～3] [7.6.2][表7.6.1] [7.7.2][表7.7.1] [表7.8.1～3] [7.9.2～5][表7.9.1～4] [7.10.2][表7.10.1] [7.11.2][表7.11.1] [7.13.2][表7.13.1]
21	石綿含有吹付け材の除去	2 石綿含有吹付け材の除去 ・ ※改修仕様9.1.3 (2) (7) による工法 3 石綿含有保温材等の除去 除去工法 ※手ばらし ・切断又は破砕 4 石綿含有成形板等の除去 養生 ・不要 ・要 (方法:) 5 石綿含有仕上塗材の除去 除去工法 ・高圧水洗工法 () ・剥離剤を用いる工法 () ○電気グラインダー等を用いる工法 (集じん装置付「イスクラ」工法) ・その他 () 6 石綿含有建材の処分 ・安定型 種 類 受入施設の名称等 所在地 ・石綿含有成形板等 (注) 施設の名称については、受注者が別に選定することを妨げるものではない。 ○管理型 種 類 受入施設の名称等 所在地 ○石綿含有吹付け材等 富山県環境整備 富山県富山市婦中町吉谷3番地3 (注) 施設の名称については、受注者が別に選定することを妨げるものではない。	[9.1.3] [9.1.4] [9.1.5] [9.1.6] [9.1.3～6] [9.1.3～6] [9.1.3～6]
		9章 リ サ イ ク ル 製 品 特 記 事 項 1 リサイクル製品の使用 1) リサイクル製品を使用するものは「石川県エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。 石川県エコ・リサイクル認定製品 ・使用する 使用箇所 製品 備考 「石川県エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。 http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 生活環境部 資源循環推進課) 2) その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。 3) 建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。 この建築工事でリサイクル製品として ○○○○○○○○○、○○○○○○○○○ を使用しています。 R 石 川 県 土 木 部 常 務 課 建設副産物リサイクル シンボルマーク (注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること 10章 そ の 他 特 記 事 項 1 いしかわ週休2日工事 工事現場において週休2日に取り組み「いしかわ週休2日工事」(以下、「週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日工事の定義(様式)等については、石川県輪島市HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 (1) 当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 (2) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組みことを記載した工事看板を設置すること。 (3) 受注者は、現場着手前に休日取得[計画]表を作成し、監督員に提出・共有すること。	



敷地求積表		単位 (㎡)
符号	計算式	
①	$32.710 \times 10.490 \times 1/2 = 171.56395$	
②	$32.710 \times 23.840 \times 1/2 = 389.90320$	
③	$15.990 \times 2.830 \times 1/2 = 22.62585$	
④	$30.490 \times 14.880 \times 1/2 = 226.84560$	
⑤	$55.200 \times 8.600 \times 1/2 = 237.36000$	
⑥	$42.800 \times 1.800 \times 1/2 = 38.52000$	
⑦	$40.90 \times 7.600 \times 1/2 = 155.42000$	
⑧	$31.500 \times 7.900 \times 1/2 = 124.42500$	
⑨	$102.690 \times 52.090 \times 1/2 = 2,674.56105$	
⑩	$10.700 \times 3.900 \times 1/2 = 20.86500$	
⑪	$99.350 \times 20.120 \times 1/2 = 999.46100$	
⑫	$94.260 \times 5.030 \times 1/2 = 237.06390$	
⑬	$85.640 \times 5.920 \times 1/2 = 253.49440$	
⑭	$80.330 \times 8.410 \times 1/2 = 337.78765$	
⑮	$74.200 \times 7.800 \times 1/2 = 289.38000$	
⑯	$73.360 \times 18.700 \times 1/2 = 685.91600$	
⑰	$42.000 \times 9.500 \times 1/2 = 199.50000$	
⑱	$37.000 \times 16.000 \times 1/2 = 296.00000$	
⑲	$23.500 \times 2.300 \times 1/2 = 27.02500$	
⑳	$20.800 \times 4.800 \times 1/2 = 49.92000$	
㉑	$14.700 \times 14.900 \times 1/2 = 109.51500$	
㉒	$21.400 \times 4.130 \times 1/2 = 44.19100$	
㉓	$14.950 \times 2.320 \times 1/2 = 17.34200$	
㉔	$12.220 \times 3.000 \times 1/2 = 18.33000$	
㉕	$7.420 \times 1.010 \times 1/2 = 3.74710$	
㉖	$73.600 \times 9.440 \times 1/2 = 347.39200$	
㉗	$79.500 \times 16.880 \times 1/2 = 670.98000$	
㉘	$81.800 \times 6.780 \times 1/2 = 277.30200$	
㉙	$83.300 \times 10.180 \times 1/2 = 423.99700$	
㉚	$84.600 \times 15.360 \times 1/2 = 649.72800$	
㉛	$106.060 \times 23.570 \times 1/2 = 1,249.91710$	
㉜	$12.200 \times 2.590 \times 1/2 = 15.79900$	
㉝	$16.300 \times 3.450 \times 1/2 = 28.11750$	
㉞	$21.500 \times 3.580 \times 1/2 = 38.48500$	
㉟	$24.200 \times 2.500 \times 1/2 = 30.25000$	
㊱	$30.400 \times 5.290 \times 1/2 = 80.40800$	
㊲	$33.500 \times 1.550 \times 1/2 = 25.96250$	
㊳	$105.430 \times 14.930 \times 1/2 = 787.03495$	
㊴	$14.930 \times 2.300 \times 1/2 = 17.16950$	
㊵	$10.300 \times 2.270 \times 1/2 = 11.69050$	
㊶	$105.430 \times 5.981 \times 1/2 = 315.28842$	
㊷	$101.700 \times 5.470 \times 1/2 = 278.14950$	
㊸	$102.690 \times 4.260 \times 1/2 = 218.72970$	
	合計 13,097.16337⇒ 13,097.16㎡	



金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工 事 名 称

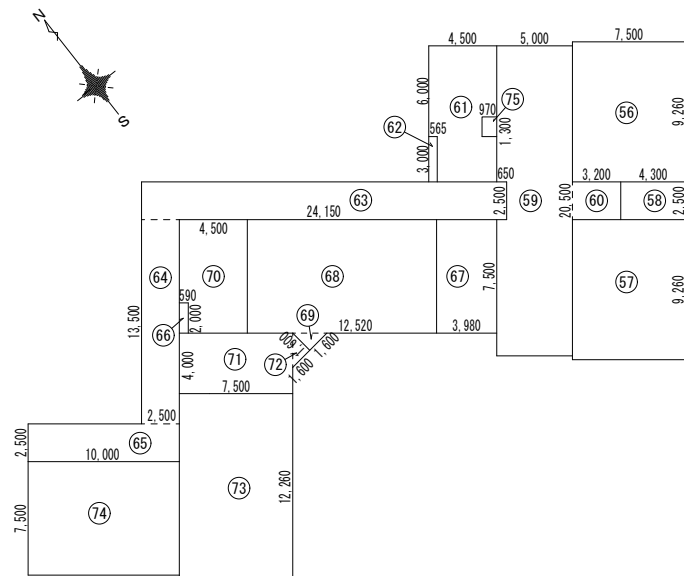
图面名称

檢 印

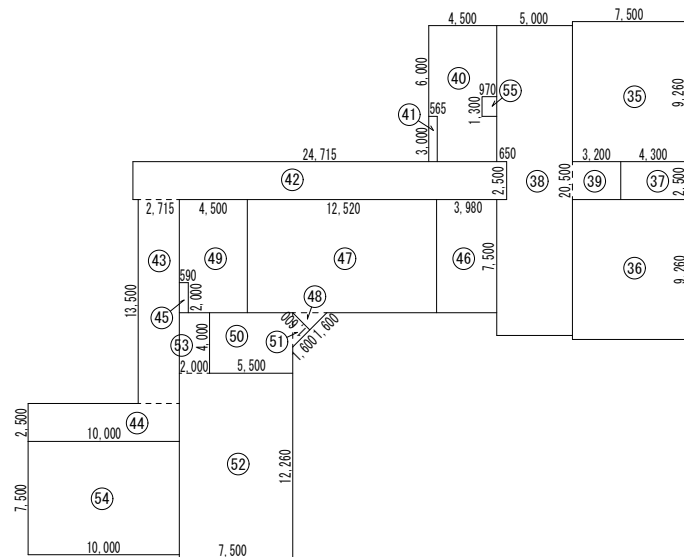
縮 尺
A1:1/250
A3:1/500

設計年月
R8.2.4

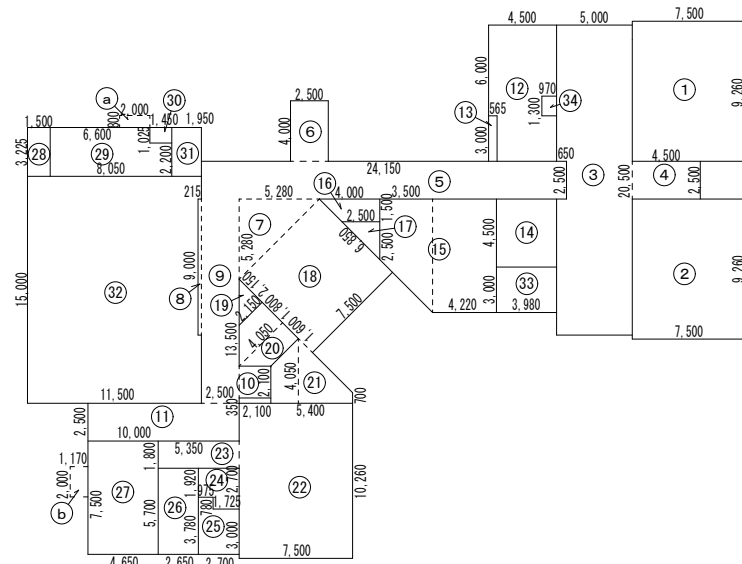
図面番号
A/06



3 階 床面積求積図



2階 床面積求積図

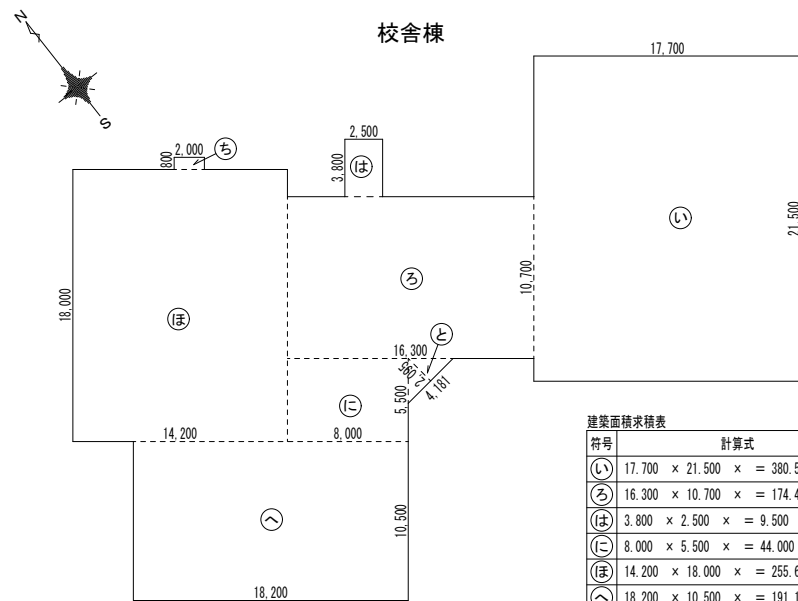


1 階 床面積求積図

階床面積求積表		單位 (m)
符號	計算式	
(56)	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
(57)	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
(58)	$2.500 \times 4.300 \times = 10.750$	
(59)	$5.000 \times 20.500 \times = 102.500$	
	$2.500 \times 0.650 \times \blacktriangle 1.0 = -1.625$	
(60)	$3.200 \times 2.500 \times = 8.000$	
	$4.500 \times 9.000 \times = 40.500$	
(61)	$0.565 \times 3.000 \times \blacktriangle 1.0 = -1.695$	
	$0.970 \times 1.300 \times \blacktriangle 1.0 = -1.261$	
(62)	$0.565 \times 3.000 \times = 1.695$	
(63)	$24.150 \times 2.500 \times = 60.375$	
(64)	$13.500 \times 2.500 \times = 33.750$	
(65)	$10.000 \times 2.500 \times = 25.000$	
(66)	$2.000 \times 0.590 \times = 1.180$	
(67)	$7.500 \times 3.980 \times = 29.850$	
(68)	$7.500 \times 12.260 \times = 93.900$	
(69)	$1.600 \times 1.600 \times 0.5 = 1.280$	
(70)	$7.500 \times 4.500 \times = 33.750$	
	$0.590 \times 2.000 \times \blacktriangle 1.0 = -1.180$	
(71)	$7.500 \times 4.000 \times = 30.000$	
(72)	$1.600 \times 1.600 \times 0.5 = 1.280$	
(73)	$7.500 \times 12.260 \times = 91.950$	
(74)	$10.000 \times 7.500 \times = 75.000$	
(75)	$0.970 \times 1.300 \times = 1.261$	
計 775.160		

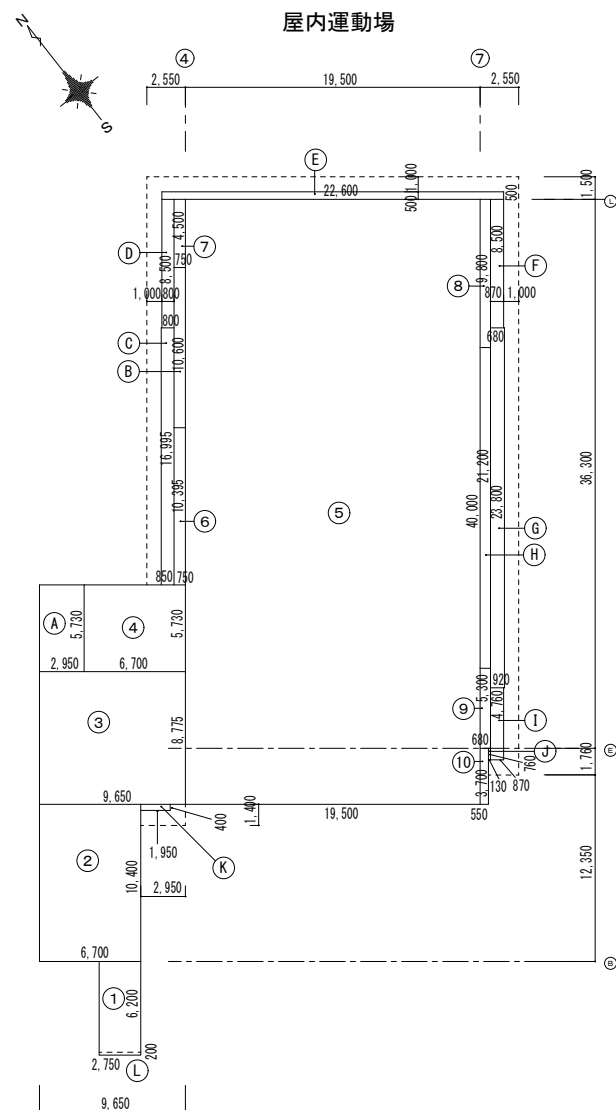
2階床面積求積表		単位 (㎡)
符号	計算式	
(35)	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
(36)	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
(37)	$2.500 \times 4.300 \times = 10.750$	
(38)	$5.000 \times 20.500 \times = 102.500$	
	$2.500 \times 0.650 \times \blacktriangle 1.0 = -1.625$	
(39)	$3.200 \times 2.500 \times = 8.000$	
	$4.500 \times 9.000 \times = 40.500$	
(40)	$0.565 \times 3.000 \times \blacktriangle 1.0 = -1.695$	
	$0.970 \times 3.000 \times \blacktriangle 1.0 = -1.261$	
(41)	$0.565 \times 3.000 \times = 1.695$	
(42)	$24.715 \times 2.500 \times = 61.787$	
(43)	$13.500 \times 2.715 \times = 36.652$	
(44)	$10.000 \times 2.500 \times = 25.000$	
(45)	$2.000 \times 0.590 \times = 1.180$	
(46)	$7.500 \times 3.980 \times = 29.850$	
(47)	$7.500 \times 12.520 \times = 93.900$	
(48)	$1.600 \times 1.600 \times 0.5 = 1.280$	
(49)	$7.500 \times 4.500 \times = 33.750$	
	$0.590 \times 2.000 \times \blacktriangle 1.0 = -1.180$	

階床面積求積表		單位 (m)
符號	計算式	
①	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
②	$9.260 \times 7.500 \times = 69.450$	
③	$20.500 \times 5.000 \times = 102.500$ $2.500 \times 0.650 \times \blacktriangle 1.0 = \blacktriangle 1.625$	
④	$4.500 \times 2.500 \times = 11.250$	
⑤	$24.150 \times 2.500 \times = 60.375$	
⑥	$4.000 \times 2.500 \times = 10.000$	
⑦	$5.280 \times 5.280 \times 0.5 = 13.939$	
⑧	$0.215 \times 9.260 \times = 1.935$	
⑨	$13.500 \times 2.500 \times = 33.750$	
⑩	$2.100 \times 2.100 \times = 4.410$	
⑪	$10.000 \times 2.500 \times = 25.000$ $9.000 \times 4.500 \times = 40.500$	
⑫	$0.970 \times 1.300 \times \blacktriangle 1.0 = \blacktriangle 1.261$ $0.565 \times 3.000 \times \blacktriangle 1.0 = \blacktriangle 1.695$	
⑬	$4.140 \times 0.565 \times = 2.339$	
⑭	$3.980 \times 4.500 \times = 17.910$	
⑮	$4.220 \times 7.500 \times = 31.650$ $(4.0\text{--}7.5) \times 3.500 \times 0.5 = 20.125$	
⑯	$(2.5\text{--}4.0) \times 1.500 \times 0.5 = 4.875$	
⑰	$2.500 \times 2.500 \times 0.5 = 3.125$	
⑱	$6.850 \times 7.500 \times = 51.375$	
⑲	$2.150 \times 2.150 \times 0.5 = 2.311$	
⑳	$(4.05\text{--}12.5) \times 1.800 \times 0.5 = 5.580$ $(4.05\text{--}2.6) \times 1.600 \times 0.5 = 5.320$	



建築面積求積図

建築面積求積表		單位 (m)
符號	計算式	
(イ)	$17.700 \times 21.500 \times = 380.550$	
(ロ)	$16.300 \times 10.700 \times = 174.410$	
(ハ)	$3.800 \times 2.500 \times = 9.500$	
(ニ)	$8.000 \times 5.500 \times = 44.000$	
(ホ)	$14.200 \times 18.000 \times = 255.600$	
(ヘ)	$18.200 \times 10.500 \times = 191.100$	
(ト)	$4.181 \times 2.095 \times 0.5 = 4.380$	
(チ)	$0.800 \times 2.000 \times = 1.600$	
計		1,061.140



表面積求積表		單位 (m)
符号	計算式	
①	$2.75 \times 6.20 = 17.05$	
②	$6.70 \times 10.40 = 69.68$	
③	$9.65 \times 8.775 = 84.67875$	
④	$5.73 \times 6.70 = 38.391$	
⑤	$40.00 \times 19.50 = 780.00$	
⑥	$10.395 \times 0.75 = 7.79625$	
⑦	$4.50 \times 0.75 = 3.375$	
⑧	$9.8 \times 0.68 = 6.664$	
⑨	$5.30 \times 0.68 = 3.604$	
⑩	$3.70 \times 0.55 = 2.035$	
計		1,013.274
		1,013.27 m

建築面積求積表			單位 (m)
符號	計算法		
(A)	2.95×5.73	$= 16.9035$	
(B)	0.75×10.60	$= 7.95$	
(C)	0.85×16.995	$= 14.44575$	
(D)	0.80×8.50	$= 6.80$	
(E)	22.60×0.50	$= 11.30$	
(F)	0.87×8.50	$= 7.395$	
(G)	0.92×23.80	$= 21.896$	
(H)	0.68×21.20	$= 14.416$	
(I)	0.87×4.76	$= 4.1412$	
(J)	0.13×0.76	$= 0.0988$	
(K)	1.95×0.40	$= 0.78$	
(L)	2.75×0.2	$= 0.55$	
	小計	105.57625	
	延床面積	1,013.274	
	合計	1,118.85025	
		1,118.85 m ²	

床面積					工事対象外範囲	合 計
		校 舎	ポ ン プ 室	屋内運動場	プール更衣室	
	1 階	974.373	15.00	1,013.27	62.98	2,065.623
	2 階	779.474				779.474
	3 階	775.16				775.16
	合計	2,529.007	15.00	1,013.27	62.98	3,920.257
建築面積		1,061.14	15.0	1,118.85	62.98	2,257.97



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工 事 名 称

旧鵠巢小学校災害復旧工事

图面名称	图例	备注
1. 道路	——	
2. 河流	~~~~~	
3. 湖泊	~~~~~	
4. 森林		
5. 农田		
6. 居民点	●	
7. 学校	□	
8. 医院	△	
9. 工厂	■	
10. 公园	□	
11. 体育场	□	
12. 图书馆	□	
13. 博物馆	□	
14. 纪念馆	□	
15. 烈士陵园	□	
16. 烈士陵园	□	
17. 烈士陵园	□	
18. 烈士陵园	□	
19. 烈士陵园	□	
20. 烈士陵园	□	

床面積求積図・求積表

檢 印

係 印


製 図

縮 尺
A1:1/250
A3:1/500

R8.2.4

図面番号
A/07

外部　仕上表			内部　仕上表																			
犬走り	コンクリートで押え		階	No.	室名	床	巾木	壁		天井	梁型	天井高	窓名札	火気責任者名札	黒板	掲示板	カーテン	カーテンボックスレール	OHPスクリーン	備考		
側溝	コンクリート打ち放し仕上			1階	1	生徒昇降口	タイル下駄貼 磁器150角タイル貼	桤材・ブローック 100×25	タイル下駄貼	タイルタイル貼 化粧目地	丸柱・タイルタイル貼	タイル酸洗タイル板貼 76 E.P	2,700 (3,000)								下足棚、コート掛け十傘立、上櫃、排水パイプ、円柱	
巾木	★	コンクリート打ち放し/引き仕上		2	職員ロビー室(男・女)	タイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	木製OP 100×25	RCモルタルタイル押え LGS 合板75.5目安タイル貼	E.P			化粧石膏ボード貼 79	2,400	平○ ₂	○						7&Mバーション	
外壁	☆ ★	南・東面：タイルタイル貼(45×90) 北・西面：コンクリート打ち放し吹付タイル		3	職員便所(男・女)	タイルタイルタイル押え タイルタイル貼		RCモルタルタイル押え CBモルタルタイル押え	半磁器タイル貼 100角			タイル酸洗タイル板目安タイル貼 76 E.P	2,700	(タイルタイル)○ _カ	○						洗面化粧台(建築工事) 大便器タイルタイルタイルタイル合板タイルタイル 740 手摺、膳板、配管ピット	
開口部	7&Mサッシ(アルミ)			4	職員室	砂モルタル フローリング・ブローック 715 & ユリシヤ塗装	木製OP 100×25	RC内断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	合板目安タイル貼 75.5 E.P	タイルタイル押え E.P		化粧石膏ボード貼 79	2700	○	○	○平面	○	○	○		収納棚、カウンター式書棚、掃除用具庫、テレビ台及びファブ台 防災壁スペース、暖房用点検口	
バリエーション	床	防水モルタルタイル押え		5	印刷室	タイルタイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS	同上			化粧石膏ボード貼 79	2700	平○	○	○		○	○	○	印刷台、収納棚	
	巾木	防水モルタルタイル押え		6	湯沸室	同上	同上	CBタイル下駄貼 LGS	半磁器タイル貼 100角 石綿セメント板目安タイル貼 79 E.P			タイル酸洗タイル板目安タイル貼 76 E.P	2400	平○	○	○					流し台、ガラスビニール、水切りパイプ欄、吊り戸棚、レンジフード(建築工事)	
	★内壁	コンクリート打ち放し 補修 吹付タイル	7	休憩室	タイルタイル押え タイルマツ 785 スライド量	タイル寄せ	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 LGS	ジョイントボード継目処理工法 712の上 ビニールクロス貼			杉板ボード目安タイル貼	2500		○						押入、地板、障子戸		
	☆外壁	タイルタイル貼(45×90)	8	校長室	タイルタイル押え カベシート敷 74.5	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS 遮音シート 71.0入り	杉板 715 塗塗り	同左		杉板合板(天然木) 76 目安タイル貼り(3本) C.L	2850	平○ ₂	○	○	○行事	○			飾り棚、更衣ロッカー、カウンターの、障子、洗面化粧台(建築工事) 掃除用具庫、暖房用点検口		
庇	★上裏	コンクリート打ち放し 補修 7&Mサッシ吹付	9	職員通用口	タイル下駄貼 磁器150角タイル貼	桤材・ブローック 100×25	タイル下駄貼	タイルタイルタイル貼			タイル酸洗タイル板目安タイル貼 76 E.P	2850								上櫃、下足棚、郵便受口(ステンレス箱付)		
	★見付	コンクリート打ち放し 補修 7&Mサッシ吹付	10	食堂	タイルタイルタイル押え 塩ビシート貼 72.8	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	ジョイントボード継目処理工法 712の上下地下加圧 E.P 羽目板横貼150×15CL H=1000	同左		吸音成形板(山型 H-45) 羽目板横貼	2700 6300	平○ ₂	○	○		○	○	○	化粧壁、手洗いコーナー、掃除用具庫、白衣整理棚、飾り棚 大型スライディングローラー式スライティング、暗幕、暖房用点検口		
	★上裏	コンクリート打ち放し 補修 7&Mサッシ吹付	11	風除室	コンクリートタイル押え 8&M系塗装(ノンスリップ)	タイル刷毛引 100	コンクリート打ち放し	吹付タイル			タイル酸洗タイル板目安タイル貼 76 E.P	2700								7&Mスライディングシャッター、洗濯機パン(設備工事)		
	屋根	3階部分 日本瓦葺、瓦棟打ち、 7&Mバルーフイング 敷き22kg品、 特殊バーストタイル 740		12	配膳室	同上		タイル下駄貼	半磁器タイル貼 100角			同上	2700	○	○						ガラスブース、調理台、脇台、排水溝、フローリング(タイルタイル) 食器棚、タイルに流し台(2槽)、配管ピット	
食堂、渡り廊下：3階部分に準ずる		13	同上便所	タイル下駄貼 タイルタイルタイル貼		RCタイル下駄貼 CBタイル下駄貼	同上			同上	2260	○										
正面カチン：3階部分に準ずる		14	同上休憩室	タイルタイル押え タイルマツ 785 スライド量	タイル寄せ	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 CB	ジョイントボード継目処理工法 712の上 ビニールクロス貼	タイルタイル押え ビニールクロス貼		杉板ボード目安タイル貼	2400	○	○						地板、障子			
PH		床	塩ビシート防水 71.5(軽歩行用)	15	保健室	タイルタイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0 カベシート敷 74.5	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	合板目安タイル貼 75.5 E.P 一部 半磁器タイル貼 100角	タイルタイル押え E.P		化粧石膏ボード貼 79	2700	○ ₂	○	○	○行事	○	○	○	掃除用具庫、収納庫、薬品棚、診察用カート及びベッド、暗幕 下流し、タイルに流し台、洗面化粧台(設備工事)、娯楽、タイルに水切りパイプ欄、テレビ台	
	立上り	同上	16	販売コーナー	タイルタイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	同上	タイルタイルタイル押え	E.P			同上	2400	○	○						カウンターの、整理戸棚		
	★内壁	コンクリート打ち放し 補修 吹付タイル	17	資料室	同上	同上	同上	同上			同上	2700								収納戸棚		
	屋外階段	床	防水モルタルタイル押え7&M系塗装床	18	物置	同上	同上	同上	同上		コンクリート打ち放し E.P	2000										
屋外階段	巾木	コンクリート打ち放し 補修 7&M系塗装床	2階	20	音楽室	タイルタイルタイル押え カベシート敷 74.5	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS	グラスブロック 750 入り 有孔合板目安タイル貼 79 E.P	階下タイルタイルタイル入り有孔合板目安タイル貼 E.P	吸音成形板貼(山型 H-45) 同上(平板)	3000	○	○	○	○	○	○	○	掃除用具庫、スライ収納棚、楽器棚、娯楽鏡		
	☆手摺	タイルタイル貼(笠木のみ)		21	音楽教材室	タイルタイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	同上	RC内モルタルタイル押え LGS 合板目安タイル貼 75.5 E.P	E.P	タイルタイル押え E.P		化粧石膏ボード貼 79	2700	○	○		○		○	楽器棚、7&M梯子		
	★内壁	コンクリート打ち放し 補修 吹付タイル		22	放送室	タイルタイル押え カベシート敷 74.5	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS	グラスブロック 750 入り 有孔合板目安タイル貼 79 E.P	同左		岩綿吸音板貼 79(9ヶ付 712)	2700	○	○			○		配線ピット、二重窓、暗幕、整理戸棚		
	☆外壁	タイルタイル貼		23	視聴覚室	同上	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 CB断縁	同上	同左		同上	岩綿吸音板貼 712(平)	3000	○ ₂	○	○上下	○	○	○	掃除用具庫、暗幕、大型スライディングローラー式スライティング、 配線ピット、カウンターの、スライ用カート	
軒樋	硬質塩化ビニル管 190×150、 ジョイント 64,000、曲り、伸縮加工、じょうご		3階	24	図書室	同上	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	合板目安タイル貼 75.5 E.P	同左	化粧石膏ボード貼 79	3000	平1 ○ ₂	○	○	○ホワイト	○	○	○	○	図書机、傾斜書架、傾斜窓下書架、カウンターの、掃除用具庫 洗面化粧台(建築工事)、暗幕、7&M梯子	
	縦樋	硬質塩化ビニル管 125φ 外径140φ 肉厚7 掘み金物、亜鉛メッキの上7&M酸樹脂エポキシ塗り		共通事項	30	調理家庭室	タイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS	合板目安タイル貼 75.5 E.P(屋外用)	タイルタイル押え E.P(屋外用)	化粧石膏ボード貼 79	3000	○ ₂	○	○	○上下	○	○	○	○	掃除用具庫、整理戸棚、教師用調理台、生徒用調理台、作業台 スライ流し台、洗濯機パン(設備工事)、暗幕、実習教示ミラー
生徒通用口		床	磁器150角タイル貼(ノンスリップ)		31	調理家庭教材室	同上	同上	RC内モルタルタイル押え LGS	E.P 合板目安タイル貼 75.5 E.P	タイルタイル押え E.P	同上	2700	○ ₂	○		○			○	整理戸棚、準備室用調理台、シンク台、7&M梯子	
テラス	床	磁器150角タイル貼(ノンスリップ)	32	理科室	同上	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁 LGS	合板目安タイル貼 75.5 E.P	同上		同上	3000	○ ₂	○	○	○上下	○	○	○	○	掃除用具庫、整理戸棚、教師用実験台、生徒用実験台、観察台 スライ流し台	
廊下	床	廊下タイル150角	33	理科準備室	同上	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内モルタルタイル押え LGS	合板目安タイル貼 75.5 E.P E.P 合板目安タイル貼 75.5 E.P	同上		同上	2700	○ ₂	○		○	○	○	○	○	整理戸棚、作業台、スライ流し台、カウンターの、7&M梯子	
正面カチン	床	磁器150角タイル貼	34	図工室	砂モルタル フローリング・ブローック 715 & ユリシヤ塗装	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	合板目安タイル貼 75.5 E.P	同上		同上	3000	○ ₂	○	○	○上下	○	○	○	○	掃除用具庫、教師用工作台、生徒用工作台、作品棚 流し台(人研)、スライ見切	
職員通用口	床	同上	A	QR	タイルタイル押え カベシート敷 74.5	木製OP 100×25	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	合板目安タイル貼 75.5 E.P	階下地下 合板目安タイル貼 79 E.P	化粧石膏ボード貼 79	コンクリート打ち放しカチン下加圧 E.P	3000	平○ ₆	○	○	○昇降式	○	○	○	○	○	掃除用具庫、暗幕、教師用ロッカー、生徒用ロッカー
時計塔	電気設備工事		B	多目的スペース	同上	同上	RC外断縁 現場発泡ウレタン収付 715 RC内断縁	杉板目安タイル貼 横貼 140×15 C.L	同上		同上	3000					○	○	○	○	移動式生徒用ロッカー、オフショーカー用バーション、7&Mイオンカート	
校章	タイルタイル製 1000×1000 厚さ20～60		C	手洗いコーナー	タイルタイル押え ユリシヤ系塗装(ノンスリップ)	桤材・ブローック 100×25	タイル下駄貼	半磁器タイル貼 100角			同上	2700						○			スライ手洗台、膳板、スライ見切	
足洗場	☆	笠木、壁 タイルタイル貼	D	生徒用便所(男)	タイル下駄貼 タイルタイルタイル貼		同上	同上	タイル下駄貼 半磁器タイル貼 100角	タイル酸洗タイル板目安タイル貼 76 E.P		2700	(タイルタイル)○ ₃								便所ブース：タイル化粧合板7&Mタイル 740(タイルタイル)、SK 手洗い：スライ手洗い	
旗受金物	スライス 2組		E	生徒用便所(女)	同上		同上	同上	同上	同上		2700	(タイルタイル)○ ₃								同上 オイルタイル室	
建物名称板	タイルタイル製 250角 厚さ15、 縦文字 横文字 丸ゴシック		F	廊下	タイルタイル押え 塩ビシート貼 72.8(発泡層裏打ち)	木製OP 100×25	断縁	合板目安タイル貼 79 E.P	同左		化粧石膏ボード貼 79	2700						○			1階：娯楽鏡、校内案内板 各階：掲示板	
凡例	★	石綿含有調査済	G	階段	同上	桤材・ブローック 100×25	同上	杉板目安タイル貼 斜貼 120×15 C.L 合板目安タイル貼 79 E.P			段裏：タイルタイル押え カチン下加圧 E.P 化粧石膏ボード貼 79	2700									手摺笠木：タイル 積層材 CL	
	☆	石綿非含有調査済	H	教材室	タイルタイル押え 塩ビシート貼 72.0	木製OP 100×25	タイルタイル押え	E.P	タイルタイル押え E.P		化粧石膏ボード貼 79	2700	平○ ₃								整理棚、7&M梯子	



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠井3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL(076)222-5522
佐藤和仁

工 事 名 称
旧鶴巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称
校舎棟 既存仕上表

検 印

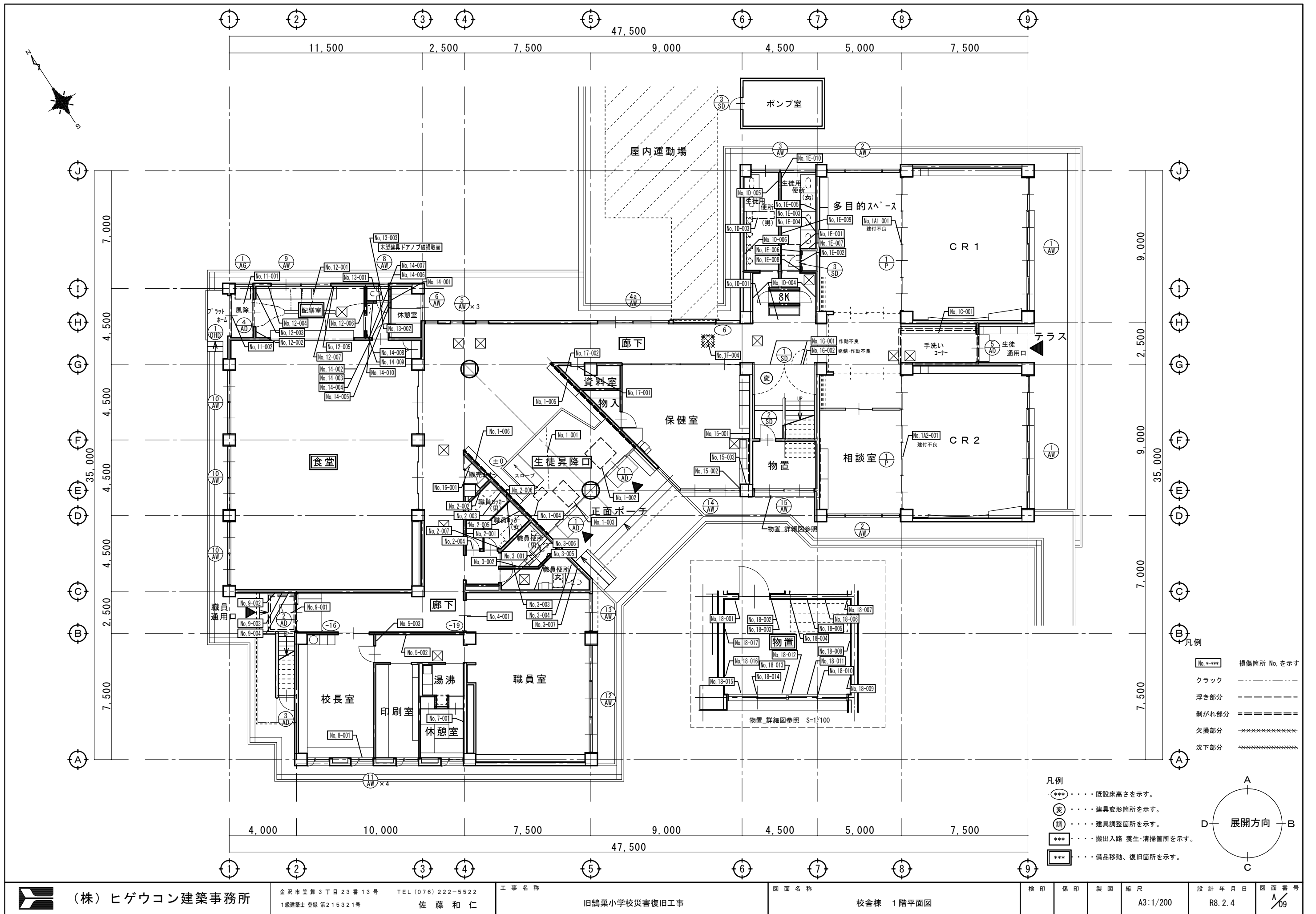
係 印

製 図

縮 尺
N.S

設 計 年 月 日
R8.2.4

図 面 番 号
A/08



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市空舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称
旧鶴巣小学校災害復旧工事

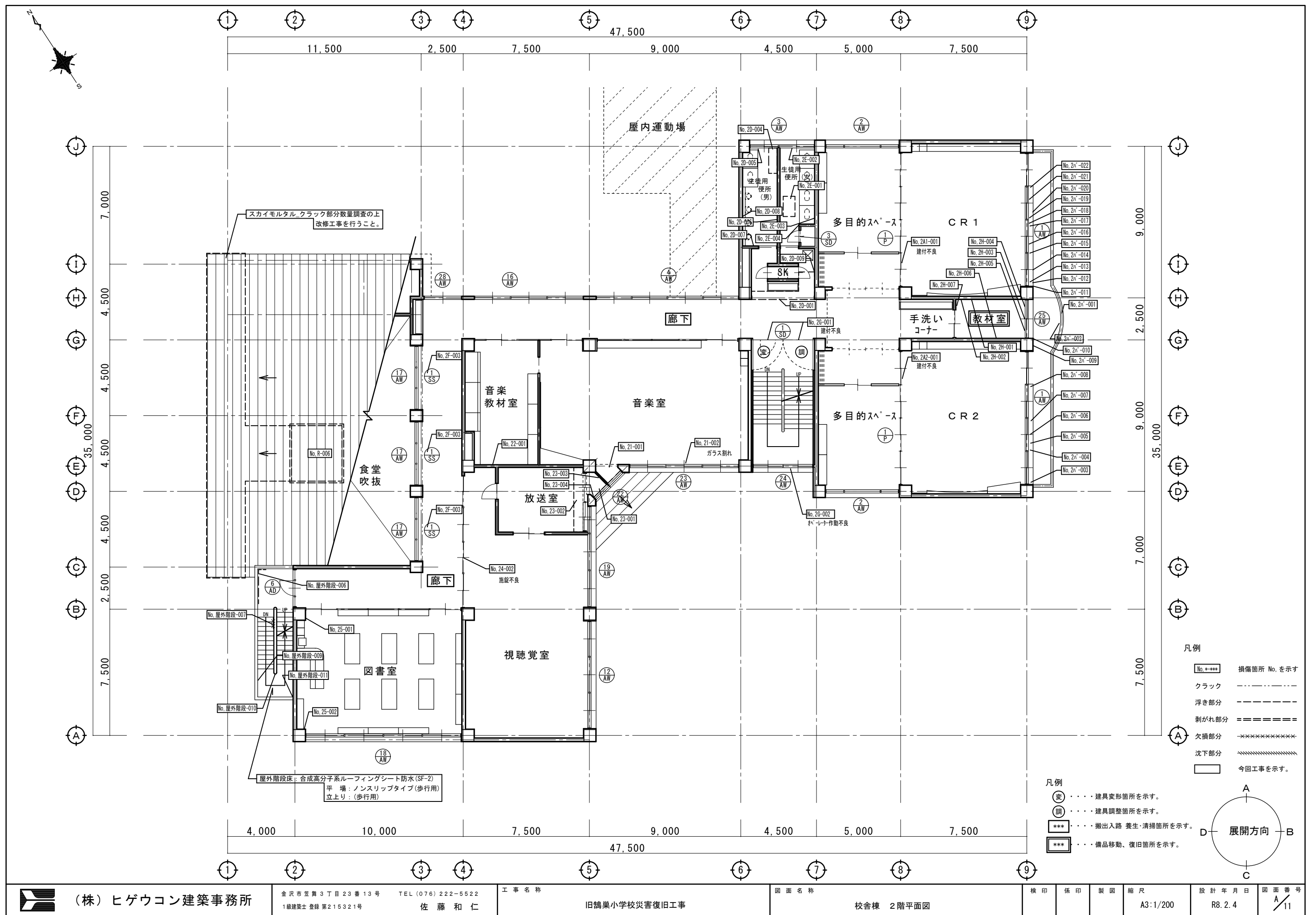
図面名称
校舎棟 1階平面図

校印	係印	製図	縮尺 A3:1/200	設計年月日 R8.2.4	図面番号 A/09
----	----	----	----------------	-----------------	--------------

棟名	階数	番号	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校舎棟	1	1	生徒昇降口	001	床	ひび割れ		3.7+0.7	4.40	0.15		0.66	m	磁器150角タイル貼	下地共撤去新設
				002	床	浮き		1.35	1.35	1.20		1.62	m	磁器150角タイル貼	下地共撤去新設
				003	床	浮き		0.90	0.90	1.35		1.22	m	磁器150角タイル貼	下地共撤去新設
				004	床	浮き		0.75	0.75	0.45		0.34	m	磁器150角タイル貼	下地共撤去新設
				005	壁	浮き		5.90	5.90	2.80		16.52	m	モザイクタイル貼	アカビーンゴ全面珪矽樹脂注入工法
								▲ 4.60	▲ 4.60	1.48		▲ 6.81	m	▲ 備品	アカビーンゴ全面珪矽樹脂注入工法
				006	壁	浮き		5.90	5.90	2.80		16.52	m	モザイクタイル貼	アカビーンゴ全面珪矽樹脂注入工法
								▲ 4.60	▲ 4.60	1.48		▲ 6.81	m	▲ 備品	アカビーンゴ全面珪矽樹脂注入工法
		2	職員ロビー(男)	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.55	2.55			2.55	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.80	2.80			2.80	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								2.55+1.9	4.45	2.30		10.24	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.4+2.3+2.3	7.00			7.00	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								1.60	1.60	2.30		3.68	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.1+0.1+0.1	0.30			0.30	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								0.93	0.93	2.30		2.14	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
								▲ 0.78	▲ 0.78	1.91		▲ 1.49	m	▲ 建具	塗装塗替え
		2	職員ロビー(女)	005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.8+2.3+1.6	5.70			5.70	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								1.59	1.59	2.30		3.66	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	2.30	2.30	2.30		5.29	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.58	0.58			0.58	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								1.19	1.19	2.30		2.74	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
								▲ 0.78	▲ 0.78	1.91		▲ 1.49	m	▲ 建具	塗装塗替え
		3	職員便所(男)	001	壁	浮き		0.20	0.20	0.10		0.02	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.1+1.0+1.05	3.15			3.15	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								1.00	1.00	2.30		2.30	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
		3	職員便所(女)	003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.30	2.30			2.30	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								2.32+0.3	2.62	2.30		6.03	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				004	壁	ひび割れ		0.75	0.75	0.20		0.15	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	2.10	2.10	2.30		4.83	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.12+1.05+0.6	1.77			1.77	m	EP塗リ(珪矽下地)	樹脂注入工法
								1.23	1.23	2.30		2.83	m	EP塗リ(珪矽下地)	塗装塗替え
								▲ 0.78	▲ 0.78	1.91		▲ 1.49	m	▲ 建具	塗装塗替え
		4	職員室	001	建具	施設不良		0.90	0.90						

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前		改修後	
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)		(処置)	
		16	販売コーナー	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.75	0.75			0.75	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
								0.92+0.49	1.41	0.75		1.06	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
		17	資料室	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.76	0.76			0.76	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
								1.55	1.55	0.76		1.18	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.30	2.30			2.30	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
								1.85	1.85	2.50		4.63	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
		18	物置	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.53	0.53		2.00	1.06	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.47	0.47			0.47	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.34	0.34			0.34	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.30	1.30			1.30	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.30	1.30			1.30	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.35	1.35			1.35	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				007	壁	ひび割れ	クラック幅1.0超	1.30	1.30			1.30	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				008	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.3+1.3	2.60			2.60	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				009	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.20	2.20			2.20	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				010	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				011	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				012	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				013	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				014	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				015	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				016	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.30	2.30			2.30	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				017	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.20	2.20			2.20	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
								3.75	3.75	2.88	2.00	21.60	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
								2.85	2.85	2.88	2.00	16.42	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
								▲ 0.90	▲ 0.90	1.88		▲ 1.69	m	▲建具		塗装塗替え	
								▲ 3.65	▲ 3.65	0.79		▲ 2.88	m	▲建具		塗装塗替え	
				018	天井	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.62+0.76+1.5	2.88			2.88	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
				019	天井	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.63+2.3	2.93			2.93	m	EP塗り (モタル下地)		樹脂注入工法	
								3.75	3.75	2.85		10.69	m	EP塗り (モタル下地)		塗装塗替え	
A		CR1	001	建具	建付不良	パネーション					1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7		建具調整	
A		CR2	001	建具	建付不良	パネーション					1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7		建具調整	
C		手洗いコーナー	001	床	破損			1.90	1.90	4.60		8.74	m	ウレタン系塗床 (モタルコフ)		下地共撤去新設	
								1.62	1.62			1.62	m	見切り (ステンシル製)		撤去新設	
B		多目的スペース	001	天井	破損			0.33	0.33	0.21		0.07	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設	
D		生徒用便所 (男)	001	床	浮き			3.70	3.70	2.85		10.55	m	ウレタン系塗床 (モタルコフ)		下地共撤去新設 (全面)	
				002	床	欠番											
				003	床	浮き		1.30	1.30	0.40		0.52	m	モザイクタイル張		下地共撤去新設	
				004	壁	はがれ		3.70	3.70	2.60	2.00	19.24	m	ビニルクロス貼		仕上のみ撤去新設 (全面)	
								2.85	2.85	2.60	2.00	14.82	m	ビニルクロス貼		仕上のみ撤去新設 (全面)	
								▲ 1.07	▲ 1.07	2.68	2.00	▲ 5.74	m	▲建具		仕上のみ撤去新設	
								▲ 3.70	▲ 3.70	2.10		▲ 7.77	m	▲建具		仕上のみ撤去新設	
				005	壁	浮き		5.83	5.83	0.22		1.28	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				006	壁	浮き		5.53	5.53	0.22		1.22	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				007	天井	シミ		0.90	0.90	0.45	3.00	1.22	m	ケ酸ｶﾙｼｳﾞ板目透し76 (EP塗り)		仕上のみ撤去新設	
E		生徒用便所 (女)	001	床	浮き			1.10	1.10	0.65		0.72	m	モザイクタイル張		下地共撤去新設	
				002	床	浮き		1.10	1.10	0.89		0.98	m	磁器タイル貼100角防汚		下地共撤去新設	
				003	壁	ひび割れ		2.00	2.00	0.20		0.40	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				004	壁	ひび割れ		1.20	1.20	0.20		0.24	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				005	壁	浮き		4.55	4.55	0.23		1.05	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				006	壁	浮き		1.29	1.29	0.23		0.30	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				007	壁	浮き		0.93	0.93	0.23		0.21	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				008	壁	目地切れ		2.70	2.70			2.70	m	半磁器タイル貼100角		ｼｰﾘﾝｸﾞ新設	
				009	壁	浮き		4.55+1.29	5.84	0.23		1.34	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				010	壁	浮き		0.10	0.10	0.60		0.06	m	半磁器タイル貼100角		仕上のみ撤去新設	
				011	天井	シミ		0.90	0.90	0.45		0.41	m	ケ酸ｶﾙｼｳﾞ板目透し76 (EP塗り)		仕上のみ撤去新設	
F		廊下	001	天井	破損			0.90	0.90	0.41		0.37	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設	
			002	天井	破損			0.90	0.90	0.45	2.00	1.80	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設	
			003	天井	破損			0.90	0.90	0.41		0.37	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設	
			004	雑	破損						1.00	1.00	か所	床点検口 600×600		撤去新設	
		G	階段	001	建具	作動不良					1.00	1.00	ヶ所	SD-1：3.56×2.66		扉のみ撤去新設	
				002	建具	発錆		3.56	3.56	2.66	2.60	24.62	m	SD-1：ｽﾃｰﾙ製 (OP塗り)		塗装塗替え	





○損傷リスト（校舎棟 屋根）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟	屋上	屋根	R-006	食堂屋根	はがれ		3.30	3.30	8.70		28.71	m	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)
				食堂屋根		※漏水対策	19.20	19.20	2.25		43.20	m	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)
							3.30	2.25	8.70		19.58	m	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)

○損傷リスト（校舎棟 外部階段）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟		外部階段	007	外壁	欠損		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
						鉄筋腐裂				1.00	1.00	か所	コンクリート打放し補修吹付け	充填工法200×200程度
			009	外壁	はがれ		0.50	0.50	1.05		0.53	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			010	外壁	はがれ		0.90	0.90	0.30		0.27	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			011	外壁	はがれ		2.00	2.00	1.50		3.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設

※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

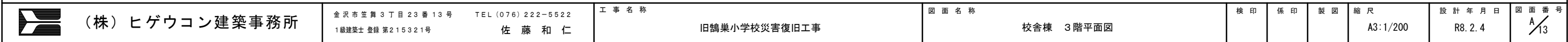
○損傷リスト（校舎棟 バルコニー）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟	2		001	手すり	浮き		1.04+7.52+4.9 +7.47+1.04	21.97			21.97	m	モザイクタイル貼(90×45)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
			002	内壁	はがれ		1.04+7.52+4.9 +7.47+1.04	21.97	0.70		15.38	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			003	外壁	ひび割れ		0.75	0.75	0.36		0.27	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			004	外壁	ひび割れ		0.1+0.15	0.25	0.05		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			005	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.15		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			006	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.05		0.00	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			007	外壁	ひび割れ		0.1+0.15	0.25	0.05		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			008	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			009	外壁	浮き		0.50	0.50	0.30		0.15	m	モザイクタイル貼(90×45)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
			010	外壁	ひび割れ		0.10	0.10	0.10		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			011	外壁	ひび割れ		0.10	0.10	0.20		0.02	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			012	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			013	外壁	ひび割れ		0.2+0.25	0.45	0.10		0.05	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			014	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.20		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			015	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.30		0.02	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			016	外壁	ひび割れ		0.1+0.05	0.15	0.05		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			017	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.05		0.00	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			018	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.05		0.00	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			019	外壁	浮き		0.50	0.50	0.45		0.23	m	モザイクタイル貼(90×45)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
			020	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	モザイクタイル貼(90×45)	仕上のみ撤去新設
			021	外壁	浮き		2.05	2.05	0.50		1.03	m	モザイクタイル貼(90×45)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
			022	外壁	浮き		0.85	0.85	0.36		0.31	m	モザイクタイル貼(90×45)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
			023	上裏	はがれ		4.90	4.90	0.20		0.98	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			024	上裏	はがれ		2.70	2.70	0.10		0.27	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			025	上裏	はがれ		0.50	0.50	0.50		0.25	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			026	上裏	はがれ		1.00	1.00	0.20		0.20	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設

※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

○損傷リスト（校舎棟 内部2階）

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟	2	21	音楽室	001	床	シミ		0.85	0.85	1.34		1.14	m	カーペット敷 74.5	撤去新設
				002	建具	ガラス割れ		1.00	1.00	1.01		1.01	m	AW-23：フロートガラス 75	撤去新設
		22	音楽教材室	001	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2～1.0	0.45+0.5	0.95			0.95	m	EP塗リ(モザイク下地)	樹脂注入工法
								3.42	3.42	2.60		8.89	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
		23	放送室	001	床	シミ		0.85	0.85	1.25		1.06	m	カーペット敷 74.5	撤去新設
				002	床	シミ		3.74	3.74	0.55		2.06	m	カーペット敷 74.5	撤去新設
				003	壁	目地切れ		0.90	0.90	2.57		2.31	m	EP塗リ(石膏ボード下地 79)	仕上のみ撤去新設
				004	壁	シミ		0.87+0.7+0.66	2.23	2.57		5.73	m	EP塗リ(石膏ボード下地 79)	仕上のみ撤去新設
		24	視聴覚室	001	天井	シミ		4.00	4.00	1.50		6.00	m	岩綿吸音板17' 付 712	仕上のみ撤去新設(捨張共)
											1.00	1.00	か所	天井点検口 450角	撤去新設
				002	建具	施設不良					1.00	1.00	ヶ所	スチール製 P9：1.80×1.90	錠前取替え
		25	図書室	001	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	0.47+0.52	0.99	2.90		2.87	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	0.47+0.2	0.67	2.90		1.94	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
		A	CR1	001	建具	建付不良	パネーテーション				1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7	建具調整
		A	CR2	001	建具	建付不良	パネーテーション				1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7	建具調整
		B	多目的スペース	001	天井	破損		0.45	0.45	0.64		0.29	m	化粧石膏ボード 79	仕上のみ撤去新設
		D	生徒用便所(男)	001	床	浮き		3.70	3.70	2.85		10.55	m	ウレタン系床(モザイク)	下地共撤去新設(全面)
				002	床	欠番									
				003	床	欠番									
				004	床	浮き		1.50	1.50	0.50		0.75	m	モザイクタイル張	下地共撤去新設
				005	壁	浮き		0.10	0.10	0.30		0.03	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				006	壁	浮き		5.83	5.83	0.23		1.34	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				007	壁	浮き		0.80	0.80	0.23		0.18	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				008	壁	浮き		0.42	0.42	0.23		0.10	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				009	壁	はがれ		3.70	3.70	2.60	2.00	19.24	m	ビニルタイル貼	仕上のみ撤去新設(全面)
								2.85	2.85	2.60	2.00	14.82	m	ビニルタイル貼	仕上のみ撤去新設(全面)
								▲ 1.07	▲ 1.07	2.68	2.00	▲ 5.74	m	▲建具	仕上のみ撤去新設
								▲ 3.70	▲ 3.70	2.10		▲ 7.77	m	▲建具	仕上のみ撤去新設
		E	生徒用便所(女)	001	床	浮き		1.20	1.20	0.70		0.84	m	モザイクタイル張	下地共撤去新設
				002	壁	浮き		2.10	2.10	0.22		0.46	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				003	壁	浮き		4.55	4.55	0.22		1.00	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				004	壁	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
		F	廊下	001	天井	破損		0.90	0.90	0.45	2.00	0.81	m	化粧石膏ボード 79	仕上のみ撤去新設
				002	天井	破損					1.00	1.00	ヶ所	天井点検口 450角	撤去新設
				003	建具	未設置					3.00	3.00	ヶ所	SS-1：3.78×2.39	危険防止装置追加
		G	階段	001	建具	作動不良					1.00	1.00	ヶ所	SD-1：3.56×2.66	扉のみ撤去新設
				002	建具	作動不良	パネーテーション設置(バード式)				1.00	1.00	か所	AW-24：3.5×2.42	部品取替え
		H	教材室	001	壁	浮き		0.50	0.50	0.40		0.20	m	EP塗リ(モザイク下地)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	4.17	4.17	2.60		10.84	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
				003	壁	浮き		2.32	2.32	0.40		0.93	m	EP塗リ(モザイク下地)	アクリル樹脂全面貼 杉樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗リ(モザイク下地)	樹脂注入工法
				005	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	2.32	2.32	0.70		1.62	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
				006	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	4.17	4.17	2.60		10.84	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え
				007	壁	ひび割れ	ガラス幅0.2未満	0.65	0.65	2.60		1.69	m	EP塗リ(モザイク下地)	塗装塗替え



○損傷リスト（校舎棟 外部階段）

棟名	階数	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟		外部階段	001	外壁	はがれ		2.10	2.10	1.05		2.21	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			002	外壁	はがれ		0.25+0.7	0.95	0.20		0.19	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			003	外壁	はがれ		0.30	0.30	0.50	0.50	0.08	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			004	外壁	はがれ		0.95	0.95	2.00		1.90	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		1.5+3.5	5.00	3.50	0.50	8.75	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			005	上裏	はがれ		1.80	1.80	2.10		3.78	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			006	外壁	はがれ		2.30	2.30	1.25		2.88	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			007	外壁	欠損		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
						鉄筋爆裂				1.00	1.00	か所	コンクリート打放し補修吹付け	充填工法200×200程度
			008	上裏	はがれ		2.10	2.10	1.60		3.36	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		3.50	3.50	1.00		3.50	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					欠損	鉄筋爆裂				1.00	1.00	か所	コンクリート打放し補修吹付け	充填工法100×100程度
			009	外壁	はがれ		0.50	0.50	1.05		0.53	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			010	外壁	はがれ		0.90	0.90	0.30		0.27	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			011	外壁	はがれ		2.00	2.00	1.50		3.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			012	上裏	はがれ		1.90	1.90	2.10		3.99	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					欠損	鉄筋爆裂				1.00	1.00	か所	コンクリート打放し補修吹付け	充填工法1600×1600程度
							1.60	1.60	1.60		2.56	m	コンクリート打放し補修吹付け	外壁剥落防止工法
			013	上裏	はがれ		2.20	2.20	2.50		5.50	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設

※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

○損傷リスト（校舎棟 バルコニー）

棟名	階数	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟	3	バルコニー	001	手すり	浮き		1.04+7.52+4.9 +7.47+1.04	21.97			21.97	m	樹脂イタイル貼（90×45）	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
			002	内壁	はがれ		1.04+7.52+4.9 +7.47+1.04	21.97	0.70		15.38	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			003	外壁	ひび割れ		0.3+0.36	0.66	1.05		0.69	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			004	外壁	ひび割れ		0.20	0.20	0.20		0.04	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			005	外壁	ひび割れ		0.50	0.50	0.20		0.10	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			006	外壁	ひび割れ		0.2+0.15	0.35	0.05		0.02	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			007	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.20		0.01	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			008	外壁	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			009	外壁	ひび割れ		0.10	0.10	0.20		0.02	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			010	外壁	ひび割れ		0.50	0.50	0.36		0.18	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			011	外壁	ひび割れ		0.80	0.80	0.20		0.16	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			012	外壁	浮き		2.25	2.25	0.32		0.72	m	樹脂イタイル貼（90×45）	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
			013	外壁	ひび割れ		0.25	0.25	0.20		0.05	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			014	外壁	浮き		0.75	0.75	0.30		0.23	m	樹脂イタイル貼（90×45）	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
			015	外壁	ひび割れ		0.10	0.10	0.10		0.01	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			016	外壁	ひび割れ		1.28	1.28	0.36		0.46	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			017	外壁	浮き		4.70	4.70	0.36		1.69	m	樹脂イタイル貼（90×45）	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
			018	外壁	ひび割れ		0.10	0.10	0.36		0.04	m	樹脂イタイル貼（90×45）	仕上のみ撤去新設
			019	手すり	破損		1.04+2.125	3.17			3.17	m	手すり手摺 H=250	撤去新設

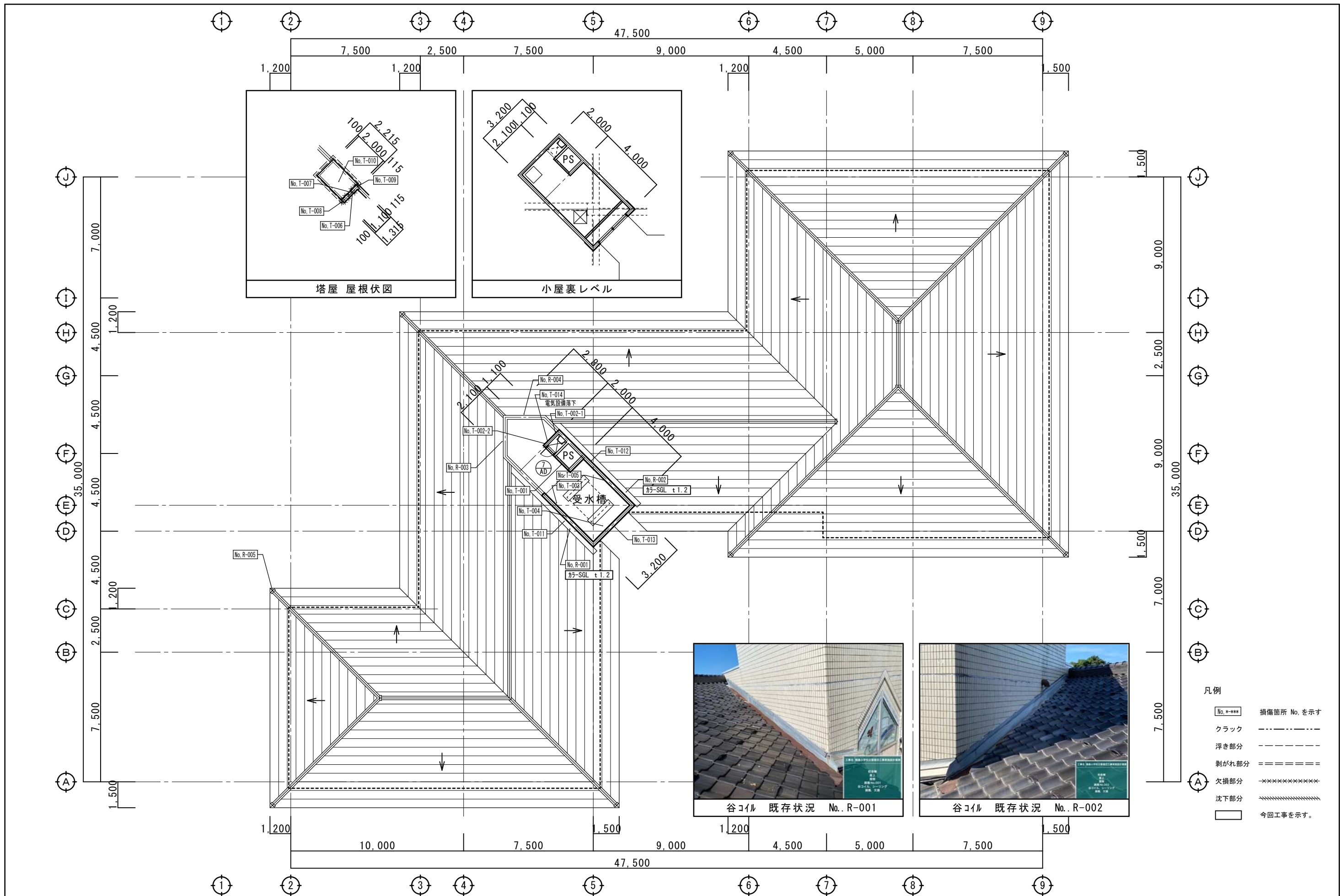
※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

○損傷リスト（校舎棟 内部3階）

棟名	階数	番号	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
校舎棟	3	31	調理家庭室	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.52+0.78+0.52	1.82	2.90		5.28	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.52+0.07	0.59	2.90		1.71	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.52+0.07	0.59			0.59	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.2+0.07	0.27	2.90		0.78	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.2+0.07	0.27			0.27	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.71+0.78+0.21	1.70	2.90		4.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.21+0.13	0.34			0.34	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
				008	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.21+0.2	0.41			0.41	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
				009	天井	シミ		0.95	0.95	0.45		0.43	m	化粧石膏ボード® 79	仕上のみ撤去新設
				010	天井	シミ	渠型	0.22+0.45+0.22	0.89	6.47		5.76	m	ビニールクロス貼	仕上のみ撤去新設
								6.47	6.47		2.00	12.94	m	塩ビ®廻縁	撤去新設
				011	天井	破損		0.95	0.95	0.45		0.43	m	化粧石膏ボード® 79	仕上のみ撤去新設
			32	調理家庭教材室	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.10	2.10		2.10	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
								3.82	3.82	2.60		9.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.6+0.7+0.9	4.20			4.20	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
								3.82	3.82	2.60		9.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.30	1.30			1.30	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
								3.82	3.82	2.60		9.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.87	0.87			0.87	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
								3.82	3.82	2.60		9.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.40	1.40			1.40	m	EP塗リ（珪藻土下地）	樹脂注入工法
								3.82	3.82	2.60		9.93	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
										1.00		1.00	か所	掲示板 1.80×1.20	取外し再取付
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.21	0.21	0.80		0.17	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.51	0.51	2.60		1.33	m	EP塗リ（珪藻土下地）	塗装塗替え

○損傷リスト（校舎棟 内部3階）

	階数	番号	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校舎棟	3	33	理科室	001	壁	浮き		0.80	0.80	1.10		0.88	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.2+0.8+0.2	1.20	1.80		2.16	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.18+0.13	0.31			0.31	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.18+0.13	0.31	2.90		0.90	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.52+0.14	0.66	2.90		1.91	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				006	壁	浮き		5.40	5.40	2.20		11.88	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
											2.00	2.00	か所	掲示板 2.30×1.15	取外し再取付
											1.00	1.00	か所	黒板 1.80×1.15	取外し再取付
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	6.38	6.38	2.22		14.16	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				008	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.51+0.8+0.51	1.82	2.90		5.28	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
		34	理科準備室	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.52	0.52	2.60		1.35	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.85	0.85			0.85	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.63+0.3	0.93			0.93	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.75	0.75			0.75	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.64+0.3+1.1	2.04	2.60		5.30	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
								0.75	0.75	1.00		0.75	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				006	壁	シミ		0.70	0.70	1.00		0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
								0.75	0.75	1.00		0.75	m	EP塗リ (石膏ボード®下地 79)	塗装塗替え
		35	図工室	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.5+0.2	0.70			0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
								0.5+0.2	0.70	2.90		2.03	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.5+0.2	0.70			0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
								0.5+0.2	0.70	2.90		2.03	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.5+0.2	0.70	2.90		2.03	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.51+0.48	0.99	2.90		2.87	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
		A	CR-1	001	建具	建付不良	パネーション				1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7	建具調整
				002	建具	施設不良					1.00	1.00	か所	AW-1：1.90×2.00	錠前取替え
			CR-2	001	建具	建付不良	パネーション				1.00	1.00	か所	P1：7.875×2.7	建具調整
				002	建具	水切浮き		2.97	2.97			2.97	m	AW-1：7.825×2.71	撤去新設 (小口ヲ共)
		D	生徒使用所 (男)	001	床	浮き		3.70	3.70	2.85		10.55	m	ウレタン系塗床 (珪藻土®)	下地共撤去新設 (全面)
				002	床	欠番									
				003	床	浮き		2.20	2.20	0.80		1.76	m	サビイタイル張	下地共撤去新設
				004	床	浮き		0.50	0.50	0.30		0.15	m	サビイタイル張	下地共撤去新設
				005	床	浮き		0.27	0.27	0.40		0.11	m	サビイタイル張	下地共撤去新設
				006	壁	はがれ		3.70	3.70	2.60	2.00	19.24	m	ビニルクロス貼	仕上のみ撤去新設 (全面)
								2.85	2.85	2.60	2.00	14.82	m	ビニルクロス貼	仕上のみ撤去新設 (全面)
								▲1.07	▲1.07	2.68	2.00	▲5.74	m	▲建具	仕上のみ撤去新設
								▲3.70	▲3.70	2.10		▲7.77	m	▲建具	仕上のみ撤去新設
				007	壁	浮き		0.10	0.10	0.20		0.02	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				008	壁	浮き		0.77	0.77	0.23		0.18	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				009	壁	浮き		1.90	1.90	0.23		0.44	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				010	天井	ハガレ		0.90	0.90	0.45		0.41	m	胃酸ｶｰｼﾞｯｸﾙ板目透し76 (EP塗リ)	仕上のみ撤去新設
		E	生徒使用所 (女)	001	床	浮き		1.60	1.60	0.90		1.44	m	サビイタイル張	下地共撤去新設
				002	床	浮き		0.70	0.70	0.80		0.56	m	サビイタイル張	下地共撤去新設
				003	壁	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
				004	壁	浮き		1.30	1.30	0.14		0.18	m	半磁器タイル貼100角	仕上のみ撤去新設
		F	廊下	001	壁	破損		0.91	0.91	1.80		1.64	m	OP塗リ (合板目透かし貼 75.5)	仕上のみ撤去新設
				002	建具	開閉不良					1.00	1.00	か所	AD-6：2.17×2.66	建具調整
		G	階段	001	建具	作動不良・建付不良					1.00	1.00	ヶ所	SD-1：3.56×2.66	扉のみ撤去新設
				002	建具	作動不良	ホーラー装置 (パッド式)				1.00	1.00	か所	AW-24：3.5×2.42	部品取替え
		H	教材室	001	壁	浮き		0.60	0.60	0.40		0.24	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.90	1.90			1.90	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
								4.17	4.17	2.60		10.84	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				005	壁	浮き		2.32	2.32	0.70		1.62	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
								2.32	2.32	0.70		1.62	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				008	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.10	1.10			1.10	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				009	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.60	1.60			1.60	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				010	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				011	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.40	1.40			1.40	m	EP塗リ (珪藻土下地)	樹脂注入工法
				012	壁	浮き		4.17	4.17	0.70		2.92	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
				013	壁	浮き		4.17	4.17	0.80		3.34	m	EP塗リ (珪藻土下地)	フオロビニル®全面®杉樹脂注入工法
								4.17	4.17	2.60		10.84	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え
				014	壁	ひび割れ	クラック幅0.2未満	0.65	0.65	2.60		1.69	m	EP塗リ (珪藻土下地)	塗装塗替え



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工事名称 旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称 校舎棟 屋根伏図

検印 係印 製図 縮尺 A3:1/200

設計年月日 R8.2.4

図面番号 A/15

○ 損傷リスト（校舎棟 屋根）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校舎棟	屋上	屋根	R-001	谷部	はがれ＋発錆		7.20	7.20			7.20	m	谷コイル 幅300	撤去新設
					欠損		7.20	7.20		2	14.40	m	シーリング	シーリング 再充填工法
			R-002	谷部	はがれ＋発錆		7.20	7.20			7.20	m	谷コイル 幅300	撤去新設
					欠損		7.20	7.20		2	14.40	m	シーリング	シーリング 再充填工法
			R-003	立上り	欠損		3.00	3.00			3.00	m	シーリング	シーリング 再充填工法
					欠損		3.00	3.00			3.00	m	シーリング	シーリング 再充填工法
			R-005	軒先	はがれ	崩落の危険あり				1	1.00	か所	日本瓦(鬼瓦)	撤去新設
					はがれ		3.30	3.30	8.70		28.71	m ²	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)
			R-006	食堂屋根		※漏水対策	19.20	19.20	2.25		43.20	m ²	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)
							3.30	2.25	8.70		19.58	m ²	日本瓦	※撤去新設(防水紙まで)

※は施工数量調査を行う。

○ 損傷リスト（校舎棟 塔屋）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校舎棟	屋上	塔屋	T-001	外壁	はがれ		1.10	1.10	0.95		1.05	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		1.76	1.76	0.12		0.21	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		0.15+0.2+0.2	0.55	0.90		0.50	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		0.50	0.50	0.60		0.30	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			T-002-1	外壁	はがれ		0.30	0.30	0.50		0.15	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		4.00	4.00	1.15		4.60	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			T-004	外壁	はがれ		2.85	2.85	1.25		3.56	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		3.35	3.35	1.80	0.50	3.02	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			T-005	外壁	はがれ		4.00	4.00	1.15		4.60	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		1.20	1.20	1.15		1.38	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		1.40	1.40	1.60	2.00	4.48	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					はがれ		1.10	1.10	1.35	0.50	0.74	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			T-008	外壁	欠損		0.23	0.23	0.05	2.00	0.02	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
						鉄筋爆裂				3.00	3.00	か所		充填工法200×200程度
			T-009	外壁	はがれ		0.50	0.50	0.20		0.10	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					欠損		0.05	0.05	0.05	3.00	0.01	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
						鉄筋爆裂				4.00	4.00	か所		充填工法100×100程度
					はがれ	平場	2.00	2.00	1.40		2.80	m ²	塩ビシート防水 71.5	仕上のみ撤去新設(S3S工法)
					はがれ	立上り	1.40	1.40	0.30		0.42	m ²	塩ビシート防水 71.5	仕上のみ撤去新設(S3S工法)
					浮き		4.20	4.20	1.80		7.56	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
							4.20	4.20	1.20	0.50	2.52	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
					浮き		4.20	4.20	1.80		7.56	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
			T-012	外壁	浮き		4.20	4.20	1.20	0.50	2.52	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
					浮き		3.35	3.35	1.80	0.50	3.02	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
			T-013	外壁	浮き		3.35	3.35	3.00		10.05	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
							▲ 1.80	▲ 1.80	1.00	0.50	▲ 0.90	m ²	モザイクタイル貼	フルバースタイル全面モザイク樹脂注入工法
			T-014	電気設備	落下	鉄筋爆裂				1.00	1.00	か所	○屋外型コンセント	撤去新設＋充填工法100×100程度
					欠損		0.10	0.10	0.10		0.01	m ²	コンクリート打放し補修吹付タイル	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設

※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

○は電気設備工事で対応。



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤 和 仁

工 事 名 称

旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称

校舎棟 屋根損傷リスト

検 印

係 印

製 図

縮 尺

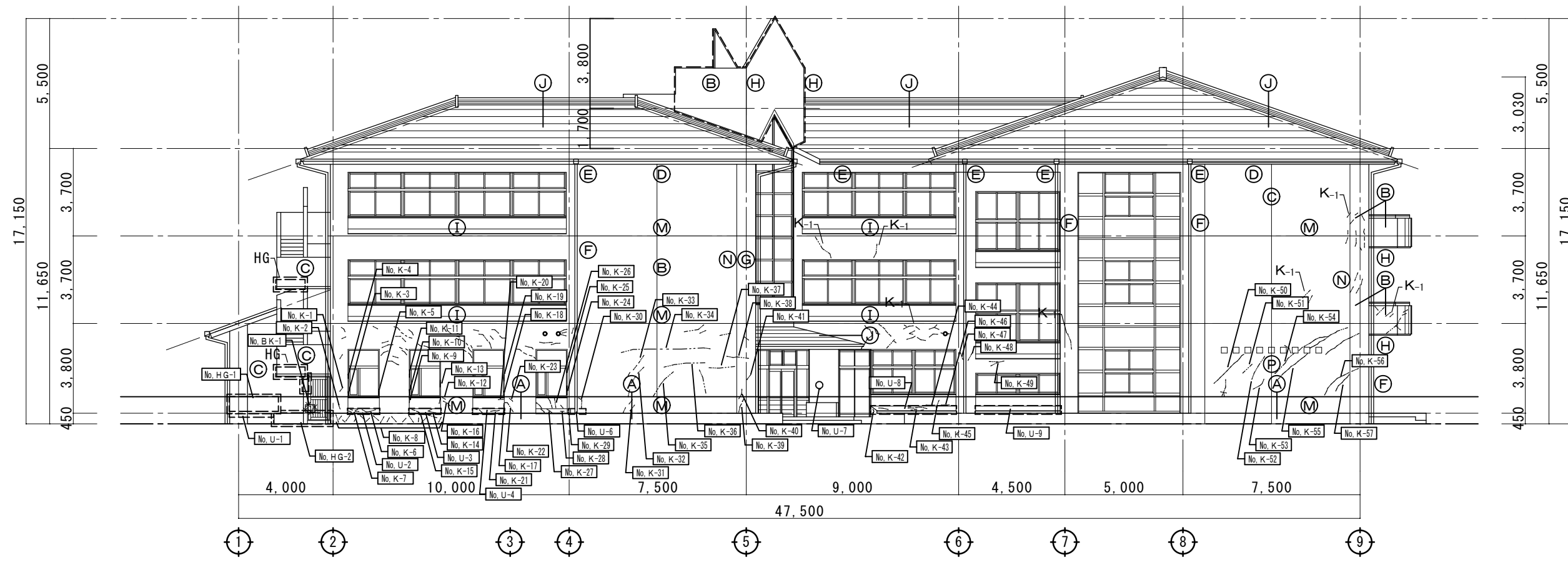
N. S

設 計 年 月 日

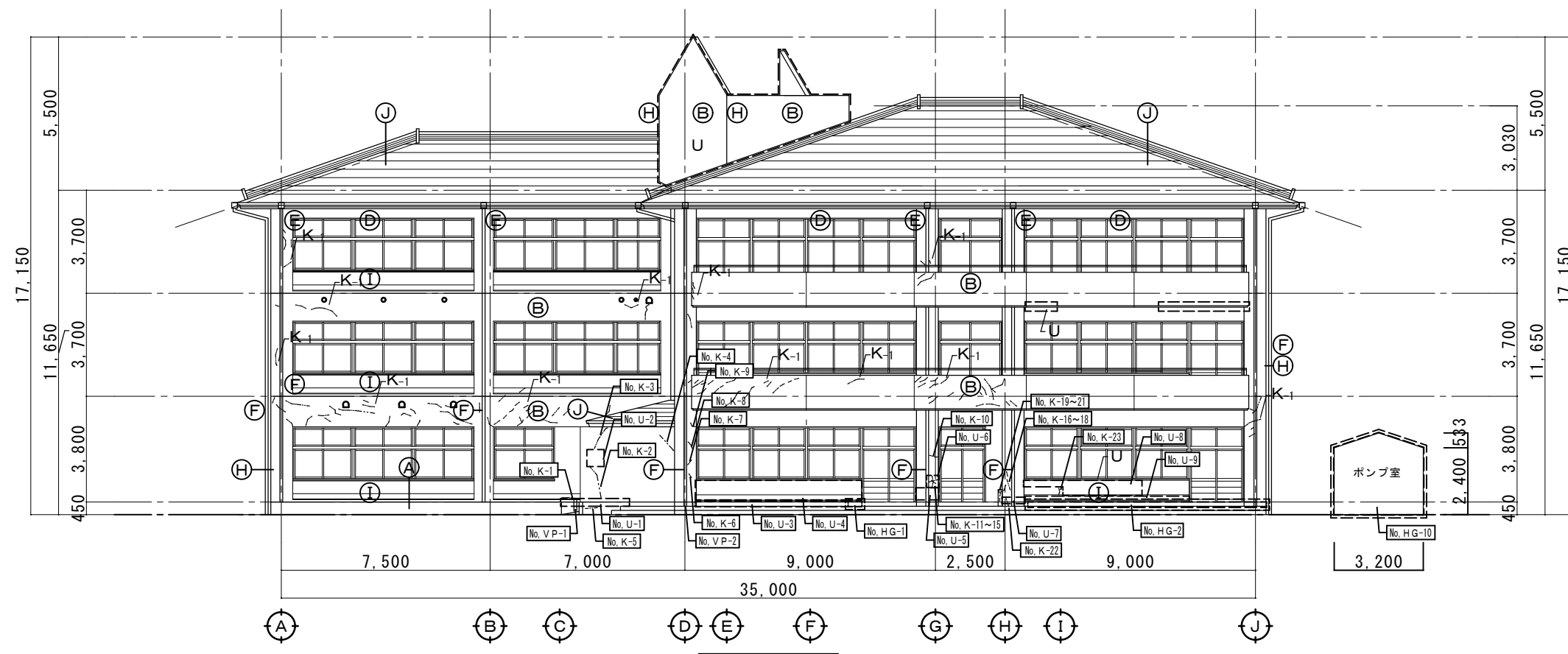
R8. 2. 4

図 面 番 号

A / 16



南側 立面図



東側 立面図

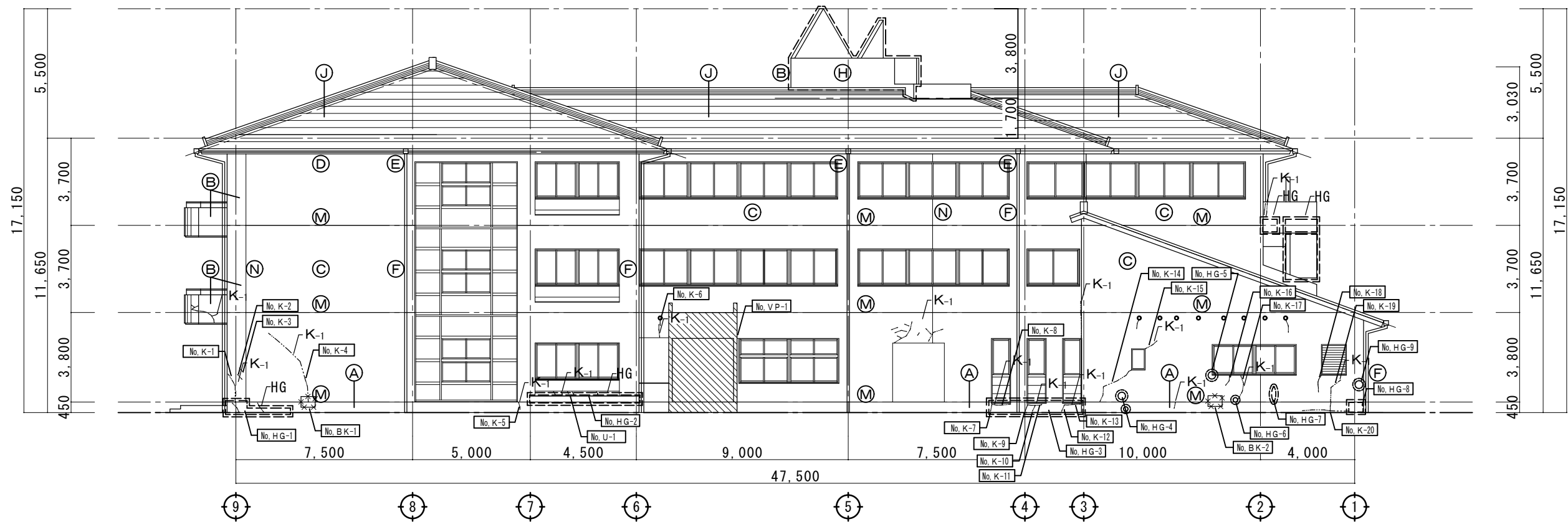
— 凡例 —	
A	コンクリート打放 ノロ引き仕上
B	モザイクタイル貼 90×45 タテ貼
C	コンクリート打放 吹付タイル
D	軒 樋：塩ビ製 190×150（リブ付）
E	集水桝：塩ビ製 355×216
F	縦軒樋：塩ビ製 125φ F E 塗装
G	モザイクタイル貼 役物 45×45
H	同上 45×90
I	同上 45×145
J	日本瓦葺 3寸5分勾配（56版）逆水止瓦
M	打継目地：ポリサルコーキング20×10
N	縦 目地：同上 10×10
P	建物名称盤：セラミックス製箱文字250角

※シーリングについては、
サッシ廻り、サッシジョイント、水切り取合い
打ち継ぎ目地、化粧目地 劣化箇所は、打ち替えとする。

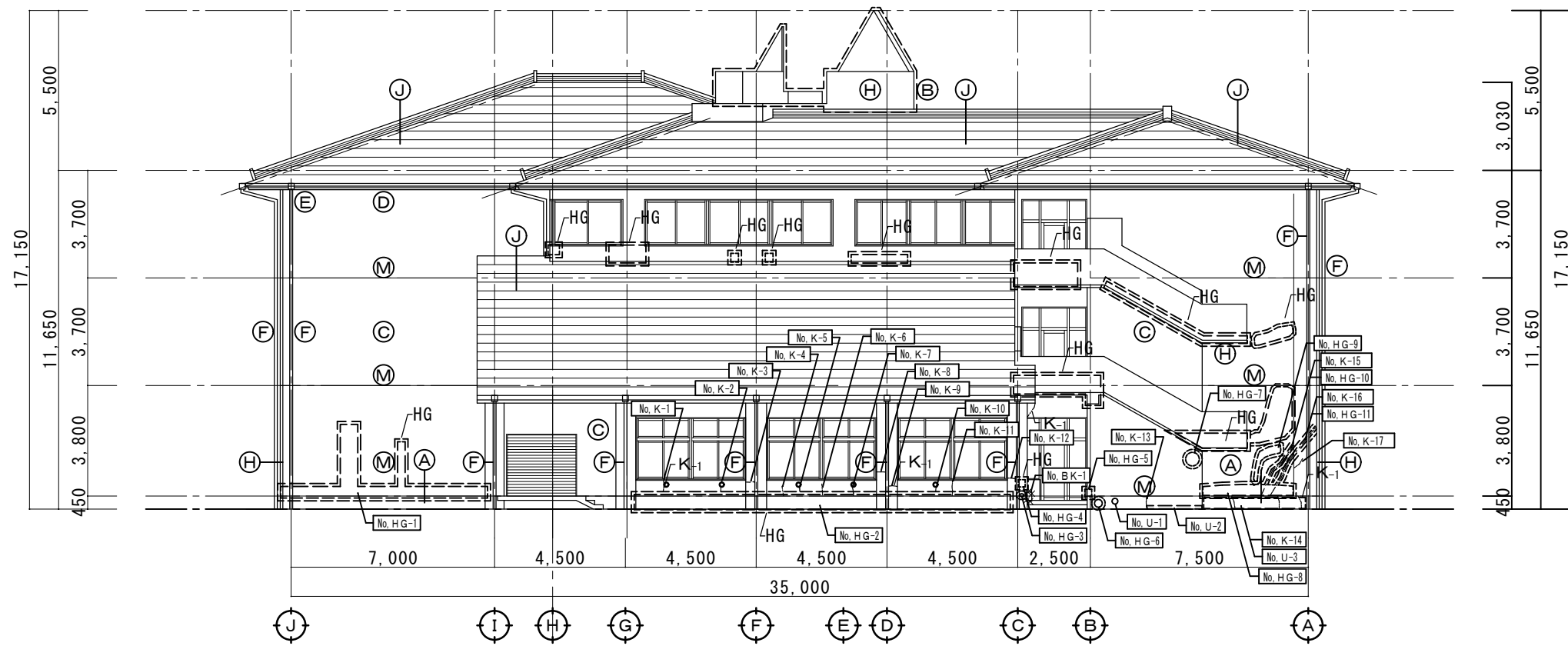
※コンクリート爆裂部分の補修については、
塩害対策としてリフリート工法DS仕様(同等)とし、
亜硝酸リチウム系塗布型防錆材「DS-400」(同等品)
を使用すること。

— 凡例 —	
K-1	クラック：0.2mm～1.0mm -----
K-2	クラック：1.0mm以上 -----
U	仕上材浮き部分 -----
HG	仕上材剥がれ部分 =====
BK	爆裂部分 -*****-
No. #***	損傷箇所 No. を示す
-----	損傷の範囲を示す

○ 損傷リスト（校舎棟 外壁）														○ 損傷リスト（校舎棟 外壁）													
棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後													
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）													
校舎棟		外壁	HG1	南面	はがれ		2.60	2.60	0.80		2.08	m	コンクリート打放し補修吹付タイ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設													
			BK1	南面	浮き		0.30	0.30	0.10		0.03	m	コンクリート打放し補修吹付タイ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設													
						鉄筋爆裂				1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度														
			U1	南面	浮き		3.50	3.50	0.20		0.70	m	コンクリート打放し補修吹付タイ	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法													
			HG2	南面	はがれ		4.30	4.30	0.40		1.72	m	コンクリート打ち放し/ﾀﾞﾐﾝｷﾞ仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設													
			K1	南面	ひび割れ		0.10	0.10	0.05		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K2	南面	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K3	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K4	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K5	南面	ひび割れ		0.10	0.10	0.10		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U2	南面	浮き		1.25	1.25	0.40		0.50	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法													
			K6	南面	ひび割れ		1.35	1.35	0.35		0.47	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K7	南面	ひび割れ		1.35	1.35	0.10		0.14	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K8	南面	ひび割れ		17.40	17.40	0.35		6.09	m	コンクリート打ち放し/ﾀﾞﾐﾝｷﾞ仕上	仕上のみ撤去新設													
			K9	南面	ひび割れ		0.15	0.15	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K10	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K11	南面	ひび割れ		0.25	0.25	0.10		0.03	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K12	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K13	南面	ひび割れ		0.30	0.30	0.10		0.03	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U3	南面	浮き		1.20	1.20	0.40		0.48	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法													
			K14	南面	ひび割れ		1.25	1.25	0.35		0.44	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K15	南面	ひび割れ		1.35	1.35	0.10		0.14	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K16	南面	ひび割れ		0.30	0.30	0.10		0.03	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K17	南面	ひび割れ		0.30	0.30	0.10		0.03	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K18	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K19	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U4	南面	浮き		1.20	1.20	0.40		0.48	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法													
			K20	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K21	南面	ひび割れ		1.25	1.25	0.35		0.44	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K22	南面	ひび割れ		0.70	0.70	0.10		0.07	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K23	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K24	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K25	南面	ひび割れ		0.40	0.40	0.05		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K26	南面	ひび割れ		0.25	0.25	0.35		0.09	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K27	南面	ひび割れ		0.25	0.25	0.35		0.09	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K28	南面	ひび割れ		1.25	1.25	0.10		0.13	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K29	南面	ひび割れ	ｸﾗｯｸ幅1.0～	0.33	0.33			0.33	m	コンクリート打ち放し/ﾀﾞﾐﾝｷﾞ仕上	仕上のみ撤去新設													
							0.33	0.33			0.33	m		樹脂注入工法													
			K30	南面	ひび割れ		0.90	0.90	0.10		0.09	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U6	南面	浮き		0.80	0.80	0.20		0.16	m	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法														
			K31	南面	ひび割れ		0.70	0.70	0.10		0.07	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K32	南面	ひび割れ		0.70	0.70	0.10		0.07	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K33	南面	ひび割れ		0.40	0.40	0.10		0.04	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K34	南面	ひび割れ		4.90	4.90	0.10		0.49	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K35	南面	ひび割れ		1.40	1.40	1.00		1.40	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K36	南面	ひび割れ		2.20	2.20	0.60		1.32	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K37	南面	ひび割れ		2.00	2.00	1.10		2.20	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K38	南面	ひび割れ		0.70	0.70	0.20		0.14	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K39	南面	ひび割れ		1.30	1.30	0.10		0.13	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K40	南面	ひび割れ		0.30	0.30	0.30		0.09	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K41	南面	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U7	南面	浮き		0.05	0.05	0.10		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K42	南面	ひび割れ		0.30	0.30	0.30		0.09	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U8	南面	浮き		3.60	3.60	0.50		1.80	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法													
			K43	南面	ひび割れ		3.60	3.60	0.36		1.30	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K44	南面	ひび割れ		0.50	0.50	0.10		0.05	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K45	南面	ひび割れ		0.05	0.05	0.20		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K46	南面	ひび割れ		0.10	0.10	0.30		0.03	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K47	南面	ひび割れ		0.10	0.10	0.20		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K48	南面	ひび割れ		0.05	0.05	0.10		0.01	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K49	南面	ひび割れ		0.60	0.60	0.20		0.12	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			U9	南面	浮き		3.60	3.60	0.50		1.80	m	ｱｵﾋﾞﾝﾝｸﾞ全面球ﾁｷﾞ樹脂注入工法														
			K50	南面	ひび割れ		0.20	0.20	0.10		0.02	m	ﾎﾞｰｲｸﾀｲﾙ貼(90×45)	仕上のみ撤去新設													
			K51	南面	ひび割れ		1.30	1.30	0.30		0.39																



北側 立面図



西側 立面図

— 凡 例 —	
A	コンクリート打放 ノロ引き仕上
B	モザイクタイル貼 90×45 タテ貼
C	コンクリート打放 吹付タイル
D	軒 樋：塩ビ製 190×150 (リブ付)
E	集水樋：塩ビ製 355×216
F	縦軒樋：塩ビ製 125φ F E 塗装
G	モザイクタイル貼 役物 45×45
H	同上 45×90
I	同上 45×145
J	日本瓦葺 3寸5分勾配 (56版) 逆水止瓦
M	打継目地：ポリサル系コーキング20×10
N	縦 目地：同上 10×10
P	建物名称盤：セラミックス製箱文字250角

※シーリングについては、
サッシ廻り、サッシジョイント、水切り取合い
打ち継ぎ目地、化粧目地 劣化箇所は、打ち替えとする。

※コンクリート爆裂部分の補修については、
塩害対策としてリフリート工法DS仕様(同等)とし、
亜硝酸リチウム系塗布型防錆材「DS-400」(同等品)
を使用すること。

— 凡 例 —	
K-1	クラック：0.2mm～1.0mm -----
K-2	クラック：1.0mm以上 -----
U	仕上材浮き部分 -----
HG	仕上材剥がれ部分 =====
BK	爆裂部分 -----
No. K-***	損傷箇所 No. を示す
[]	損傷の範囲を示す



(株) ヒゲウコン建築事務所

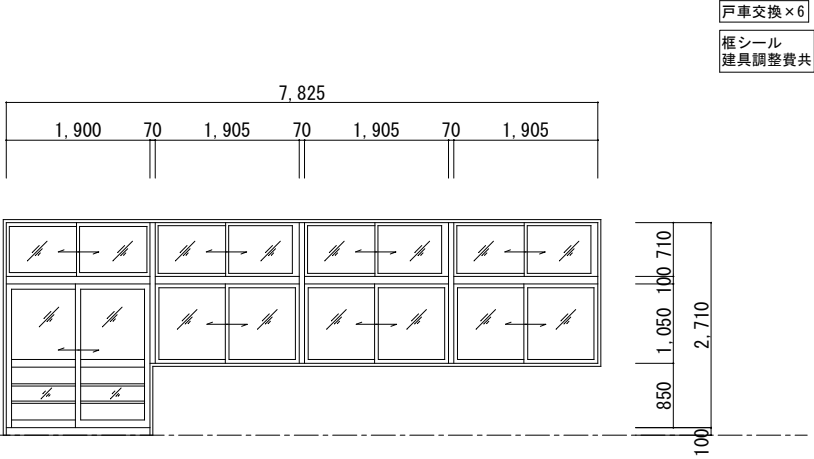
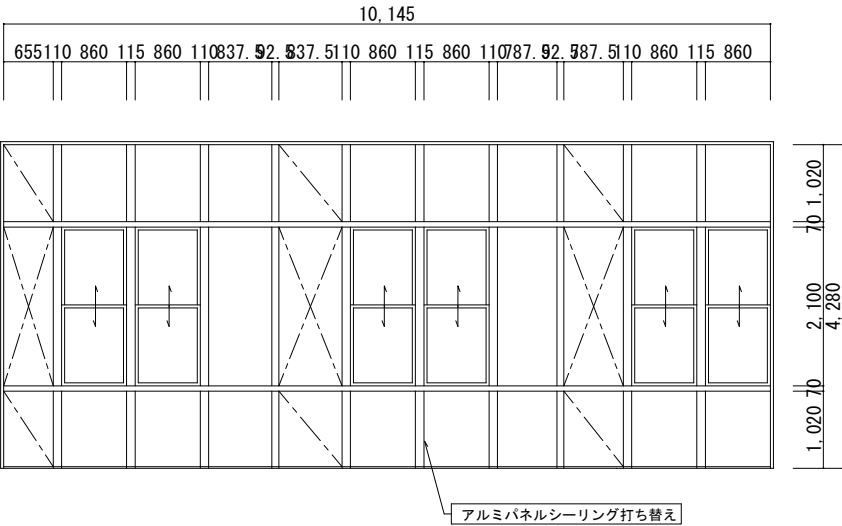
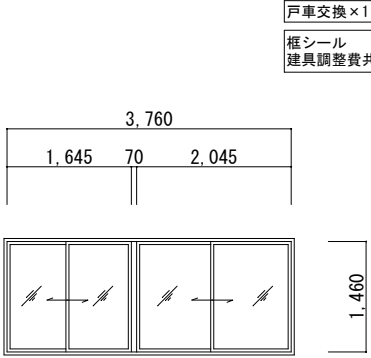
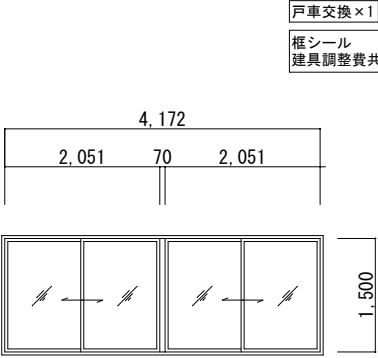
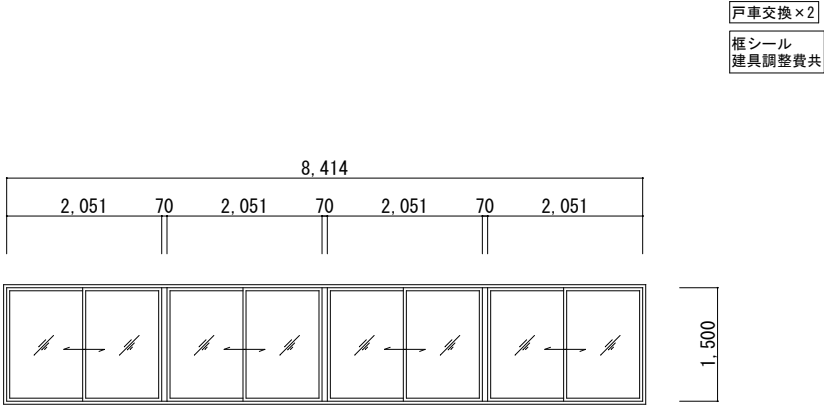
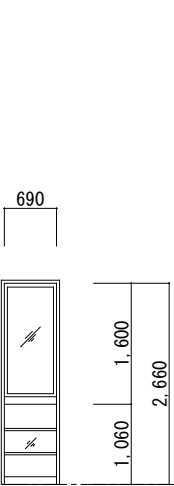
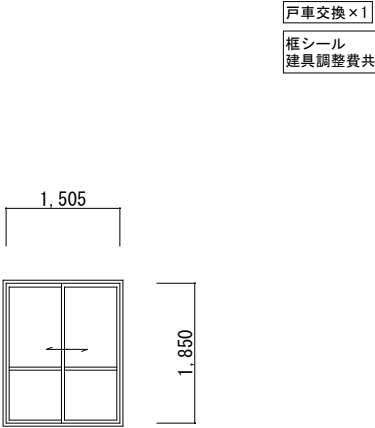
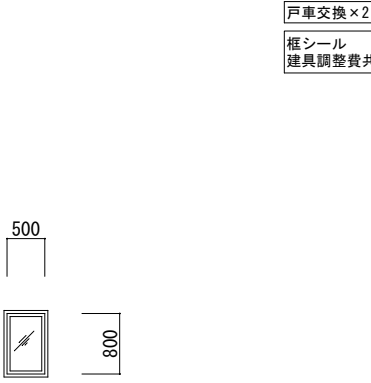
金沢市空舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工 事 名 称
旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称
校舎棟 立面図 (2)

検 印 係 印 製 図 縮 尺 設 計 年 月 日 図 面 番 号
A3:1/200 R8.2.4 A/19

○ 損傷リスト（校舎棟 外壁）														○ 損傷リスト（校舎棟 外壁）																
棟名	階数	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後	棟名	階数	室名	損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後	
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)	
校舎棟		外壁	K-1	北面	ひび割れ		0.50	0.50	0.10		0.05	m	珪酸イタール貼 (90×45)	仕上のみ撤去新設	校舎棟		外壁	HG1	西面	はがれ			7.30	7.30	0.30		2.19	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K-2	北面	ひび割れ		0.25	0.25	0.10		0.03	m	珪酸イタール貼 (90×45)	仕上のみ撤去新設									0.60	0.60	3.40		2.04	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K-3	北面	ひび割れ		0.10	0.10	0.10		0.01	m	珪酸イタール貼 (90×45)	仕上のみ撤去新設									0.40	0.40	1.60		0.64	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			HG1	北面	はがれ		4.00	4.00	0.34		1.36	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K1	西面	ひび割れ	クラック幅1.0～		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K4	北面	ひび割れ	クラック幅1.0～	3.20	3.20			3.20	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
							3.20	3.20			3.20	m		樹脂注入工法				K2	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K5	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.35	0.35			0.35	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
							0.35	0.35			0.35	m		樹脂注入工法				HG2	西面	はがれ			15.00	15.00	0.35		5.25	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			U1	北面	浮き		3.80	3.80	0.26		0.99	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K3	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.40	1.40			1.40	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			HG2	北面	はがれ		0.26+0.18	0.44	3.80		1.67	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.40	1.40			1.40	m		樹脂注入工法
			K6	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.20	2.20			2.20	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K4	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		0.65	0.65			0.65	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
							2.20	2.20			2.20	m		樹脂注入工法									0.65	0.65			0.65	m		樹脂注入工法
			K7	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K5	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
							0.70	0.70			0.70	m		樹脂注入工法									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
			K8	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.60	0.60			0.60	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K6	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
							0.60	0.60			0.60	m		樹脂注入工法									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
			HG3	北面	はがれ		4.30	4.30	0.65		2.80	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				K7	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		0.65	0.65			0.65	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K9	北面	ひび割れ	クラック幅1.0～	0.70	0.70			0.70	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									0.65	0.65			0.65	m		樹脂注入工法
							0.70	0.70			0.70	m		樹脂注入工法				K8	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.10	1.10			1.10	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K10	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.60	0.60			0.60	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.10	1.10			1.10	m		樹脂注入工法
							0.60	0.60			0.60	m		樹脂注入工法				K9	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.10	1.10			1.10	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K11	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.75	0.75			0.75	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.10	1.10			1.10	m		樹脂注入工法
							0.75	0.75			0.75	m		樹脂注入工法				K10	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K12	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.65	0.65			0.65	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
							0.65	0.65			0.65	m		樹脂注入工法				K11	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K13	北面	ひび割れ	クラック幅1.0～	0.85	0.85			0.85	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.00	1.00			1.00	m		樹脂注入工法
							0.85	0.85			0.85	m		樹脂注入工法				K12	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0		1.10	1.10			1.10	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K14	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.70	1.70			1.70	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設									1.10	1.10			1.10	m		樹脂注入工法
							1.70	1.70			1.70	m		樹脂注入工法				HG3	西面	はがれ			0.80	0.80	0.50		0.40	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			K15	北面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.40	0.40			0.40	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				HG4	西面	はがれ			0.50	0.50	0.10		0.05	m	コンクリート打ち放し/ロ引き仕上	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
							0.40	0.40			0.40	m		樹脂注入工法				BK1	西面	浮き	鉄筋爆裂		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			HG4	北面	はがれ		0.50	0.50	0.30		0.15	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設												1.00	1.00	か所	充填工法100×100程度	
			BK2	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設				HG5	西面	はがれ			0.40	0.40	0.20		0.08	m	コンクリート打放し補修吹付け	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
					鉄筋																									

符号・形式	AW-1	引き違い4連段窓	AW-2	カーテンウォール	AW-3	引違い2連窓	AW-4 a	引違い4連窓
姿 図 F.L								
場所・数量	1階 CR1、CR2、2階 CR3、CR4、3階 CR5、CR6	6	1階 2階 3階 多目的スペース	6	1階 2階 3階 生徒用便所	3	1階 廊下	1
見 込	70		◁		◁		70	
材料・仕上	アルミ電解着色		◁		◁		アルミ電解着色	
硝 子	上段：スクールテンパガラス（型） t4 下段：スクールテンパガラス（透明） t4		網入り透明 t6.8 1か所 透明 t5.0 1か所		網入り型ガラス t6.8		網入り透明 t6.8	
金 物	戸車、レール、クレセント、引き手、シリンダー錠、サムターン、引き棒、戸当たり、クレセント		戸車、レール、クレセント、耐火ボード（1時間）		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント	
額 縁 ・ 水 切 り	7㍓額縁（4方） 水切り		7㍓額縁（4方） 水切り		7㍓額縁（4方） ・ 水切り		7㍓額縁（4方） ・ 水切り	
備 考	腰中棧 35×20		方立 70×180		ステンレス網戸			
符号・形式	AW-4	引違い4連窓	AW-5	片開きガラス窓 嵌め殺し窓付	AW-6	片開きガラス窓	AW-8	嵌め殺しガラス窓
姿 図 F.L								
場所・数量	2階 3階 廊下	2	1階 廊下	3	1階 配膳室(休憩室)	1	1階 配膳室(便所)	1
見 込	70		70		70		70	
材料・仕上	アルミ電解着色		アルミ電解着色		アルミ電解着色		アルミ電解着色	
硝 子	網入り透明 t6.8		網入り透明 t6.8		網入り透明 t6.8		網入り型 t6.8	
金 物	戸車、レール、クレセント、		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		ハンドル	
額 縁	7㍓額縁（4方） ・ 水切り		7㍓額縁（4方） ・ 水切り		7㍓額縁（4方） ・ 水切り		7㍓額縁（4方） ・ 水切り	
備 考								
凡例 <div></div> ・・・今回工事を示す。								

符号・形式	AW－9	引き違い2連窓	AW－10	引き違い2連段窓	AW－11	片開きガラス窓 嵌め殺し窓付	AW－12	引違い3連段窓	AW－13	引き違い段窓
姿 図 F L	<div><div>戸車交換×1</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>3,500</div><div>1,715701,715</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>1,200</div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>3,700</div><div>1,815701,815</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>1,300100710</div><div>2,110</div></div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>1,250</div><div>45070730</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>1,150100710</div><div>1,960</div></div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>6,310</div><div>2,026.61002,056.6702,056.6</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>2,180</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>					
場 所 ． 数 量	1階 配膳室	1	1階 食堂	3	1階 校長室、印刷室、休憩室	4	1階 職員室、2階 視聴覚室、3階 理科室	3	1階 職員室	1
見 込	70		◁		◁		◁		◁	
材 料 ． 仕 上	アルミ電解着色		◁		◁		◁		◁	
硝 子	網入り型ガラス t 6.8		透明ガラス t 5		上段：型ガラス t 4 (2ヶ所) 網入り型ガラス t 6.8 (2ヶ所) 下段：透明ガラス t 5 (2ヶ所) 網入り透明ガラス t 6.8 (2ヶ所)		上段：型ガラス t 4 下段：透明ガラス t 5		透明ガラス t 5	
金 物	戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		ハンドル、握り棒、煽り止め		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント	
額 縁 ・ 水 切 り	7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り	
備 考	ステンレス網戸									
符 号 ． 形 式	AW－14	引違い3連段窓	AW－15	引違い2連窓	AW－16	引違い3連窓	AW－17	嵌め殺し3連段窓		
姿 図 F L	<div><div>戸車交換×1</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>5,385</div><div>1,722.5701,722.5701,800</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>2,710</div></div><div>850</div></div></div>	<div><div>戸車交換×1</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>3,500</div><div>1,715701,715</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>805</div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>6,410</div><div>2,090702,090702,090</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>1,500</div></div></div>	<div><div>戸車交換×3</div><div>框シール 建具調整費共</div><div><div>3,755</div><div>1,205701,205701,205</div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>7601001,500</div><div>2,360</div></div></div></div>						
場 所 ． 数 量	1階 保健室	1	1階 物置	1	2階 3階 廊下	3	2階 廊下	3		
見 込	70		70		70		70			
材 料 ． 仕 上	アルミ電解着色		アルミ電解着色		アルミ電解着色		アルミ電解着色			
硝 子	網入り透明 t 6.8		型ガラス t 4		透明 t 5.0		上段：透明ガラス t 5 下段：スクールテンパ透明 t 4.0			
金 物	戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント					
額 縁	7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥ額縁（4方）・水切り		7ㄥミAngel（4方）・水切り			
備 考	腰 中棧 35×20		換気框		透明ガラス t 5（1か所）網入り透明ガラス t 6.8（2か所）					

(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工 事 名 称

旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称

校舎棟 建具リスト (3)

検 印

係 印

製 図

縮 尺
A1:1/50
A3:1/100

設 計 年 月 日
R8.2.4

図 面 番 号
A/23

符号・形式		AW－18	引き違い4連段窓	AW－19	引違い3連段窓	AW－22	カーテンウォール		
姿 図 F L		<div><div><div>戸車交換×2</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>9,170</div><div>2,240702,240702,240702,240</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>		<div><div><div>戸車交換×2</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>5,929</div><div>1,555702,117702,117</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>		<div><div><div>戸車交換×2</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>8,050</div><div>8657086570865708657086570865701,505</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,015701,015</div><div>2,100</div></div></div><div>アルミパネルシーリング打ち替え</div></div>			
場所・数量	2階 図書室 3階 図工室	2	2階 視聴覚室、3階 理科室	2	2～3階 放送室、音楽室、3階 調理家庭室、理科準備室	1			
見 込	70			◁		◁			
材料・仕上	アルミ電解着色			◁		◁			
硝 子	上段：網入り型ガラス t 6.8 下段：網入り透明ガラス t 6.8		上段：型ガラス t 4 下段：透明ガラス t 5		透明ガラス t 5 ○は型ガラス t 4.0				
金 物	戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント						
額 縁 ・ 水 切 り	7㍓額縁（4方）・水切り		7㍓額縁（4方）・水切り		7㍓額縁（4方）・水切り				
備 考									
符号・形式		AW－23	引違い3連段窓	AW－24	引違い2連段窓	AW－25	引違いガラス段窓	AW－26	引違い2連窓
姿 図 F L		<div><div><div>戸車交換×2</div><div>框シール 建具調整費共</div><div>ガラス撤去新設 No.21-002</div></div><div><div>6,440</div><div>2,100702,100702,100</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>		<div><div><div>戸車交換×1</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>3,500</div><div>1,715701,715</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,1601001,160</div><div>2,420</div></div></div></div>		<div><div><div>戸車交換×2</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>2,235</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,050100710</div><div>1,860</div></div></div></div>		<div><div><div>戸車交換×1</div><div>框シール 建具調整費共</div></div><div><div>4,680</div><div>2,305702,305</div></div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div></div><div><div>1,500</div></div></div></div>	
場所・数量	2階 音楽室、3階 調理家庭室	2	2階 3階 階段	2	2階 3階 教材庫	2	3階 廊下	1	
見 込	70			◁		◁		◁	
材料・仕上	アルミ電解着色			◁		◁		◁	
硝 子	上段：型ガラス t 4 下段：透明ガラス t 5		透明ガラス t 5		上段：型ガラス t 4 下段：透明ガラス t 5		網入り透明ガラス t 6.8		
金 物	戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント		
額 縁	7㍓額縁（4方）・水切り		7㍓額縁（4方）・水切り		7㍓額縁（4方）・水切り		7㍓額縁（4方）・水切り		
備 考			オペレーター装置（ハンドル式）埋め込み型			コーナー方立て			
凡例 <div></div> ・・・今回工事を示す。									

(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤和仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

校舎棟 建具リスト (4)

検印

係印


製図

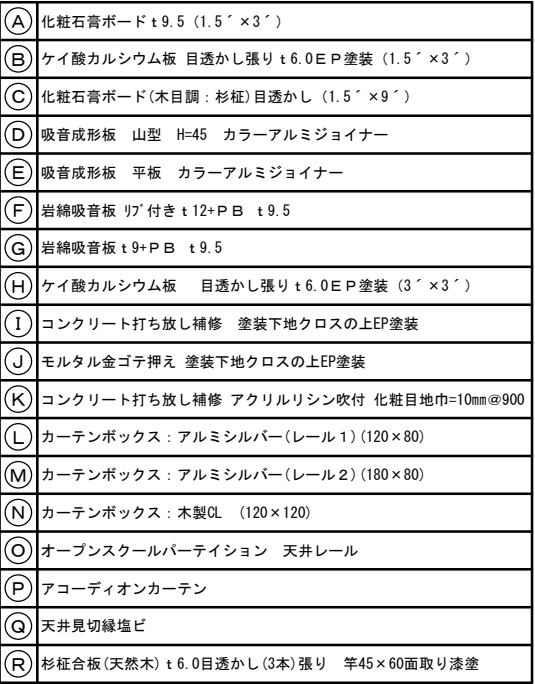
縮尺
A1:1/50
A3:1/100

設計年月日
R8.2.4

図面番号
A/24

符号・形式	AW-27	引き違い6連窓	AW-28	引き違いガラス窓
姿 図	<div><div>12,470</div><div><div>2,230702,230702,230701,810701,810701,810</div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div></div><div>1,500</div></div></div><div>戸車交換×1 框シール 建具調整費共</div></div></div>		<div><div>2,170</div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div></div><div>1,500</div></div></div><div>戸車交換×1 框シール 建具調整費共</div></div>	
F.L				
場所・数量	3階 廊下	1	2階 廊下	1
見 込	70		70	
材 料・仕 上	アルミ電解着色		アルミ電解着色	
硝 子	上段：網入り型ガラス t 6.8 下段：網入り透明ガラス t 6.8		網入り透明ガラス t 6.8	
金 物	戸車、レール、クレセント		戸車、レール、クレセント	
額 縁・水 切 り	7mm額縁（4方）・水切り		7mm額縁（4方）・水切り	
備 考	コーナー方立て			
符号・形式	P-1	オープンスクール用パーティション	A G-1	固定ガラリダンバー付き
姿 図	<div><div>7,875</div><div><div>601,8001151,8901151,8901151,80090</div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div></div><div>1,900805801402,700</div></div></div><div>1,900805801402,700</div></div></div>		<div><div>995</div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div><div><div><div></div><div></div></div><div></div></div></div><div>1,200</div></div></div></div>	
F.L				
場所・数量	1階 CR1、CR2、2階 CR3、CR4 3階 CR5、CR6	6	1階 配膳室(風除室)	1
見 込	70 枠：90		70	
材 料・仕 上	スチール パネル：両面ラワンベニヤ t 5.5(内部ウレタン注入発泡) ドア：粉体塗装鋼板 t 0.5パーパーコア		アルミ アルマイト処理	
硝 子	戸袋：型ガラス t 4 ランマ：透明ガラス t 3.0 下段：透明ガラス t 5			
金 物	天井ハンガーレール：アルミ125×60、床ウステンレール クレセント、引き手、シリンダー錠			
額 縁			7mm額縁（4方）・水切り	
備 考	障子：アルミ			

	(株) ヒゲウコン建築事務所	金沢市笠舞3丁目23番13号 1級建築士登録第215321号	TEL (076) 222-5522 佐藤 和 仁	工 事 名 称 旧鵜巣小学校災害復旧工事	図 面 名 称 校舎棟 建具リスト (5)	検 印	係 印	製 図	縮 尺 A1:1/50 A3:1/100	設 計 年 月 日 R8.2.4	図 面 番 号 A/25
---	----------------	-----------------------------------	------------------------------	-------------------------	--------------------------	-----	-----	-----	----------------------------	---------------------	-----------------



☒ 天井点検口 アルミ製 450角
21か所

○損傷リスト（校舎棟 内部1階）

棟名	階数	番号	室名	損傷箇所	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/備数			(既設仕上)	(給置)
校舎棟	1	5	印刷室	001	天井	破損		0.90	0.90	0.45		0.41	m ²	化粧石膏板・D79	仕上のみ撤去新設
		7	休憩室	002	天井	破損		2.80	2.80	0.45		1.26	m ²	化粧石膏板・D79	仕上のみ撤去新設
		10	食堂	001	天井	シミ		14.75	14.75	0.60		0.85	m ²	平板吸音成形板	仕上のみ撤去新設
				002	天井	シミ		3.60	3.60	1.80		6.48	m ²	山型吸音成形板	仕上のみ撤去新設
		15	保健室	001	壁	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	0.85	0.85			0.85	m	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
								0.65	0.65	0.80		0.52	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	塗装塗替え
				002	壁	浮き		0.10	0.10	0.30		0.03	m ²	半導器タテ貼100角	仕上のみ撤去新設
				003	壁	浮き		0.49+0.19	0.68	0.79		0.54	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	下地共撤去新設
		16	販売コーナー	001	壁	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	0.75	0.75			0.75	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
							0.92+0.49	1.41	0.75			1.06	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	塗装塗替え
		17	資料室	001	壁	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	0.76	0.76			0.76	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
								1.55	1.55	0.76		1.18	m ²	E印塗り(タテタリ下地)	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	2.30	2.30			2.30	m	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
		18	物置	018	天井	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	0.62+0.76 +1.5	2.88			2.88	m	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
				019	天井	ひび割れ	タテタリ幅0.2～1.0	0.63+2.3	2.93			2.93	m	E印塗り(タテタリ下地)	樹脂注入工法
B			多目的ホールA	001	天井	破損		0.25	0.25	0.85		10.69	m ²	軽鋼骨鉄筋コンクリート床T9	養生膜剥離除去新設
D			生徒用便所(男)	007	天井	シミ		0.90	0.90	0.45	3.00	1.22	m ²	ケイ酸カルシウム板目通しT6(E印塗り)	仕上のみ撤去新設
E			生徒用便所(女)	011	天井	シミ		0.90	0.90	0.45		0.41	m ²	ケイ酸カルシウム板目通しT6(E印塗り)	仕上のみ撤去新設
F			廊下	001	天井	破損		0.90	0.90			0.90	m ²	化粧石膏板・D79	仕上のみ撤去新設
				002	天井	破損		0.90	0.90		2.00	1.80	m ²	化粧石膏板・D79	仕上のみ撤去新設
				003	天井	破損		0.90	0.90	0.41		0.37	m ²	化粧石膏板・D79	仕上のみ撤去新設

○損傷リスト（校舎棟 バルコニー）

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	実行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校舎棟	1	n' 廊下	001	上裏	はがれ		0.15	0.15	1.00		0.15	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			002	上裏	はがれ		0.40	0.40	0.90		0.36	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			003	上裏	はがれ		2.40	2.40	0.40		0.96	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			004	上裏	ひび割れ		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	ﾀｲﾙ ｲﾝｸﾞﾙﾄﾙﾙ(30×45)	仕上のみ撤去新設
			005	上裏	はがれ		0.60	0.60	0.30		0.18	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			006	上裏	はがれ		0.30	0.30	0.50		0.15	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			007	上裏	はがれ		0.50	0.50	0.30		0.15	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			008	上裏	はがれ		0.30	0.30	0.30		0.09	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			009	上裏	はがれ		0.30	0.30	1.00		0.30	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設
			010	上裏	はがれ		0.30	0.30	0.50		0.15	m	コンクリート打直し補修収付ﾀｲﾙ	塗膜除去＋仕上のみ撤去新設

※塗膜除去は環境配慮改修工事対応。

○損傷リスト（校舎棟 外部階段）

橋名	期数	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
校倉橋		外部階段	012	上裏	はがれ		1.90	1.90	2.10		3.99	m	コンクリート打ちし補修交付付	塗装除去+仕上のみ撤去新設
					欠損	鉄筋腐裂			1.00		1.00	か所	コンクリート打ちし補修交付付	充填工法1600×1600程度
							1.60	1.60	1.60		2.56	m	コンクリート打ちし補修交付付	外壁?落防止工法
			013	上裏	はがれ		2.20	2.20	2.50		5.50	m	コンクリート打ちし補修交付付	塗装除去+仕上のみ撤去新設

※準膜除去は環境配慮改修工事対応。

凡例

No. *-*** 損傷箇所 No. を示す

損傷範圍 — — — — —
(汚れ、破れ、破損)
張替範圍

クラック — — — — —

今回工事を示す

※コンクリート爆裂部分の補修については、塩害対策としてリフリート工法DS仕様(同等)とし、亜硝酸リチウム系塗布型防錆材「DS-400」(同等品)を使用すること。



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工 事 名 称

旧鹄巢小学校災害復旧工事

图面名称	图面内容	图面比例	图面备注
1. 总图	总图	1:500	
2. 平面图	平面图	1:100	
3. 立面图	立面图	1:100	
4. 剖面图	剖面图	1:100	
5. 详图	详图	1:50	

校舎棟 1階天井伏図、損傷リスト

檢 印

印 係

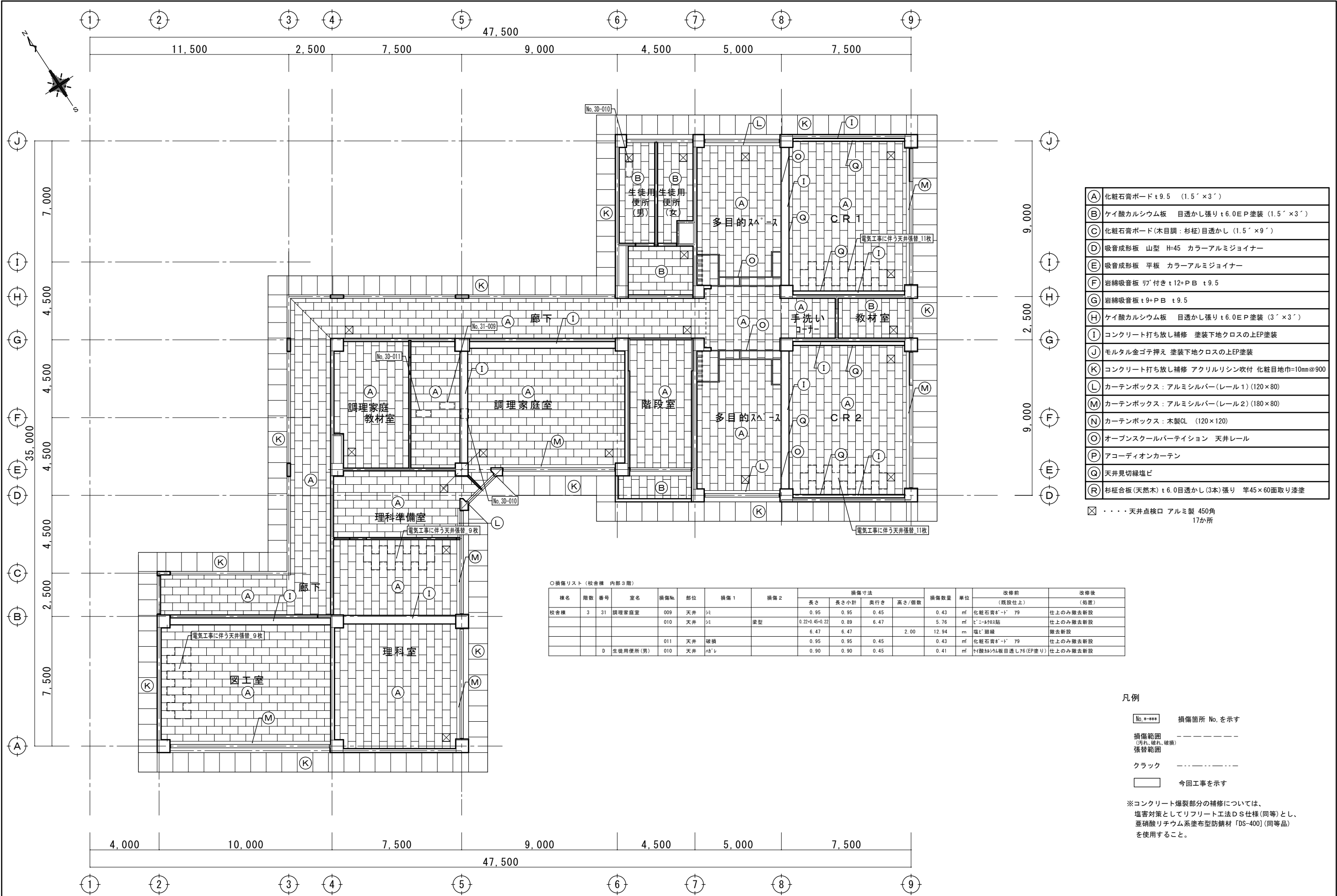
製 図

尺

設計年月日

图 面 番 号

A/26



(A)	化粧石膏ボード t9.5 (1.5'×3')
(B)	ケイ酸カルシウム板 目透かし張り t6.0EP塗装 (1.5'×3')
(C)	化粧石膏ボード(木目調:杉柾)目透かし (1.5'×9')
(D)	吸音成形板 山型 H-45 カラーアルミジョイナー
(E)	吸音成形板 平板 カラーアルミジョイナー
(F)	岩綿吸音板 リブ付き t12+PB t9.5
(G)	岩綿吸音板 t9+PB t9.5
(H)	ケイ酸カルシウム板 目透かし張り t6.0EP塗装 (3'×3')
(I)	コンクリート打ち放し補修 塗装下地クロスの上EP塗装
(J)	モルタル金ゴテ押え 塗装下地クロスの上EP塗装
(K)	コンクリート打ち放し補修 アクリルリシン吹付 化粧目地巾=10mm@900
(L)	カーテンボックス:アルミシルバー(レール1) (120×80)
(M)	カーテンボックス:アルミシルバー(レール2) (180×80)
(N)	カーテンボックス:木製QL (120×120)
(O)	オープンスクールパーティション 天井レール
(P)	アコーディオンカーテン
(Q)	天井見切縁塩ビ
(R)	杉柾合板(天然木) t6.0目透かし(3本)張り 竿45×60面取り塗装

☒・・・天井点検口 アルミ製 450角 17か所

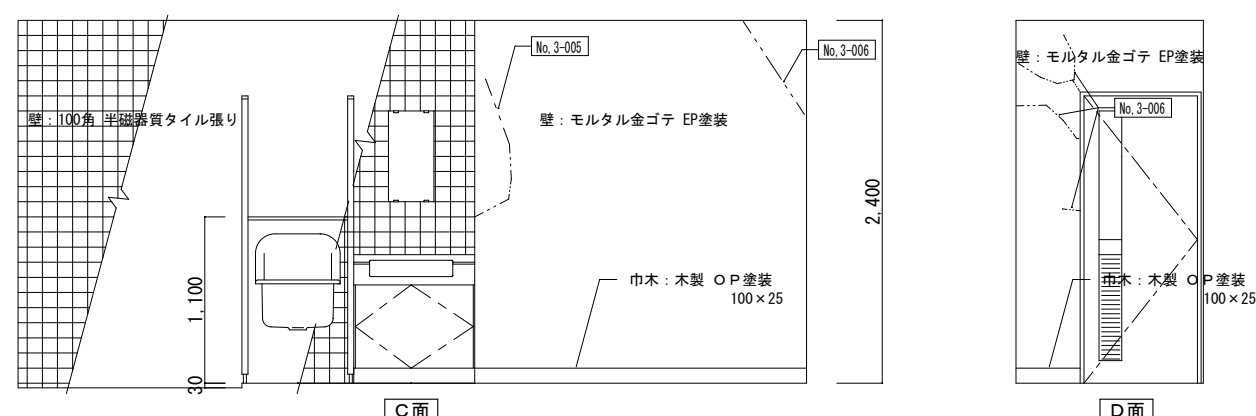
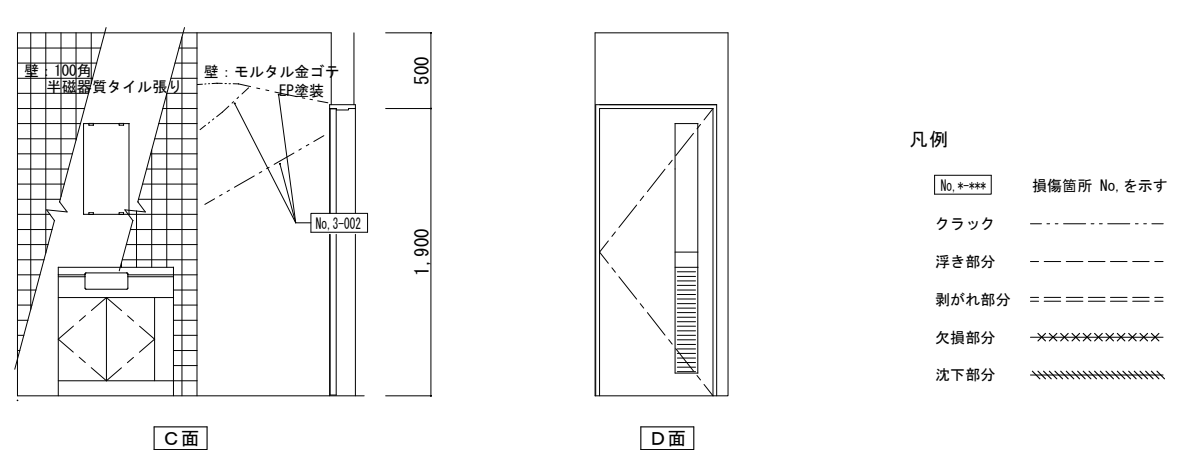
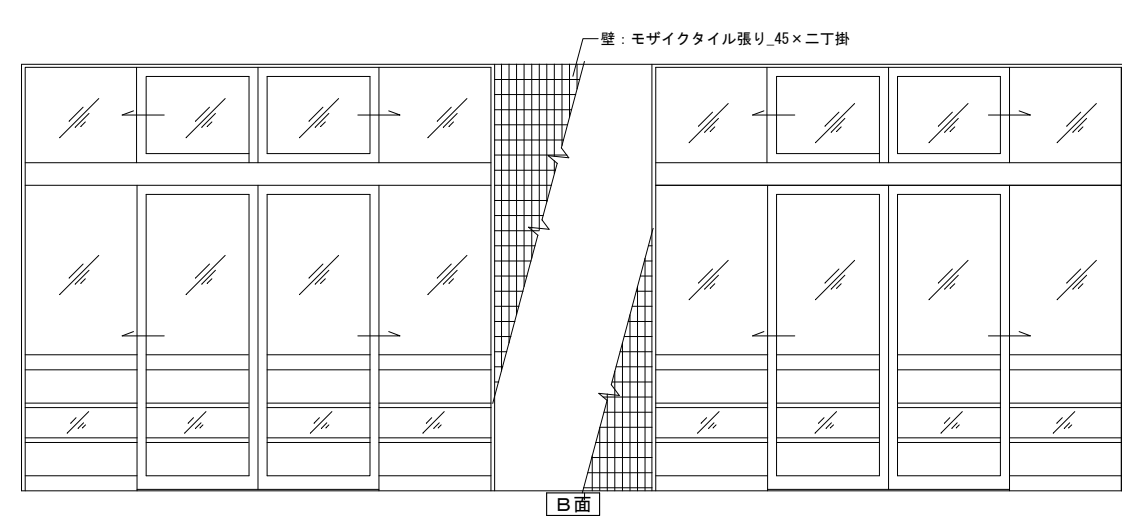
○ 損傷リスト (校舎棟 内部3階)

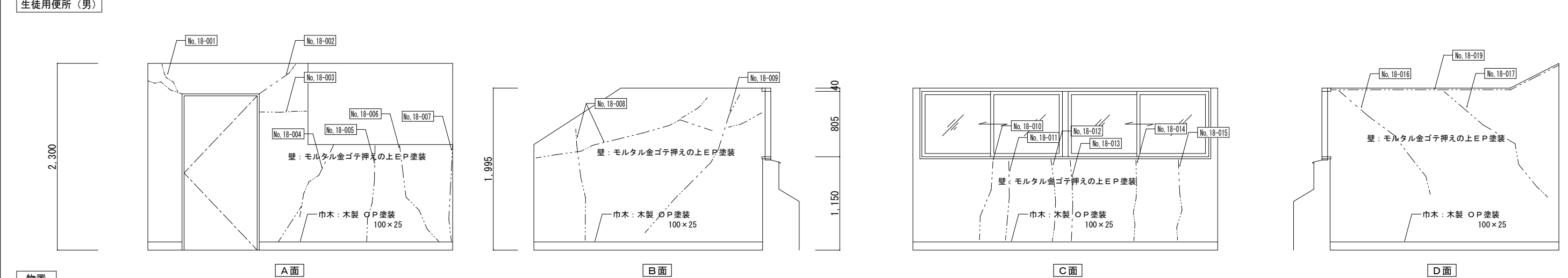
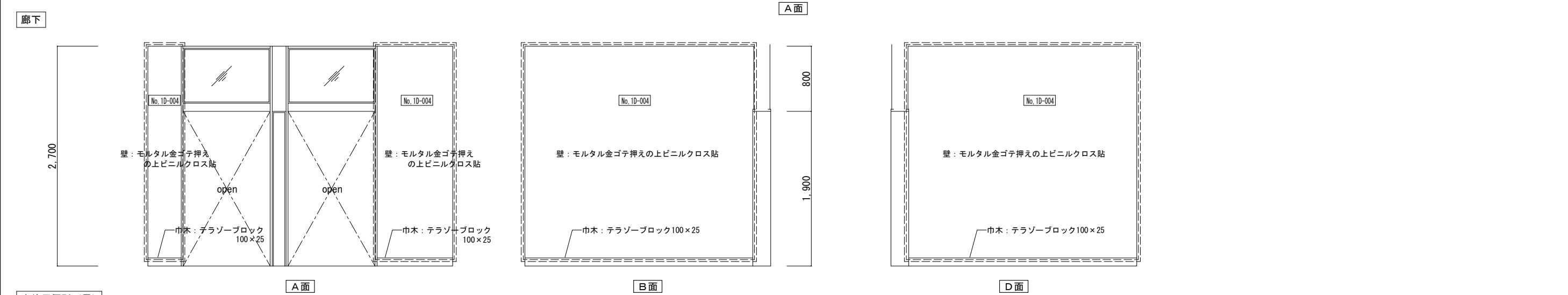
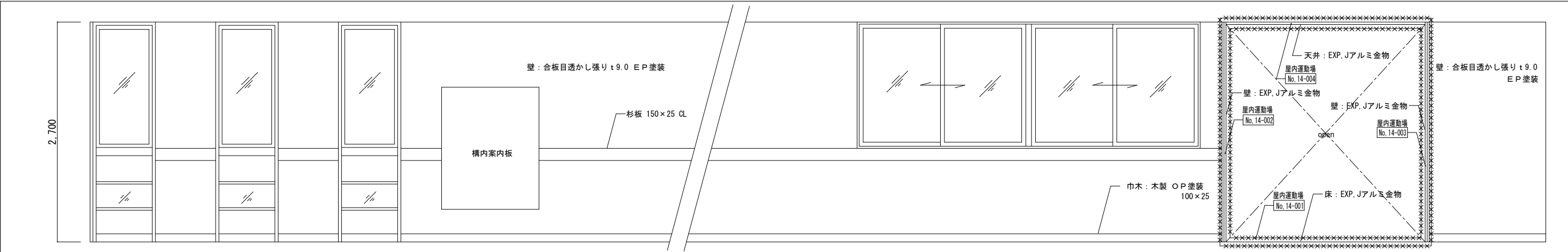
棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷1	損傷2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前 (既設仕上)		改修後 (処置)
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数					
校舎棟	3	31	調理家庭室	009	天井	シミ		0.95	0.95	0.45		0.43	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設
				010	天井	シミ	梁型	0.22+0.45+0.22	0.89	6.47		5.76	m	ビニールクロス貼		仕上のみ撤去新設
			理科準備室	011	天井	破損		6.47	6.47		2.00	12.94	m	塩ビ廻縁		撤去新設
				010	天井	破損		0.95	0.95	0.45		0.43	m	化粧石膏ボード 79		仕上のみ撤去新設
D			生徒用便所(男)	010	天井	シミ		0.90	0.90	0.45		0.41	m	ケイ酸カルシウム板目透かし76(EP塗り)		仕上のみ撤去新設

凡例

- No. 0-*** 損傷箇所 No. を示す
- 損傷範囲 (汚れ、破れ、破損) 張替範囲
- クラック
- 今回工事を示す

※コンクリート爆裂部分の補修については、塩害対策としてリフリート工法DS仕様(同等)とし、亜硝酸リチウム系塗布型防錆材「DS-400」(同等品)を使用すること。





○損傷リスト (屋内運動場 内部)

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前		改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)		
屋内運動場	1	14	渡り廊下	001	雑(床)	破損		2.51	2.51			2.51	m	EXP. J3h ⁺ -(床)		撤去新設
				002	雑(壁)	破損		2.54	2.54			2.54	m	EXP. J3h ⁺ -(壁)		撤去新設(壁木CL共)
				003	雑(壁)	破損		2.54	2.54			2.54	m	EXP. J3h ⁺ -(壁)		撤去新設(壁木CL共)
				004	雑(天井)	破損		2.51	2.51			2.51	m	EXP. J3h ⁺ -(天井)		撤去新設

○損傷リスト (校舎棟 内部1階)

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前		改修後			
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)			(処置)		
校舎棟	1	D	生徒用便所(男)	004	壁	はがれ		3.70	3.70	2.60	2.00	19.24	m ²	ビニルクロス貼		仕上のみ撤去新設(全面)			
								2.85	2.85	2.60	2.00	14.82	m ²	ビニルクロス貼		仕上のみ撤去新設(全面)			
								▲ 1.07	▲ 1.07	2.68	2.00	▲ 5.74	m ²	▲ 建具		仕上のみ撤去新設			
								▲ 3.70	▲ 3.70	2.10		▲ 7.77	m ²	▲ 建具		仕上のみ撤去新設			
												1.06	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法			
								002	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	0.47	0.47		0.47	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
								003	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	0.34	0.34		0.34	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
								004	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.30	1.30		1.30	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
								005	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.30	1.30		1.30	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法

○損傷リスト (校舎棟 内部1階)

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前		改修後	
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)			(処置)
校舎棟	1	18	物置	006	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.35	1.35				1.35	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				007	壁	ひび割れ	割幅1.0超	1.30	1.30				1.30	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				008	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.3+1.3	2.60				2.60	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				009	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	2.20	2.20				2.20	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				010	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				011	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				012	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				013	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				014	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				015	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	1.00	1.00				1.00	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				016	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	2.30	2.30				2.30	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法
				017	壁	ひび割れ	割幅0.2~1.0	2.20	2.20				2.20	m	EP塗り (鉄骨下地)		樹脂注入工法

凡例

No. #***

損傷箇所 No. を示す

クラック

---|---|---|---

浮き部分

剥がれ部分

====

欠損部分

沈下部分

////////

▲ 0.90

▲ 0.90

1.88

▲ 1.69

m²

▲ 建具

塗装塗替え

▲ 3.65

▲ 3.65

0.79

▲ 2.88

m²

▲ 建具

塗装塗替え

019

天井

ひび割れ

割幅0.2~1.0

0.63+2.3

2.93

2.93

m

EP塗り (鉄骨下地)

樹脂注入工法

凡例

No. 0-*** 損傷箇所 No. を示す

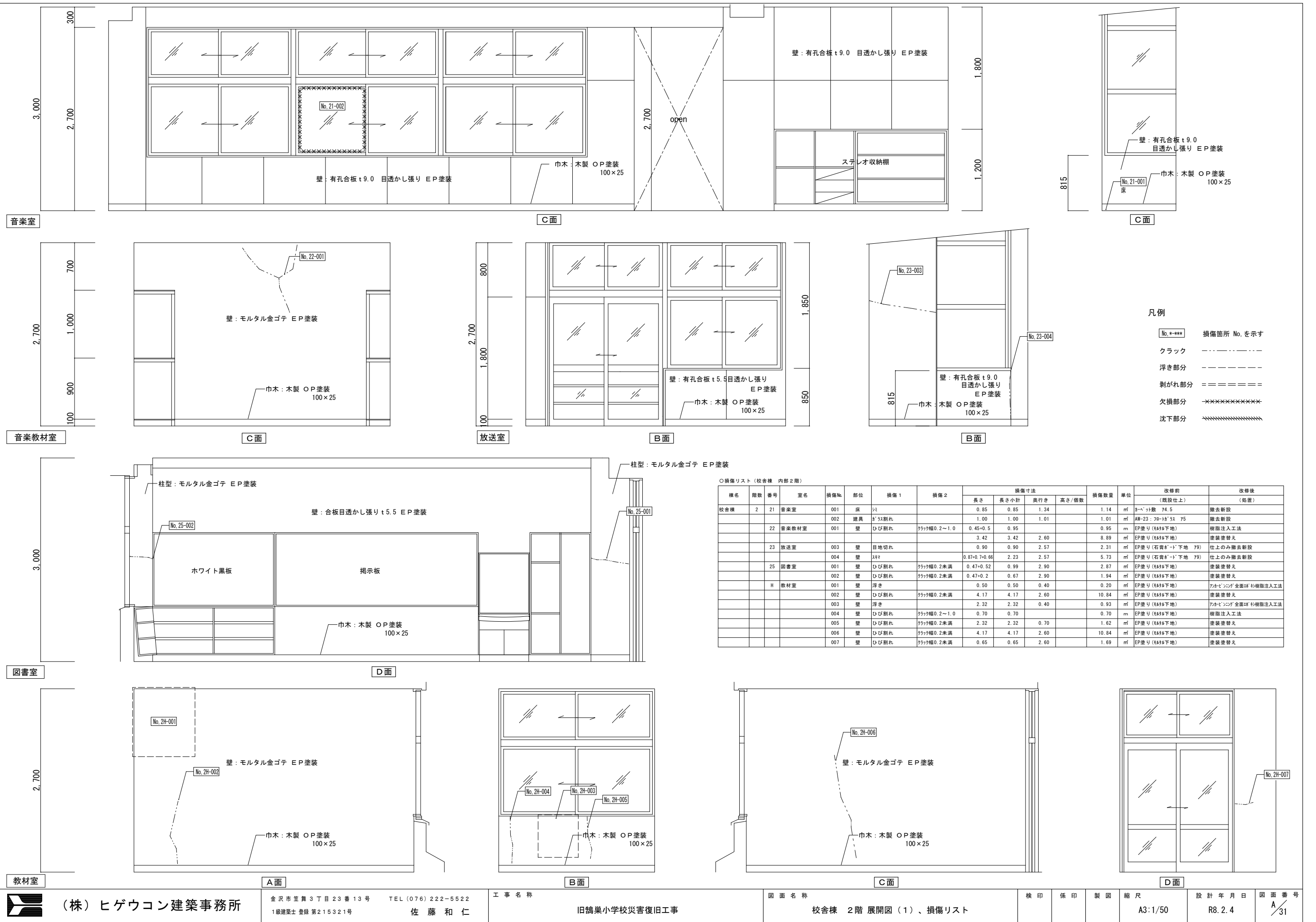
クラック -----

浮き部分 -----

剥がれ部分 =====

欠損部分 -XXXXXXXXXX-


沈下部分 ~~~~~

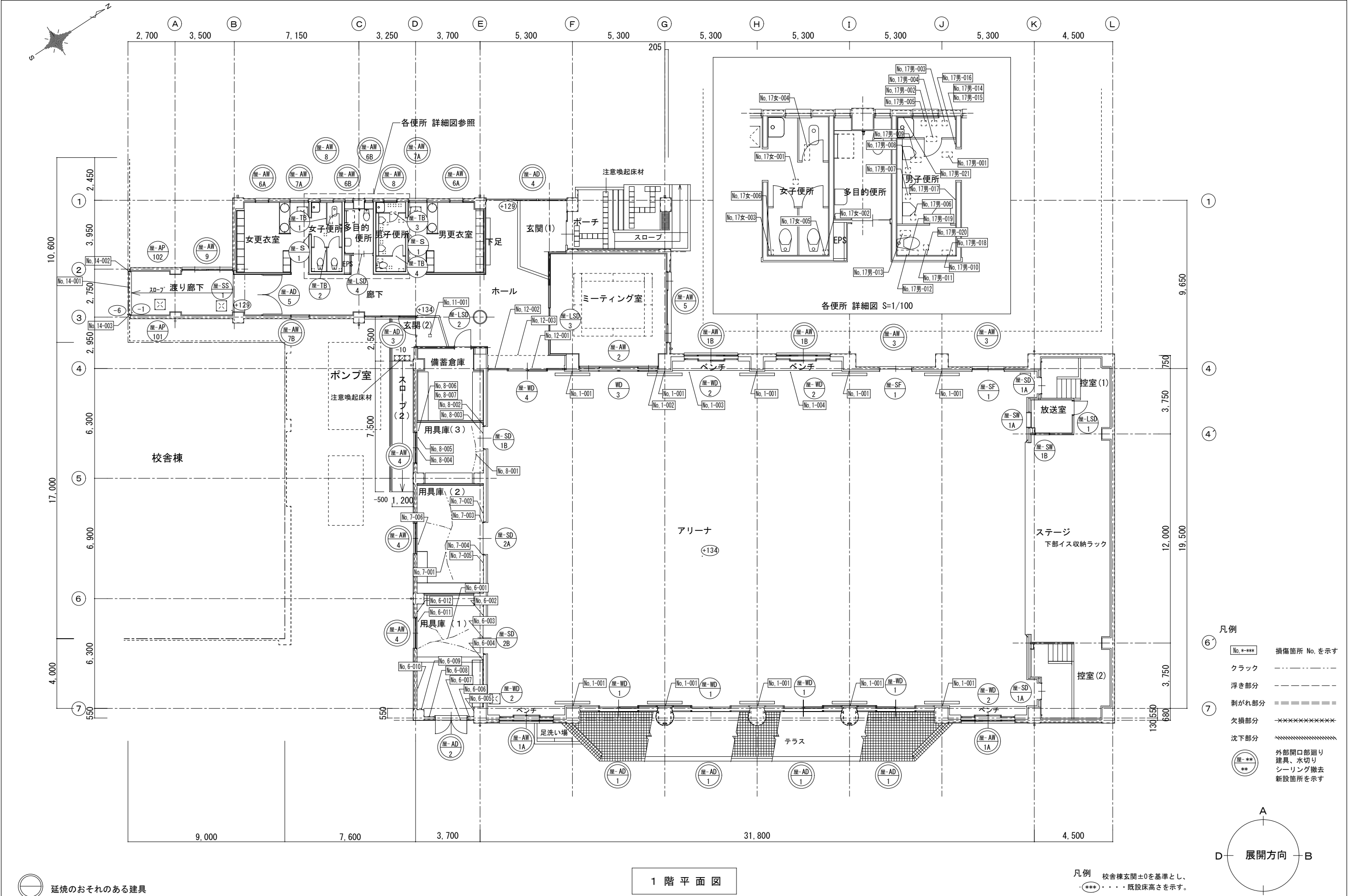


外 部 仕 上 表										仕 上 材 特 記 事 項 ○ 印の付いたものを適用する。									
</																			

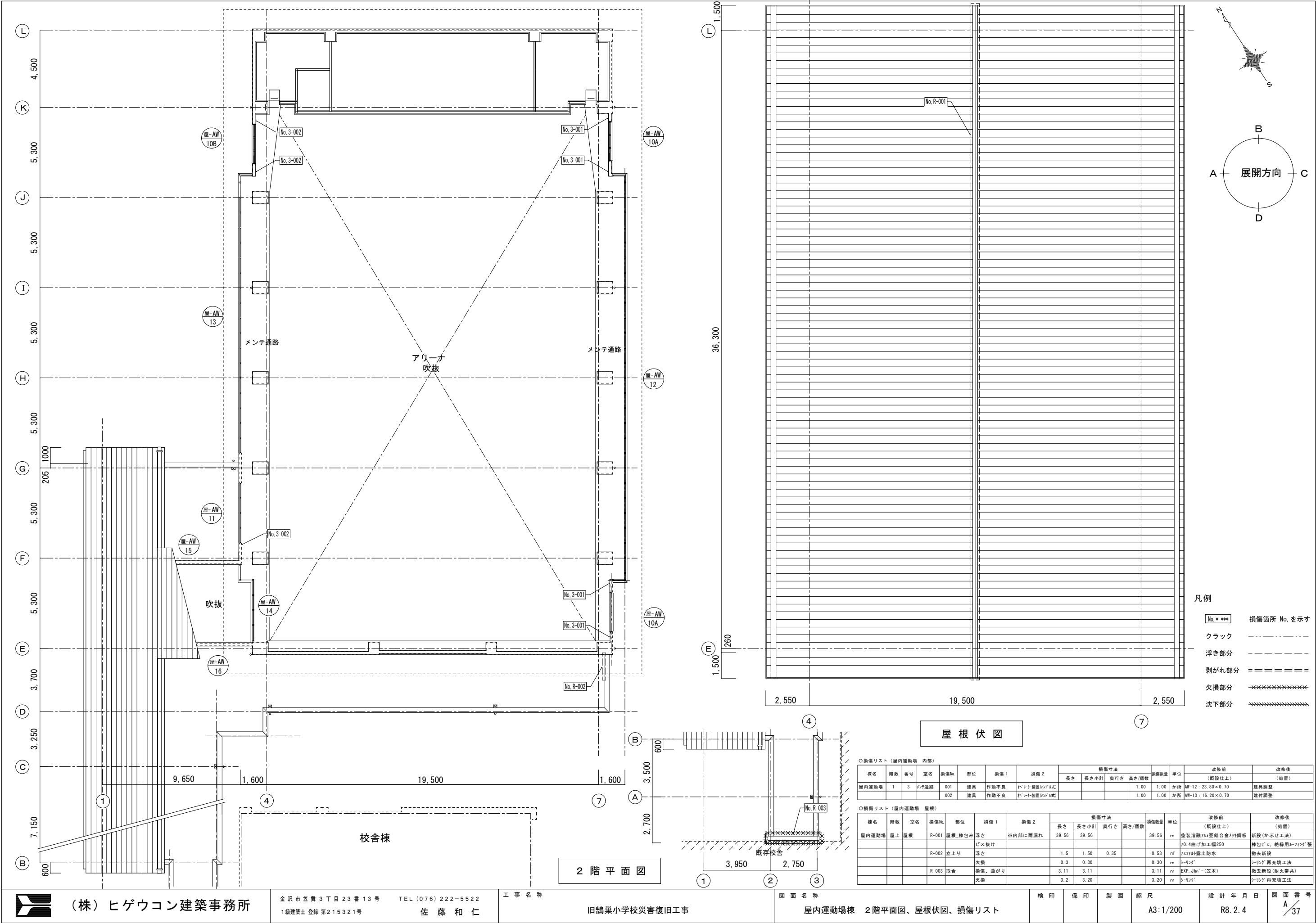
凡例 ★ 石綿含有調査済 ☆ 石綿非含有調査済											
内 部 仕 上 表 ・シックハウス対策として、内部仕上げ下地の天井裏等はF☆☆☆以上、内部の仕上げ下地はF☆☆☆☆仕様とする (建具・家具・接着剤共)											

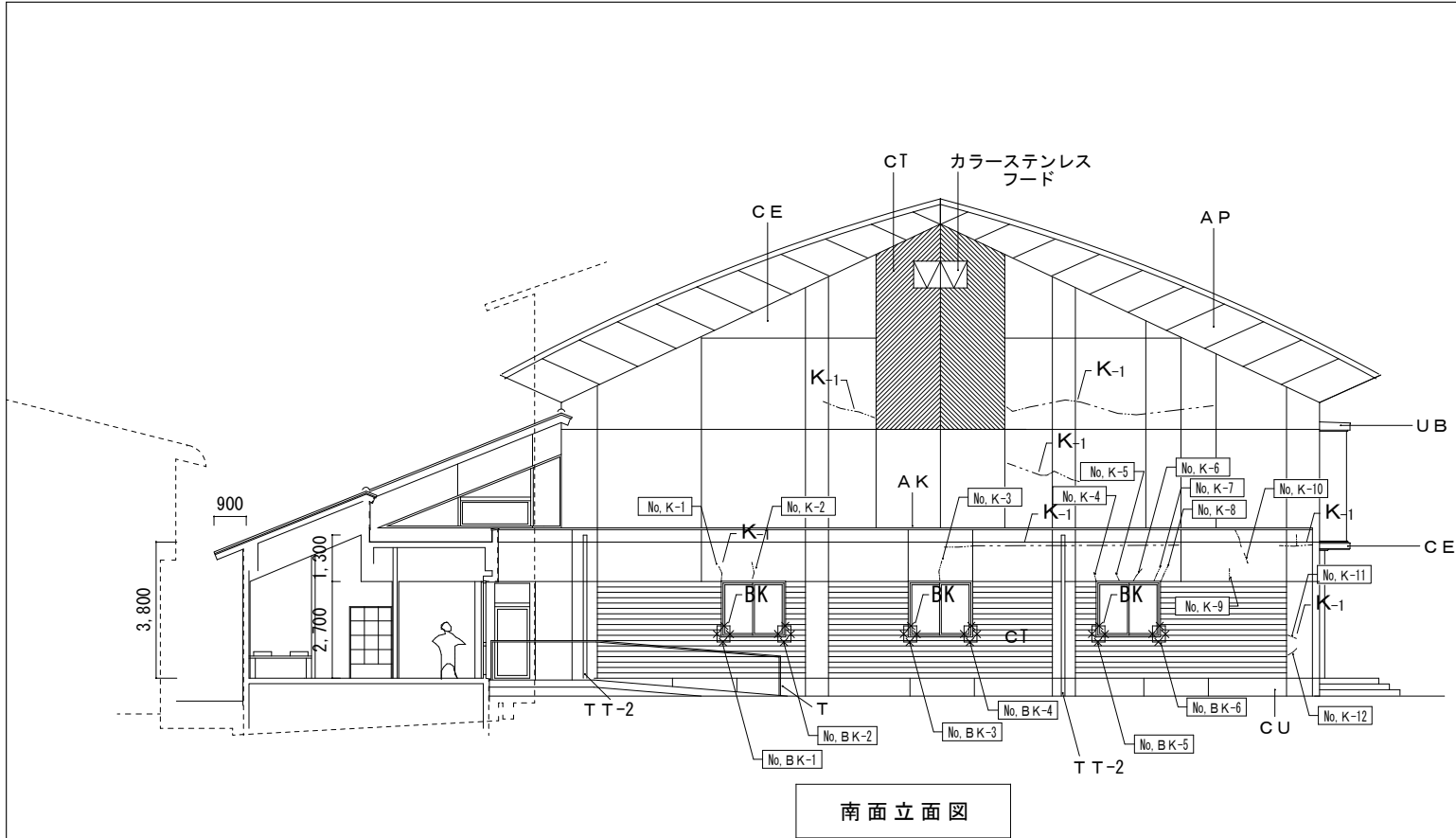
室 名	材 料	床 仕 上	巾 木	下 地	壁 仕 上	天 井 仕 上	C H	回 り 縁	室名札	責任者氏名札	カーテンブラインドボックス	床下点検口	備 考
アリーナ	鋼製床組 構造用合板T=12下地	カバ桜フローリングT=18特殊張り ポリウレタン4回塗り	能登ヒバ H=100 CL	LGS	ラワン合板T=12 腰壁 能登ヒバT=15小巾板横張り (本実加工) CL 妻壁一部シナ合板T=5.5目透シ張り CL	耐火野地板複合板 鉄骨晒し全て SOP	図面参照			○	○	②	体育施設器具及び床金物・バスケットゴール (メッシュ等)・ライン引き 床上換気口・幕掛用回転フック (壁面埋込)・防球ネット・ベンチ・校歌掲示板
ステージ		△	木製 H=100 SOP	△	寒冷紗裏張り グラスウールT=25充填	有孔ラワン合板T=9目透シ張り SOP	図面参照						下部万能台車・バトン・ぶどう棚・幕地用吊物一式 縦帳 (幕地別途、昇降装置のみ) 移動階段
メンテ通路	モルタル金ゴテ押エT=30	エポキシ系防塵塗料	コンクリート打放シ EPG		コンクリート打放シ	EPG	図面参照				○		防球ネット
控室 (1) (2)	モルタル金ゴテ押エT=30 鋼製床組 構造用合板T=12下地 カバ桜フローリングT=18特殊張り ポリウレタン4回塗り	ビニール床シート貼T=2.5	木製 H=100 SOP	△	寒冷紗裏張り グラスウールT=25充填	有孔ラワン合板T=9目透シ張り SOP	化粧PB T=9.5	塩ビ製					タラップ梯子
放送室	鋼製床組 構造用合板T=12下地	タイルカーペットT=6.5	木製 H=100 SOP		△		△	△		○	○		放送機器 (電気設備工事)
用具庫 (1) (2)	モルタル金ゴテ押エT=30	エポキシ系防塵塗料	コンクリート打放シ EPG H=100 木製 H=100 SOP	RC LGS	コンクリート打放シ ラワン合板T=9.0目透シ張り	EPG SOP	木毛板T=25打込	△	○				棚
用具庫 (3)		△	△		△		△	△	○				棚
備蓄倉庫	モルタル金ゴテ押エT=30	ビニール床シート貼T=2.5	△	RC LGS+木胴縁	ラワン合板T=9.0目透シ張り SOP	化粧PB T=9.5	△	△	○	○			棚
ミーティング室	モルタル金ゴテ押エT=30	直張りフローリングT=15	能登ヒバ H=100 CL	△	ラワン合板T=5.5 腰壁 H=1200 能登ヒバT=12小巾板横張り (本実加工) CL シナ合板T=5.5目透シ張り CL	△	△	△	○	○		○	
玄関 (1) 玄関 (2)	モルタルコテ押エT=30	150角 磁器質タイル貼 直張りフローリングT=15	御影石 H=100	△	ラワン合板T=5.5+5.5 腰壁 能登ヒバT=12羽目板縦張り (本実加工) CL H1000 壁	PB T=9.5 CL	化粧PB T=9.5 EP	3440~6200					
ホール	モルタル金ゴテ押エT=30	直張りフローリングT=15	能登ヒバ H=100 CL	△	△		△	△					下足箱・掲示板
廊下		△	△	△	△		△	△				○	
渡り廊下	モルタル金ゴテ押エT=30	ビニール床シート貼T=2.5 (ノンスリップ)	△	△	△		△	△				○	
男子・女子更衣室	モルタル金ゴテ押エT=30	直張りフローリングT=15 ビニール床シート貼T=2.5	木製 H=100 SOP	△	ラワン合板T=5.5	シナ合板T=5.5目透シ張り CL	△	△	②	②		②	洗面台・更衣棚
多目的便所	モルタル金ゴテ押エT=30	ビニール床シート貼T=2.5	△	△	△	CL	化粧PB T=9.5	△	○	○			
男子・女子便所	モルタルコテ押エT=30	150角せつ器質タイル貼	▷	RC LGS+木胴縁	腰壁 H=1400 モルタル下地 壁 ラワン合板T=5.5	200角せつ器質タイル貼 シナ合板T=5.5目透シ張り CL	化粧PB T=9.5	△					ライニング板

凡例														
C L	ークリアラッカー													
S O P	一合成樹脂調合ペイント													
E P G	一つや有合成樹脂エマルションペイント													
P B	ープラスタボード													
L G S	軽量鉄骨壁下地													
 (株) ヒゲウコン建築事務所		金 沢 市 笠 舞 3 丁 目 2 3 番 1 3 号 T E L (0 7 6) 2 2 2 - 5 5 2 2 1級建築士 登録 第215321号 佐 藤 和 仁		工 事 名 称 旧鶴巣小学校災害復旧工事		図 面 名 称 屋内運動場棟 既存仕上表		検 印	係 印	製 図	縮 尺 N . S	設 計 年 月 日 R8. 2. 4	図 面 番 号 A / 34	

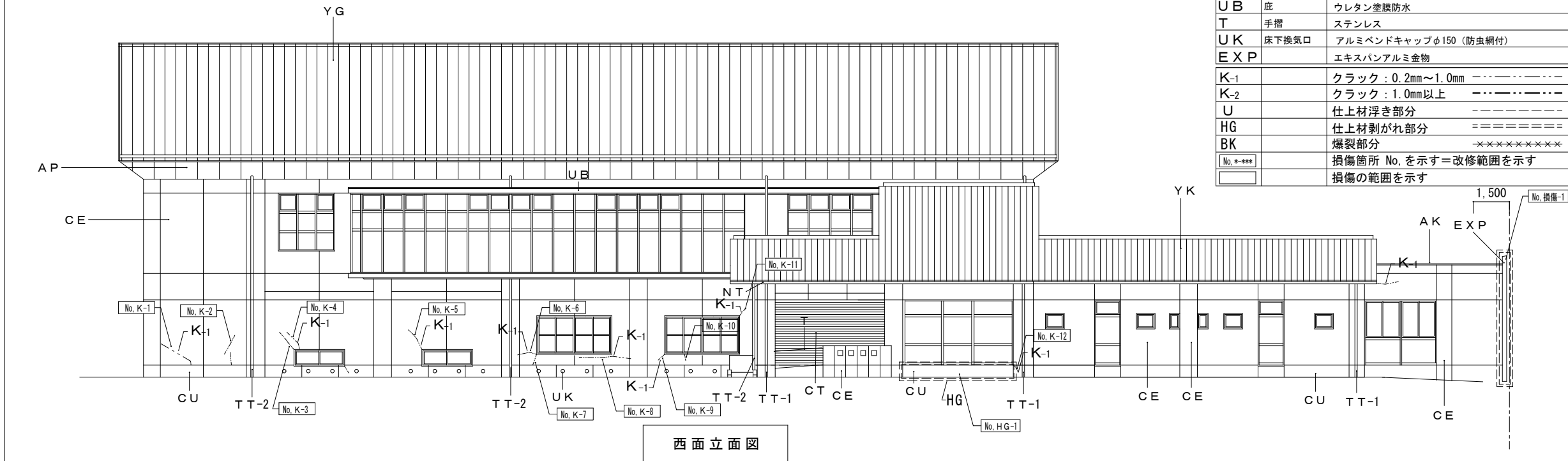


○ 損傷リスト (屋内運動場 内部)														○ 損傷リスト (屋内運動場 内部)													
棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後												
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)												
屋内運動場	1	1	アリーナ	001	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.70	0.70		10.00	7.00	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								0.70	0.70	1.00	10.00	7.00	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
							1.20	1.20	1.00	10.00	12.00	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
				002	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.15	0.15			0.15	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								0.12+0.15	0.27	1.35		0.36	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
				003	壁	ひび割れ	クランク幅0.2未満	0.12+0.15	0.27	4.38		1.18	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
								0.12×2+0.15	0.39	4.38		1.71	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
			3	バテ通路	001	建具	作動不良	パレナ装置 (戸口式)				1.00	1.00	か所	AW-12 : 23.80×0.70	建具調整											
				002	建具	作動不良	パレナ装置 (戸口式)				1.00	1.00	か所	AW-13 : 16.20×0.70	建付調整												
			6	用具庫 (1)	001	床	ひび割れ	平面	3.58+3.5	7.08	3.77		26.69	m	エポキシ系防塵塗料 (モザル金ゴテ)	下地共撤去新設											
						立上り	0.2+0.2	0.40	3.77		1.51	m	エポキシ系防塵塗料 (モザル金ゴテ)	下地共撤去新設													
							3.77	3.77		2.00	7.54	m	階段ノズリット	撤去新設													
				002	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.21	0.21			0.21	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
				004	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	1.20	1.20			1.20	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								2.55+3.36	5.91	3.00		17.73	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
								▲ 1.80	▲ 1.80	2.00		▲ 3.60	m	▲建具	塗装塗替え												
				005	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.54+0.53	1.07			1.07	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								0.54+0.53	1.07	3.05		3.26	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
				006	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.29	0.29			0.29	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								1.30	1.30			1.30	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
				008	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.30	0.30			0.30	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法												
								2.90	2.90	3.05		8.85	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え												
								▲ 2.20	▲ 2.20	2.20		▲ 4.84	m	▲建具	塗装塗替え												
			009	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.54+0.53	1.07			1.07	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							0.54+0.53	1.07	3.05		3.26	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
			010	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	5.40	5.40			5.40	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							1.00	1.00			1.00	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			012	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	1.60	1.60			1.60	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							2.55	2.55	3.36		8.57	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
							▲ 1.70	▲ 1.70	1.50		▲ 2.55	m	▲建具	塗装塗替え													
							3.7+2.5	6.20	3.76		23.31	m	エポキシ系防塵塗料 (モザル金ゴテ)	下地共撤去新設													
			002	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			004	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			005	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							3.7+2.5	6.20	2.95		18.29	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
							▲ 2.00	▲ 2.00	2.00		▲ 4.00	m	▲建具	塗装塗替え													
			006	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	1.70	1.70			1.70	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
		8	用具庫 (3)	001	床	ひび割れ		3.28	3.28	3.76		12.33	m	エポキシ系防塵塗料 (モザル金ゴテ)	下地共撤去新設												
			002	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.20	0.20			0.20	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							0.90	0.90			0.90	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			003	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	2.65	2.65	3.00		7.95	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
							▲ 1.20	▲ 1.20	2.00		▲ 2.40	m	▲建具	塗装塗替え													
			004	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	1.80	1.80			1.80	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							1.12	1.12			1.12	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			006	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	1.20	1.20			1.20	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
			007	壁	ひび割れ	クランク幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													
							2.65	2.65	3.00		7.95	m	EP塗り (モザル下地)	塗装塗替え													
							▲ 1.70	▲ 1.70	1.50		▲ 2.55	m	▲建具	塗装塗替え													
			008	天井梁型	ひび割れ		0.53+0.48	1.01			1.01	m	EP塗り (モザル下地)	樹脂注入工法													





南面立面図



西面立面図

○損傷リスト (屋内運動場 外壁)

棟名	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前 (既設仕上)	改修後 (処置)
						長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数				
屋内運動場	外壁	K1	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.80	0.80			0.80	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K2	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.1+0.15	1.25			1.25	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		BK1	南面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		BK2	南面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		K3	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.0+0.15	1.15			1.15	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		BK3	南面	浮き		0.15	0.15	0.15		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		BK4	南面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		K4	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.0+0.15	1.15			1.15	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K5	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.0+0.15	1.15			1.15	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K6	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.0+0.15	1.15			1.15	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K7	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.2+0.15	1.35			1.35	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		BK5	南面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		BK6	南面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆裂					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	充填工法200×200程度
		K8	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K9	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.40	0.40			0.40	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K10	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.20	0.20			0.20	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K11	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K12	南面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.30	0.30			0.30	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K1	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.40	1.40			1.40	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K2	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K3	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.10	1.10			1.10	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K4	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.60	0.60			0.60	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K5	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.65+0.07	1.72			1.72	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K6	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.65	0.65			0.65	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K7	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.30	0.30			0.30	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K8	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	2.10	2.10			2.10	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K9	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.25	0.25			0.25	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K10	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.35+0.13	0.48			0.48	m	複層塗材E吹付+コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K11	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.40	0.40			0.40	m	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		HG1	西面	浮き・はがれ		5.15	5.15	0.35		1.80	m ²	コンクリート打放シ仕上げ	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		K12	西面	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70	0.70		0.49	m ²	コンクリート打放シ複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		損傷1	西面	破損		5.25	5.25			5.25	m	EXP-JHA(外壁コーナ)	撤去新設(耐火帯共)

凡例

CT	外壁	能登ヒバt=15箱目地下見板張りパネル本さね加工) 無公害木材保護塗料2回塗り
		コンクリート打放シ型枠 (打増 t=20伸縮目地20×20シーリング) 複層塗材E吹付
CE	外壁	複層塗材E吹付 コンクリート打放シ型枠 (打増 t=20化粧伸縮目地20×20シーリング)
CU	巾木	コンクリート打放シ仕上げ
YG	屋根	塗装溶融アルミ亜鉛合金メッキ銅板t=0.4堅ハゼ締め防水工法+ゴムアスシート+耐火野地複合板
YK	屋根	日本瓦葺 (銀黒) 逆水止め・雪止め瓦 軒先 一文字葺 熨斗瓦3段 モルタルT=30 アスファルトルーフィング22kg
NT	軒樋	芯入り硬質塩ビ樹脂
TT-1	縦樋	芯入り硬質塩ビ樹脂 角60
TT-2	縦樋	硬質塩ビ管φ100 SOP塗装
AP	軒裏	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EPG塗装
AK	笠木	アルミ既製品
UB	庇	ウレタン塗膜防水
T	手摺	ステンレス
UK	床下換気口	アルミベンドキャップφ150 (防虫網付)
EXP		エキスパナルミ金物
K-1		クラック : 0.2mm～1.0mm
K-2		クラック : 1.0mm以上
U		仕上材浮き部分
HG		仕上材剥がれ部分
BK		爆裂部分
No. *-***		損傷箇所 No. を示す=改修範囲を示す
		損傷の範囲を示す



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

屋内運動場棟 立面図(1)、損傷リスト

検印

係印

製図

縮尺

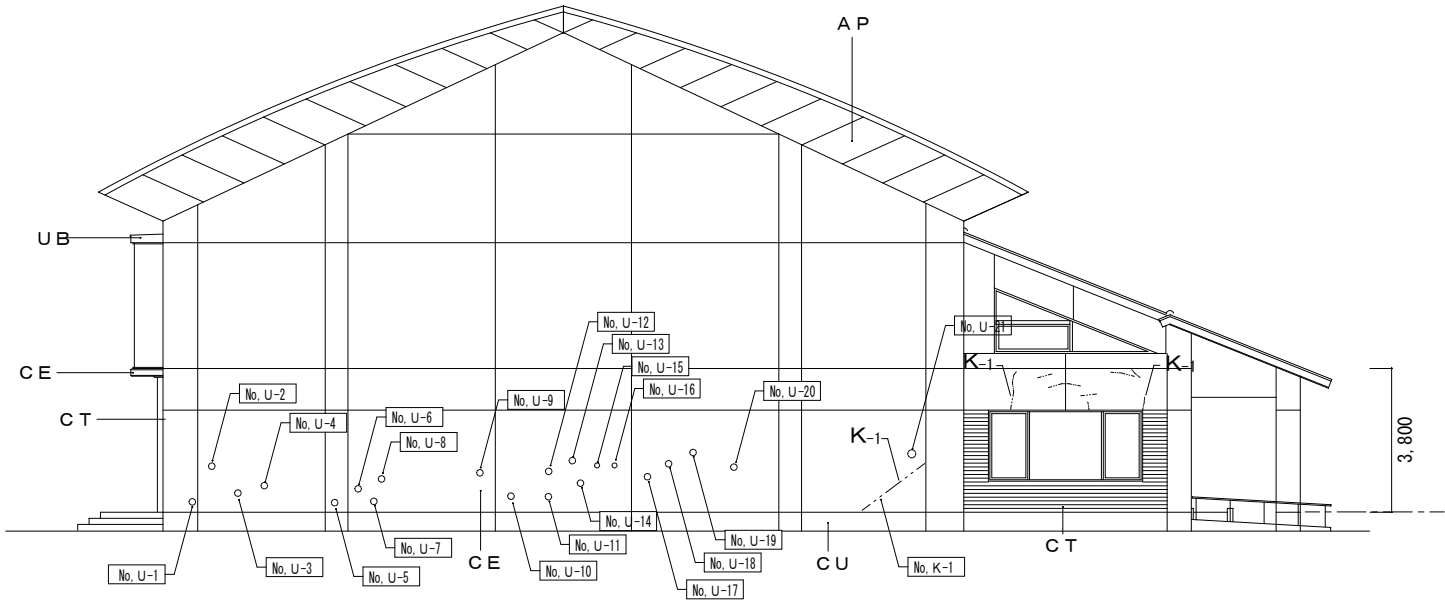
A3:1/200

設計年月日

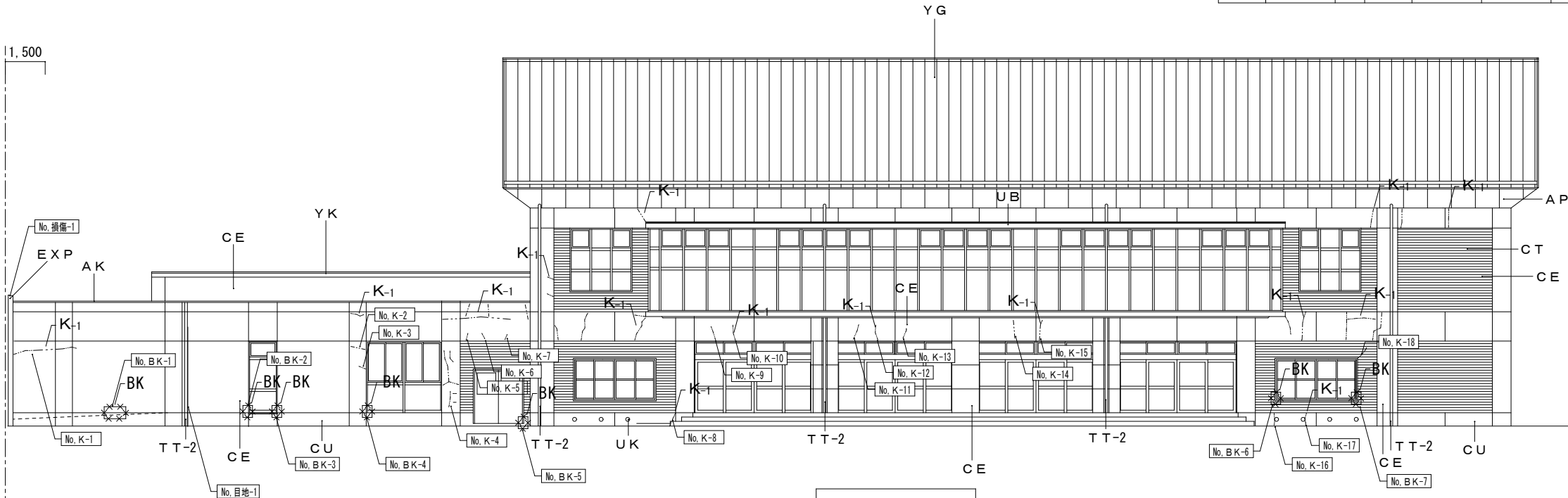
R8.2.4

図面番号

A/38



北面立面図



東面立面図

様名	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前 (既設仕上)	改修後 (処置)
						長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数				
屋内運動場	外壁	U1	北面	浮き		0.20	0.20	0.20		0.04	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U2	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U3	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U4	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U5	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U6	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U7	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U8	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U9	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U10	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U11	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U12	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U13	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U14	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U15	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U16	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U17	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U18	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U19	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U20	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		U21	北面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
		K1	北面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	1.50	1.50			1.50	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
屋内運動場	外壁	K1	東面	破損		4.70	4.70			4.70	m	EXP. J&N (外壁コーナ)	撤去新設(耐火帯共)
		K1	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	3.20	3.20			3.20	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		BK1	東面	浮き		0.10	0.10	0.10		0.01	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法100×100程度	
		BK2	東面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		BK3	東面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		K2	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.3+0.2	0.50			0.50	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K3	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.3+0.2	0.50			0.50	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K4	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	2.7+0.3	3.00			3.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K5	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K6	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.80	0.80			0.80	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K7	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.80	0.80			0.80	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K8	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.55	0.55			0.55	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K9	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K10	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K11	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K12	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K13	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K14	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K15	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.9+0.1	1.00			1.00	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K16	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.50	0.50			0.50	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
		K17	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.50	0.50			0.50	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法
屋内運動場	外壁	目地1	東面	目地切れ		2.70	2.70			2.70	m	シーリング	シーリング再充填工法
		BK4	東面	浮き		0.20	0.20	0.15		0.03	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		BK5	東面	浮き		0.20	0.20	0.15		0.03	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		BK6	東面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		BK7	東面	浮き		0.15	0.15	0.10		0.02	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	塗膜除去+仕上のみ撤去新設
				鉄筋爆製					1.00	1.00	か所	充填工法200×200程度	
		K18	東面	ひび割れ	割幅0.2～1.0	0.20	0.20			0.20	m	コンクリート打放し複層塗材E吹付	樹脂注入工法

凡例		
C T	外壁	能登ヒバt=15箱目地下見板張りパネル本どね加工 無公害木材保護塗料2回塗り コンクリート打放シ型枠 (打増 t=20伸縮目地20×20シーリング) 複層塗材E吹付
C E	外壁	複層塗材E吹付 コンクリート打放シ型枠 (打増 t=20化能伸縮目地20×20シーリング)
C U	巾木	コンクリート打放シ仕上げ
Y G	屋根	塗装溶融アルミ亜鉛合金メッキ鋼板t=0.4壁ハゼ締め防水工法 +ゴムアスシート+耐火野地複合板
Y K	屋根	日本瓦葺 (銀黒) 逆水止め・雪止め瓦 軒先 一文字葺 熨斗瓦3段 モルタルT=30 アスファルトルーフィング22kg
N T	軒樋	芯入り硬質塩ビ樹脂
T T-1	縦樋	芯入り硬質塩ビ樹脂 角60
T T-2	縦樋	硬質塩ビ管φ100 SOP塗装
A P	軒裏	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EPG塗装
A K	笠木	アルミ既製品
U B	庇	ウレタン塗膜防水
T	手摺	ステンレス
U K	床下換気口	アルミベンドキャップφ150 (防虫網付)
E X P		エキスパシアアルミ金物
K-1		クラック : 0.2mm～1.0mm
K-2		クラック : 1.0mm以上
U		仕上材浮き部分
H G		仕上材剥がれ部分
B K		爆裂部分
No. K-***		損傷箇所 No. を示す=改修範囲を示す
		損傷の範囲を示す



(株) ヒゲウコン建築事務所


金沢市空舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工事名称 旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称 屋内運動場棟 立面図(2)、損傷リスト

検印 係印 製図 縮尺 A3:1/200 設計年月日 R8.2.4 図面番号 A/39

符号・形式	■AW-1A・1B4枚引き違いガラス窓	■AW-24枚引き違いガラス窓	■AW-3引き違いフラッシュ窓	■AW-4引き違いガラス窓	■AW-5両袖片引きガラス窓	■AW-6A・6B引出シガラス窓
姿図						
FL						
場所・数量	アリーナベンチ上2+2	ミーティング室1	アリーナ地窓2	用具庫3	ミーティング室1	男・女更衣室2+2
見込	70下枠フラットレール	▽	▽	▽	▽	▽
材料・仕上	アルミ電解着色	▽	▽	▽	▽	▽
硝子	1A: スクールテンパ透明 t4 1B: 透明 t5	下部: スクールテンパ透明 t4 上部: 透明 t5		スクールテンパ型 t4	透明 t5・6	網入り型 t6.8
金物						
額縁・水切り	7mm額縁(3方)・水切り		7mm額縁(4方)・水切り	▽	▽	▽
備考	1B: ステンレス網戸				ステンレス網戸	
符号・形式	■AW-7A・7Bハメ殺し、外倒し付縦軸回転ガラス窓	■AW-8ハメ殺しガラス窓	■AW-9ハメ殺し付引き違い2連ガラス窓	■AW-10A・Bハメ殺し付外倒しガラス連窓	■AW-11ハメ殺し付外倒しガラス連窓	金物は特記以外標準部品とする 引き違い以外は結露受けを設ける 外倒し窓は全て埋め込みオペレーター装置とする メンテ通路上部の窓オペレーターはアリーナ床より1.5以下とする
姿図						
FL						
場所・数量	男・女更衣室、廊下2+1	男・女便所2	渡り廊下1	メンテ通路2+1	メンテ通路1	
見込	▽	▽	▽	▽	▽	
材料・仕上	▽	▽	▽	▽	▽	
硝子	下部: A: 網入り型 t6.8 B: スクールテンパ透明 t4 上部: A: 網入り型 t6.8 B: 透明 t5	網入り型 t6.8	下部: スクールテンパ透明 t4 上部: ランマ: 透明 t5	10A: スクールテンパ透明 t4 10B: 透明 t5	スクールテンパ型 t4	
金物						
額縁	▽	▽	▽	▽	▽	
備考	開閉オペレーターフラットタイプ		ステンレス網戸		開閉オペレーターフラットタイプ	



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工事名称
旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称
屋内運動場棟 建具リスト(1)

検印

係印


製図

縮尺
A3:1/100

設計年月日
R8.2.4

図面番号
A/40

符号・形式	扉-A D-1 引違いランマ付ハメ殺し 引き分けガラス框戸	扉-A D-2 両開き戸	扉-A D-3 ハメ殺し・引き違い2連ガラス窓付 袖アルミパネル片開き框ガラス戸	扉-A D-4 ハメ殺し、外倒し付 片引きハンガー框ガラス戸	扉-A D-5 ランマ付両開きガラス框戸	
姿 図						
場所・数量	アリーナ 4	用具庫(1) 1	玄関(2) 1	玄関(1) 1	廊下 1	
見 込	70	◁	◁	◁	70	
材料・仕上	アルミ電解着色	◁	◁	アルミ焼付塗装	アルミ電解着色	
硝 子	スクールテンパ透明 t 4	上部：スクールテンパ型 t 4 下部：アルミ複合板パネル	下部：スクールテンパ透明 t 4 上部・ランマ：透明 t 5	網入り透明 t 6.8	スクールテンパ透明 t 4 ランマ：透明 t 5	
金 物	大型取手 アルミグレーティング(PAA5033)	レバーハンドルシリンダー錠、アームストッパー、 フランス落し 丁番	レバーハンドルシリンダー錠、ドアークローズ 丁番	シリンダー錠、押棒ステンレスL-600 ハンガー付属金物一式	シリンダー錠、ドアークローズ フランス落し 丁番 押棒ステンレス	
額縁・水切り	75額縁(3方)・水切り(下枠フラットタイプ)	75額縁(3方)・水切り(下枠供ステンレス)	75額縁(3方)・水切り(下枠供ステンレス)	75額縁(3方)・水切り		
備 考	立山アルミウオーキング又は同等品以上			開閉オペレーターフラットタイプ		
符号・形式	扉-S D-1 A・B 片引きハンガー戸	扉-S D-2 A・2 B 引き分けハンガー戸	扉-L S D-1・2 片開き軽量戸	扉-L S D-3 片引きハンガー軽量戸	扉-L S D-4 戸袋付2連引きハンガー軽量戸	扉-S W-1 A・1 B ハメ殺しガラス窓
姿 図						
場所・数量	アリーナ 用具庫 2+1	用具庫 1+1	放送室 備蓄倉庫 1+1	ミーティング室 1	多目的便所 1	放送室 1+1
見 込	扉見込40	◁	建具見込 36 枠 1:120 2:135	建具見込 40 枠165	建具見込 40 枠130	枠 A:280 B:120
材料・仕上	溶解亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 SOP 片面：木下地 能登ヒバ t 15貼り付け	◁	芯材 ｾﾞｰﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 溶解亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 SOP	◁	◁	溶解亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 SOP
硝 子				アルミガラリ	型 t 4・アルミガラリ	透明複層 t=6+A6+6
金 物	引手、シリンダー錠錠、ハンガール上下、 他付属金物一式	◁	レバーハンドルシリンダー錠、ドアークローズ	シリンダー錠、サムターン、ステンレス引手 ハンガー付属金物一式(引戸クローザー付)	表示錠、シリンダー錠、大型サムターン、ステンレス引手 ハンガー付属金物一式(引戸クローザー付)	
額 縁	大型ｸﾞﾗｽﾞﾘ ステンレスHL t=1.6 曲げ加工 3方額縁用アングル付	◁	ｸﾞﾗｽﾞﾘ ステンレスHL t=1.6 曲げ加工 丁番			
備 考			1はエアータイト仕様			



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工事名称
旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称
屋内運動場棟 建具リスト(3)

検印
係印
製図
縮尺
A3:1/100

設計年月日
R8.2.4

図面番号
A/42

符号・形式	屋-S-1	枠	屋-SF-1	防球格子	屋-SS-1	重量防火電動シャッター	屋-TB-1・2・3・4	トイレブース	屋-AP-101・102	アルミパネル曲げ加工
姿 図 F.L										
場所・数量	男・女便所	105	アリーナ地窓	2	渡り廊下	1	男・女便所	1+1+1+1	既設校舎廊下外壁	
見込	200		2				見込	40		
材料・仕上		◁	溶解亜鉛メッキ鋼板 t=1.6	SOP	スチールスラット t=1.6	SOP塗装	化粧パーティクルボード	下枠エッジ付	アルミ電解着色	t=2.0
硝子										
金物					ガイドレール、座板、まぐさ共にSUS		SUS足金物・頭つなぎ、ラバーヒンジ、トリ表示錠、戸当り、他付属金物			
額縁・水切り										
備考					電動式押ボタンスイッチ及び配線工事含む・手動閉鎖装置 障害物検知装置付 感知器連動(避難時停止装置付)		コマニー様クリーンブースリプレ又は同等品以上			
符号・形式	屋-WD-1・2・3・4	引き分けハンガー格子戸								
姿 図 F.L										
	WD-1	WD-2	WD-3	WD-4	ポリカーボネート樹脂板 t=3					
場所・数量	アリーナ	4+4+1+1								
見込	扉見込60	枠155								
材料・仕上	米松	CL	枠・補強板	溶解亜鉛メッキ鋼板 t=1.6	SOP					
硝子	WD4:ポリカーボネート樹脂板無色透明	t=3								
金物	ハンガー付属金物一式(1本レールのみ)		ステンレスラッチ							
額縁	ガイド下レール	ステンスHL t=1.6	曲げ加工	(1本レールのみ)						
備考	両端扉固定(取り外し可能)									
<div>金物は特記以外標準部品とする</div> <div>引き違い以外は結露受けを設ける</div> <div>外倒し窓は全て埋め込みオペレーター装置とする</div> <div>メンテ通路上部の窓オペレーターは アリーナ床より1.5以下とする</div>										

(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士登録第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

屋内運動場棟 建具リスト(4)

検印

係印

製図

縮尺

A3:1/100

設計年月日

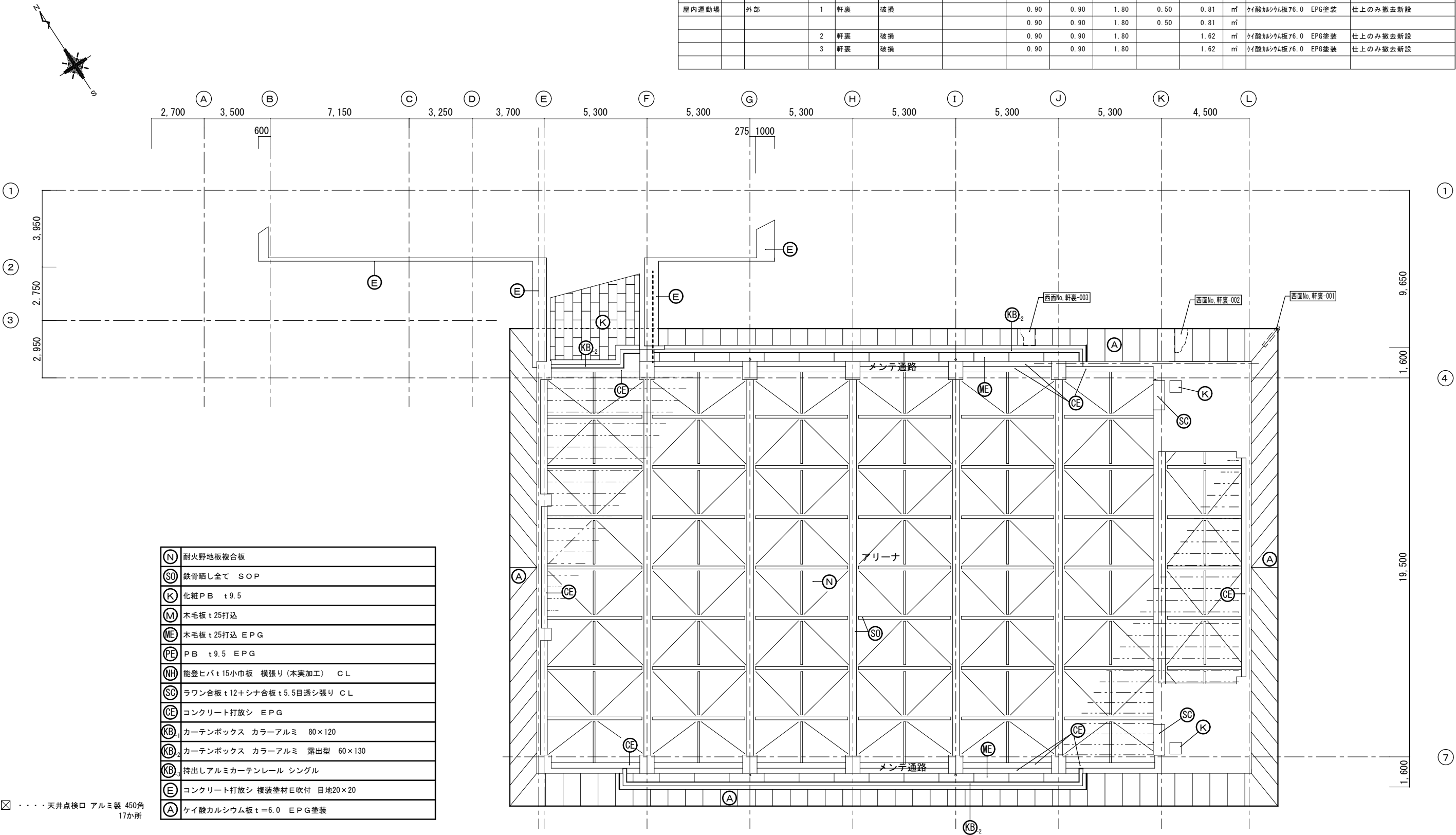
R8.2.4

図面番号

A/43

○ 損傷リスト (屋内運動場 軒天井)

棟名	階数	室名	損傷No.	部位	損傷1	損傷2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
							長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
屋内運動場		外部	1	軒裏	破損		0.90	0.90	1.80	0.50	0.81	m ²	ケイ酸カルシウム板76.0 EPG塗装	仕上のみ撤去新設
							0.90	0.90	1.80	0.50	0.81	m ²		
			2	軒裏	破損		0.90	0.90	1.80		1.62	m ²	ケイ酸カルシウム板76.0 EPG塗装	仕上のみ撤去新設
			3	軒裏	破損		0.90	0.90	1.80		1.62	m ²	ケイ酸カルシウム板76.0 EPG塗装	仕上のみ撤去新設



(N)	耐火野地板複合板
(S0)	鉄骨晒し全て S O P
(K)	化粧P B t 9.5
(M)	木毛板 t 25打込
(ME)	木毛板 t 25打込 E P G
(PE)	P B t 9.5 E P G
(NH)	能登ヒバ t 15小巾板 横張り (本実加工) C L
(SC)	ラワン合板 t 12+シナ合板 t 5.5目透シ張り C L
(CE)	コンクリート打放シ E P G
(KB)	カーテンボックス カラーアルミ 80×120
(KB ₂)	カーテンボックス カラーアルミ 露出型 60×130
(KB ₃)	持出しアルミカーテンレール シングル
(E)	コンクリート打放シ 複装塗材E吹付 目地20×20
(A)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 E P G 塗装

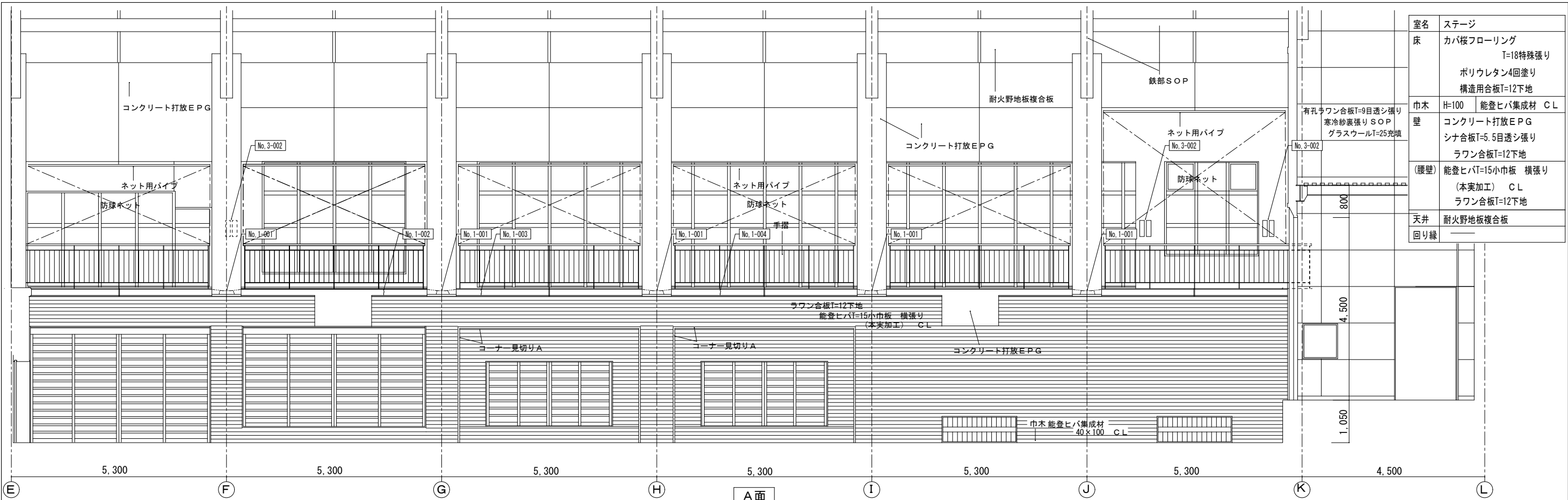
☒ 天井点検口 アルミ製 450角 17か所

凡例

No. * - *** 損傷箇所 No. を示す

損傷範囲 (汚れ、破れ、破損) -----

クラック - - - - -

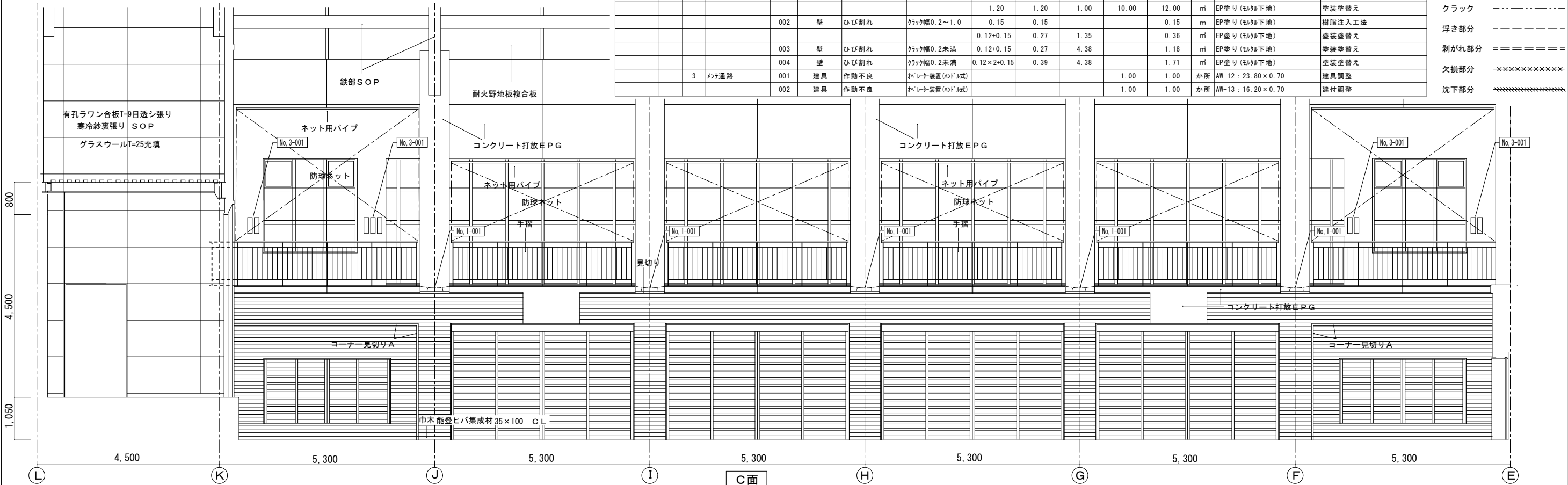


○損傷リスト（屋内運動場 内部）

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
屋内運動場	1	1	アリーナ	001	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70	1.00	10.00	7.00	m	EP塗り(モルタル下地)	樹脂注入工法
								0.70	0.70	1.00	10.00	7.00	m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
								1.20	1.20	1.00	10.00	12.00	m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
								0.15	0.15			0.15	m	EP塗り(モルタル下地)	樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.12+0.15	0.27	1.35		0.36	m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
								0.12+0.15	0.27	4.38		1.18	m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
								0.12+0.15	0.27	4.38		1.71	m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
								0.12+2+0.15	0.39	4.38			m	EP塗り(モルタル下地)	塗装差替え
	3	パテ通路		001	建具	作動不良	板レール装置(ハッド式)				1.00	1.00	か所	AW-12 : 23.80×0.70	建具調整
				002	建具	作動不良	板レール装置(ハッド式)				1.00	1.00	か所	AW-13 : 16.20×0.70	建付調整

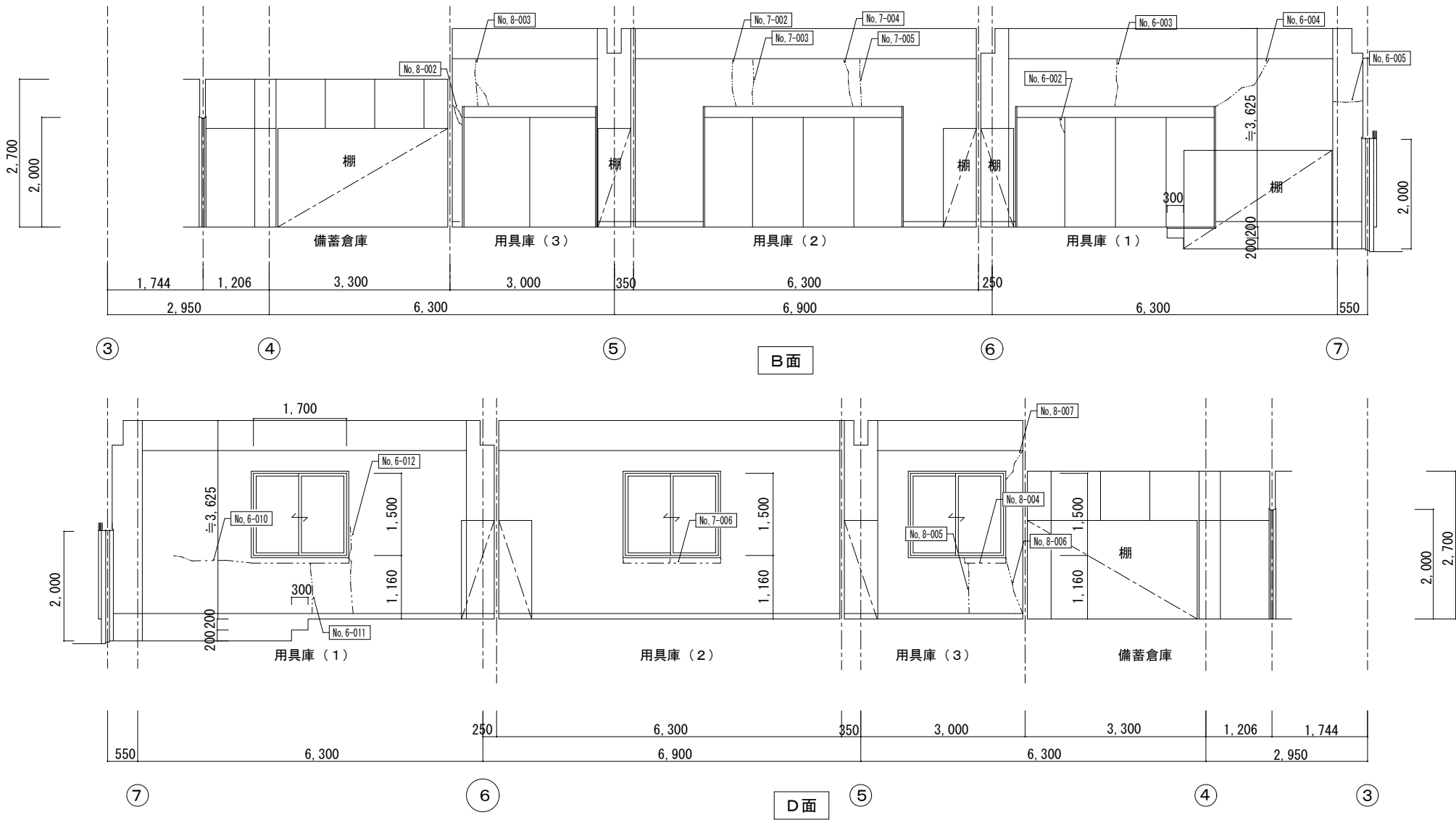
凡例

No. 1-***	損傷箇所 No. を示す
クラック	-----
浮き部分	-----
剥がれ部分	=====
欠損部分	-----
沈下部分	-----



室名	備蓄倉庫
床	モルタル金コテ押エ ビニール床シート貼T=2.5
巾木	ビニール H=100
壁	ラワン合板T=9目透シ張り S O P
(腰壁)	
天井	化粧P B T=9.5
回り縁	

室名	用具庫(1)(2)(3)
床	エポキシ系防塵塗料
巾木	コンクリート打放シ E P G 木製S O P H=100
壁	コンクリート打放シ E P G ラワン合板T=9目透シ張り S O P
(腰壁)	
天井	木毛板T=25打込
回り縁	



- 凡例
- No. * - *** 損傷箇所 No. を示す
 - クラック - - - - -
 - 浮き部分 - - - - -
 - 剥がれ部分 = = = = =
 - 欠損部分 - x x x x x x x x x x
 - 沈下部分 // // // // //

○損傷リスト（屋内運動場 内部）

棟名	階数	番号	室名	損傷No.	部位	損傷1	損傷2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
								長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			(既設仕上)	(処置)
屋内運動場	1	6	用具庫(1)	002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.21	0.21			0.21	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.20	1.20			1.20	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
								2.55+3.36	5.91	3.00		17.73	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
								▲1.80	▲1.80	2.00		▲3.60	m ²	▲建具	塗装塗替え
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.54+0.53	1.07			1.07	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
								0.54+0.53	1.07	3.05		3.26	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
				010	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	5.40	5.40			5.40	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
	7		用具庫(2)	011	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.00	1.00			1.00	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				012	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.60	1.60			1.60	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
								2.55	2.55	3.36		8.57	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
								▲1.70	▲1.70	1.50		▲2.55	m ²	▲建具	塗装塗替え
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
	8		用具庫(3)					3.7+2.5	6.20	2.95		18.29	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
								▲2.00	▲2.00	2.00		▲4.00	m ²	▲建具	塗装塗替え
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.70	1.70			1.70	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				002	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.20	0.20			0.20	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				003	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.90	0.90			0.90	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
								2.65	2.65	3.00		7.95	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
								▲1.20	▲1.20	2.00		▲2.40	m ²	▲建具	塗装塗替え
				004	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.80	1.80			1.80	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				005	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.12	1.12			1.12	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				006	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	1.20	1.20			1.20	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
				007	壁	ひび割れ	クラック幅0.2～1.0	0.70	0.70			0.70	m	EP塗り(モタル下地)	樹脂注入工法
								2.65	2.65	3.00		7.95	m ²	EP塗り(モタル下地)	塗装塗替え
								▲1.70	▲1.70	1.50		▲2.55	m ²	▲建具	塗装塗替え



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

屋内運動場棟 展開図(2)、損傷リスト

検印

係印

製図

縮尺

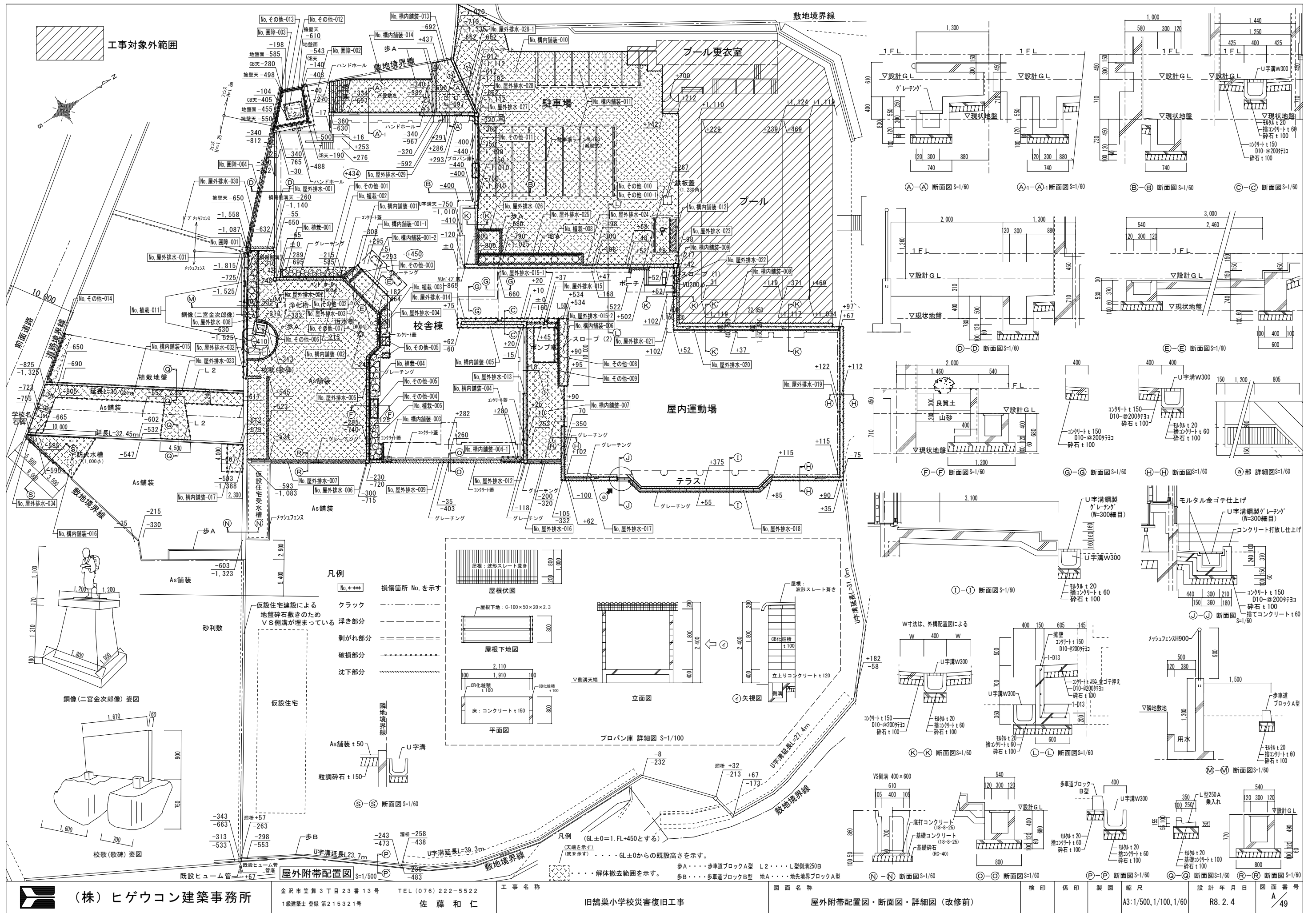
A3:1/100

設計年月日

R8.2.4

図面番号

A/47



○ 損傷リスト（開扉）

損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
				長さ	長さ小計	奥行き	高さ/厚み			（既設仕上）	（処置）
001	※敷地南側	破損		18	18.00			18.00	m	メッシュフェンス H900	撤去新設（基礎別途）
002	フェンス周囲	破損		2.7+1.4	4.10			4.10	m	ドブメッシュ H1500	撤去新設（基礎共）ブロック基礎180角
003	※敷地南側	破損		5.7	5.70		1	1.00	か所	両開きドア 1500×1500	撤去新設（基礎別途）
										ドブメッシュ H1800	撤去新設（基礎別途）
										CB塀 H1600	撤去（基礎別途）
004A	※敷地南側	破損		19.3	19.30			19.30	m	ドブメッシュ H1250	撤去新設（基礎別途）
										CB塀 H1600	撤去（基礎別途）
005	敷地北側			48.5	48.50			48.50	m	ドブメッシュ H1500	新設（基礎共）ブロック基礎180角
										両開きドア 1500×1500	新設（基礎共）ブロック基礎180角

※は隣接地関連工事を示す。

○ 損傷リスト（構内舗装）

損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
				長さ	長さ小計	奥行き	高さ/厚み			（既設仕上）	（処置）
001	正面ホーチ（ｽﾎｰﾌﾞ）	亀裂、破損、沈下		7.50	7.50	2.60		19.50	m	コンクリート舗装（歩）C-15-10（有筋） 150角ﾀｲﾙ	下地共撤去新設（砕石共）
001-1		浮き		7.30	7.30	2.70		19.71	m	150角ﾀｲﾙ	仕上のみ撤去新設
				1.05	1.05	0.45	▲ 1.00	▲ 0.47	m	150角ﾀｲﾙ	仕上のみ撤去新設
				0.90	0.90	1.70	▲ 2.00	▲ 3.06	m	150角ﾀｲﾙ	仕上のみ撤去新設
001-2		破損					2.00	2.00	か所	玄関ﾏｯﾄ(ｽﾃﾝﾚｽ製)1800×900	撤去新設
002	校舎棟南側	亀裂、破損、沈下		3.00	3.00	12.00		36.00	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				14.70	14.70	15.40		226.38	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				2.50	2.50	3.10		7.75	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
		亀裂、破損、沈下		2.40	2.40	10.30		24.72	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
		亀裂、破損、沈下		11.00	11.00	13.00		143.00	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
		亀裂、破損、沈下		8.0+4.8	12.80	1.80	0.50	11.52	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
		亀裂、破損、沈下		▲ 3.50	▲ 3.50	3.50	0.50	▲ 6.13	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
003	校舎棟東側	亀裂、破損		0.45	0.45	0.45		0.20	m	150角ﾀｲﾙ(ﾓﾀﾙ下地)	下地共撤去新設
004	校舎棟東側	亀裂、破損		3.00	3.00	0.45		1.35	m	150角ﾀｲﾙ(ﾓﾀﾙ下地)	下地共撤去新設
004-1	校舎棟東側	浮き		20.15	20.15	2.10		42.32	m	150角ﾀｲﾙ	仕上のみ撤去新設
005	校舎棟北東側	亀裂、破損		5.15	5.15	0.45		2.32	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩)C-15-10(有筋)	撤去新設（砕石共）
				9.63+9.3	18.93	0.42		7.95	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩)C-15-10(有筋)	撤去新設（砕石共）
				2.40	2.40	1.20		2.88	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩)C-15-10(有筋)	撤去新設（土砂H=1.0埋戻後新設）
006	屋内運動場ｽﾎｰﾌﾞ(2)	沈下									
		沈下		7.50	7.50	1.20		9.00	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩)C-15-10(有筋)	撤去新設（土砂H=1.0埋戻後新設）
		沈下		0.30	0.30	0.90		0.27	m	点字ﾌﾞﾛｯｸ	撤去新設
007	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	沈下	”	14.60	14.60	5.60		81.76	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				5.15	5.15	1.20		6.18	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				12+14.7	26.70			26.70	m	油ﾀﾝｸ跡(廃止済)	仕上のみ新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
008	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		22.85	22.85	0.50		11.43	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩道)C-15-10(無筋)	撤去新設（砂利敷 7100）
		”		5.10	5.10	0.35		1.79	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩道)C-15-10(無筋)	撤去新設（砂利敷 7100）
009	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		3.80	3.80	0.72		2.74	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(歩道)C-15-10(無筋)	撤去のみ
010	屋内運動場棟廻り西側 (ﾌﾞｰﾙﾈ跡A)	破損、沈下						925.24	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
								634.02	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	新設（砕石共） ※CASE2
								523.15	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	新設（砕石共） ※CASE3
011	屋内運動場棟廻り西側	はがれ		146.50	146.50			146.50	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
012	屋内運動場棟廻り西側	はがれ		5.00	5.00			5.00	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
						1.00		1.00	か所	身障者ﾏｰｸ	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
						3.00		15.00	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
		はがれ		5.00	5.00			5.00	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
		はがれ		3.50	3.50	2.00		7.00	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
		はがれ		1.50	1.50	4.00		6.00	m	溶融式ﾀｲﾝ引きW=150	撤去新設(ﾄﾗﾌｨｯｸﾊﾞｰｲﾝﾄH=150)
013	校舎棟西側	破損、沈下		2.2+5.8	8.00	7.92	0.50	31.68	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-15	撤去新設（砕石共）
				2.20	2.20	0.41	0.50	0.45	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-15	撤去新設（砕石共）
				15.40	15.40	4.90		75.46	m	撤去新設(A-3-10(歩)に整地)	
014	校舎棟西側	破損、沈下		7.50	7.50	0.26		1.95	m	石畳み	撤去新設(A-3-10(歩)に整地)
									m	歩車道ﾌﾞﾛｯｸA型	撤去新設（砕石共）
				7.50	7.50	2.00		15.00	m	歩車道ﾌﾞﾛｯｸA型	撤去新設（砕石共）
015	ﾌﾞﾞﾞﾛｰﾅ	破損、沈下		28.00	28.00	1.45		40.60	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				7.20	7.20	2.00		14.40	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
				2.93+4.5	7.43	5.50	0.50	20.43	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
016	ﾌﾞﾞﾞﾛｰﾅ	破損、沈下		10.00	10.00	6.10	0.50	30.50	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）
017	ﾌﾞﾞﾞﾛｰﾅ	破損、沈下		4.00	4.00	2.30		9.20	m	ｱｽﾌﾙﾄ舗装(車)A-5-10	撤去新設（砕石共）

・ﾌﾞｰﾙﾈ跡Aは、路盤材締固め＋ﾌﾞﾗｯｸﾞﾗﾝﾄ散布＋表層ｱｽﾌﾙﾄとする。

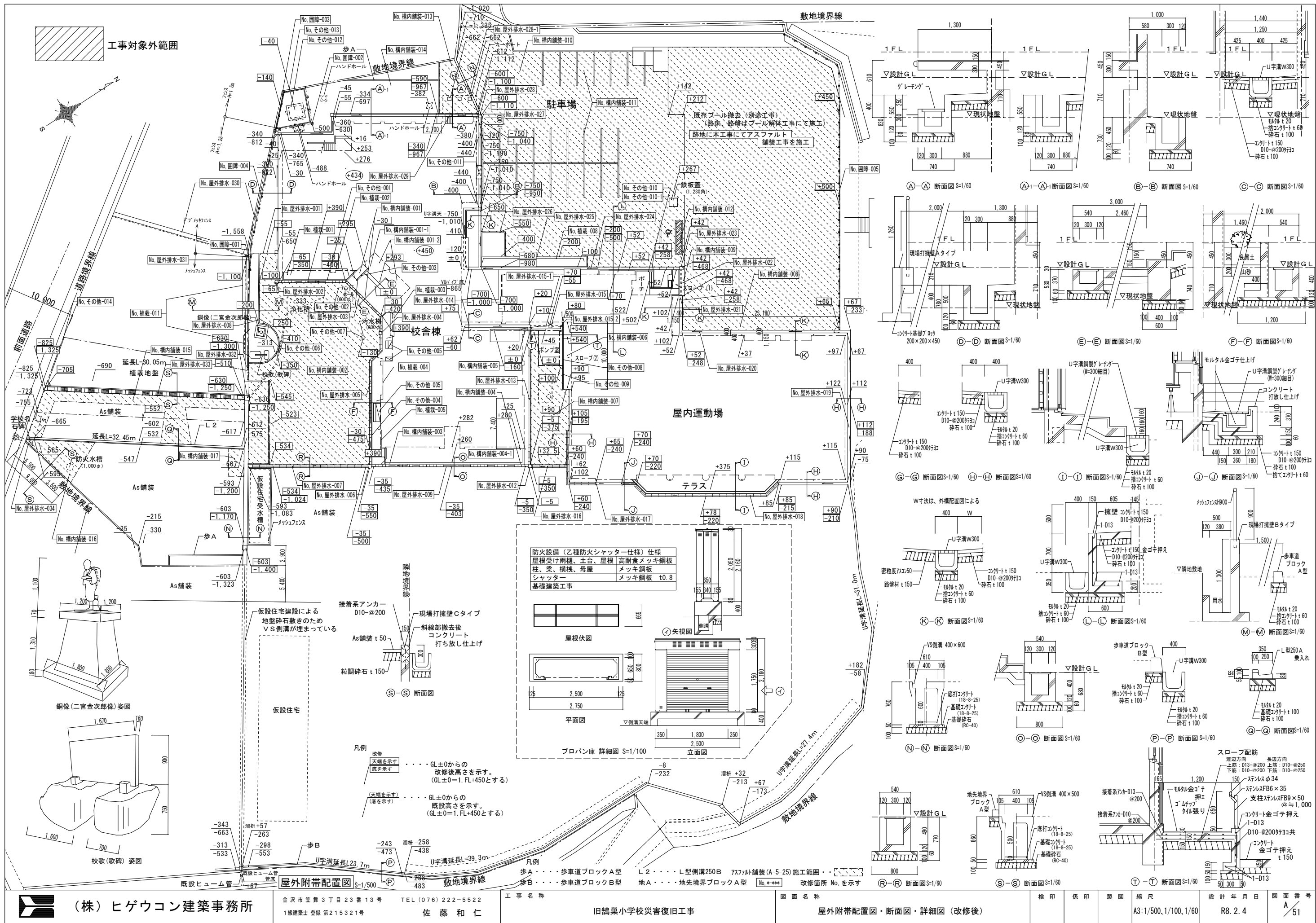
・ﾌﾞｰﾙﾈ跡B(路床表し、転圧未整備)は、路床整正、ｱｽﾌﾙﾄ舗装A-5-10とする。

○ 損傷リスト（植栽）

損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
				長さ	長さ小計	奥行き	高さ/個数			（既設仕上）	（処置）
001	校舎棟南側							1.00	本	低木(15cm未満)樹高0.9	伐採伐根
002	校舎棟南側							14.00	本	低木(15cm未満)樹高0.9	伐採伐根
003	校舎棟南側							4.00	本	低木(15cm未満)樹高0.9	伐採伐根
004	校舎棟南側							9.00	本	低木(15cm未満)樹高0.9	伐採伐根
005	校舎棟南側							7.00	本	低木(15cm未満)樹高0.9	伐採伐根
006	欠番										
007	欠番										
008	屋内運動場棟廻り							6.00	本	高木(25～40cm未満)樹高2.1	伐採伐根
009	欠番										
010	欠番										
011	校舎棟南側							10.00	本	低木(15cm未満)樹高1.5	伐採伐根
								3.00	本	高木(25～40cm未満)樹高2.0	伐採伐根
								1.00	本	高木(90～120cm未満)樹高6.0	伐採伐根

○ 損傷リスト（屋外排水）

損傷№	部位	損傷 1	損傷 2	損傷寸法				損傷数量	単位	改修前	改修後
				長さ	長さ小計	奥行き	高さ/厚み			(既設仕上)	(処置)
001	校舎棟廻り南側	沈下		3.65	3.65			3.65	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(3枚細目)
002	校舎棟廻り南側	沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
003	校舎棟廻り南側	沈下		19.30	19.30			19.30	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通+RC蓋	撤去新設(13枚細目)
004	校舎棟廻り南側	沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
005	校舎棟廻り南側	沈下		19.80	19.80			19.80	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通+RC蓋	撤去新設(4枚細目)
006	校舎棟廻り南側	沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
007	校舎棟廻り南側	沈下		14.00	14.00			14.00	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(18枚細目)
008	校舎棟廻り南側	沈下		21.00	21.00			21.00	m	歩車道ﾌﾞﾛｯｸA型	撤去新設
009	校舎棟廻り東側	沈下、損傷		23.10	23.10			23.10	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通+RC蓋	撤去新設(8枚細目)
010	欠番										
011	欠番										
012	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
013	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	損傷		10.00	10.00			10.00	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通+RC蓋	撤去新設(1枚細目)
014	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	破損、沈下		10.50	10.50			10.50	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
015	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	破損、沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
015-1				2.70	2.70			2.70	m	VPﾊﾞｲﾌﾞﾙ150φ	撤去新設
015-2				2.00	2.00			2.00	m	VPﾊﾞｲﾌﾞﾙ100φ	撤去新設
016	ﾎﾞﾝﾌﾟ室廻り	破損、沈下		5.15+8.0	13.15			13.15	m	U形側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(9枚細目)
017	屋内運動場棟廻り東側	破損、沈下		4.00	4.00			4.00	m	U形側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(4枚細目)
		破損、沈下		4.00	4.00			4.00	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
018	屋内運動場棟廻り東側	破損、沈下		22.80	22.80			22.80	m	U形側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(細目)
		破損、沈下		10.60	10.60			10.60	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
019	屋内運動場棟廻り北側	破損、沈下		22.40	22.40			22.40	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
020	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		24.7+4.58	29.28			29.28	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
021	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(細目)
022	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		3.80	3.80			3.80	m	VPﾊﾞｲﾌﾞﾙ200φ	撤去新設
023	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(細目)
024	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		4.00	4.00			4.00	m	U形側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	撤去新設(4枚細目)
		破損、沈下		27.00	27.00			27.00	m	U形側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
025	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		34.50	34.50			34.50	m	地先境界ﾌﾞﾛｯｸA型	撤去新設(砕石共)
026	屋内運動場棟廻り西側	破損、沈下		10.50	10.50			10.50	m	歩車道ﾌﾞﾛｯｸA型	撤去新設(砕石共)
027	校舎棟周り北側	破損、沈下		1.00	1.00			1.00	m	現場打側溝W=300(蓋なし)	撤去新設
028	校舎棟周り北側	破損、沈下					1.00	1.00	か所	溜枳450角(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(細目)
028-1		破損、沈下		8.80	8.80			8.80	m	VS側溝(普通) 400×500	撤去新設(4枚細目)
029	校舎棟周り西側	破損、沈下		6.00	6.00			6.00	m	現場打側溝幅300(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)普通	撤去新設(6枚細目)
		破損、沈下		2.15	2.15			2.15	m	現場打側溝幅300(蓋なし)	撤去新設
030	※校舎棟周り南側	破損		25.00	25.00			25.00	m	現場打擁壁Aﾀｲﾌﾟ(蓋なし)H1500	撤去新設
				25.00	25.00			25.00	m	U字溝 W240	撤去新設
				25.00	25.00			25.00	m	CB積 t100 H600	撤去
				25.00	25.00			25.00	m	CB積 t100 H800	新設
				10.30	10.30			10.30	m	ｺﾝｸﾘｰﾄ土間t100 W500(ｺﾝｸﾘｰﾄﾀｯｸﾀｰ共)	撤去新設
				25.00	25.00			25.00	m	土砂 W500 H1070	撤去新設
				20.40	20.40			20.40	m	U字溝 W450	撤去新設
				20.40	20.40			20.40	m	U字溝蓋 橋鋼板(重鉛ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ付ﾀｯｸ)	新設
031	※校舎棟周り南側	破損		0.50	0.50			0.50	m	現場打擁壁Bﾀｲﾌﾟ(蓋なし)H1500	撤去新設
				0.50	0.50			0.50	m	U字溝 W240	撤去新設
				0.50	0.50			0.50	m	CB積 t100 H600	撤去新設
032	※校舎棟周り南側	破損		20.00	20.00			20.00	m	現場打擁壁Bﾀｲﾌﾟ(蓋なし)H1500	撤去新設
				20.00	20.00			20.00	m	U字溝 W240	撤去新設
				20.00	20.00			20.00	m	CB積 t100 H600	撤去新設
033	ﾌﾞﾛｰﾑﾛｰ	破損		30.05	30.05			30.05	m	L型250A乗入れ	撤去新設(砕石共)
				31.05	31.05			31.05	m	VS側溝(細目) 400×500	新設のみ(経路変更)
				32.05	32.05			32.05	m	地先境界ﾌﾞﾛｯｸA型	新設のみ(経路変更)
							1.00	1.00	か所	溜枳500角落込み(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ)細目	新設のみ(経路変更)
034	ﾌﾞﾛｰﾑﾛｰ	破損		5.80	5.80			5.80	m	現場打擁壁Cﾀｲﾌﾟ	撤去新設



工事仕様書（電気設備）

I. 工事概要

1. 工事名称

旧鵜巣小学校災害復旧工事

2. 工事場所

石川県輪島市大野阿蘇沢 地内

3. 完成期日

令和 年 月 日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日）対象部分（ ）
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）
(1.2.1(6))

4. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備考
旧鵜巣小学校	RC	3階建（地階 階、塔屋 階）		(7)	

5. 別契約の関連工事

・ 建築工事

・ 電気設備工事

・ 給排水衛生設備工事

・ 空調設備工事

・ 構内交換設備工事

・ 昇降機設備工事

・ 自家発電設備工事

・ 厨房機器設備工事

・ 屋外付帯工事

・ 植栽工事

6. 工事内容

鵜巣小学校災害復旧工事は、
屋外型キュービクル及びハンドホルの地盤沈下による傾斜復旧等を行うものである。
LED化については照明器具取り替えを行うものとし同機種及び同埋込み寸法を基本とする。

II. 工事仕様

1. 一般仕様

1）

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2）

機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印のものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
● 一般 共通 事項	1 工事実績情報	請負金額５，０００千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。 (1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。 (1.1.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－１によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。 (1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月１５日及び月末ごとに提出する。 (1.2.4)
	5 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事（・ 執務並行改修 ○ 全館無人改修） ・ 工事用車両の駐車場等時は図示による。 (1.3.3) (改1.3.3)
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの（・ ） ・ 特別管理産業廃棄物（・ PCB使用機器 ・ 廃石綿 ・ ） ・ 現場で再利用を図るもの（・ ） ・ 再資源化を図るもの（○ 蛍光ランプ ○ 電球 ○ H I D ・ 木材 ・ ） (1.3.9(2))
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。 (改1.4.3)

章

項目

特記事項

8 事前調査

PCB含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ○ 行わない（メーカー確認） (改1.5.2)

石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない

● 9 養生

1） 既存部分の養生範囲は、図示による。
(改1.7.1)

2） 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。
(改1.7.2)

10 撤去等

1） 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 燃料 ・
(改1.8.1)

2） 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。
(改1.8.6)

11 環境への配慮

1） 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。(1.4.1(1))
・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ 下塗用塗料（重防食） ・
(1.4.1(2))

2） 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。
(1.4.1(2))
① J I S又はJ A SのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のある J A S規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

一般

12 機材の品質等

1） 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
(1.4.2(1))

2） 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の首業体制が整えられていること。

共通

13 工事の創意工夫等

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
(1.5.6)

14 化学物質の濃度測定

建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない
(1.5.7)

測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

15 中間検査

中間検査の実施 ○ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下完了時 ・ ）
(1.6.2)

16 完成図

原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 3 部）提出する。
(1.7.2)

17 保全に関する資料

保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。
(1.7.3)
①建築物等の利用に関する説明書※
②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）
③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも）
④官公署届出書類
※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き
刊行のワウロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm

18 足場類

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。
(改2.2.2)

19 仮設間仕切・扉

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。
(改2.2.3)

20 仮設備

仮設備を ・ 設ける（図示による） ○ 設けない
(改2.14.1)

21 工事用電力等

○ 既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償） ・ 発電機又は北陸電力引込み等
(改2.2.4)

22 監督員事務所等

1) 監督員事務所を ☼ 設けない ・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度）〕
(2.1.1(1))

2) 監督員事務所に設ける備品等
○保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子
・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ ・
3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A3縮小 3 部）し、監督員事務所等に置く。

章

項目

特記事項

23 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）

・ 設置する

・ 設置しない（別途工事で設置等）

※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる
快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。

● 24 工事現場の表示板

工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例）
(2.1.1(9))

工 事 名	
工 期	自 年 月 日～至 年 月 日
発注者	輪島市教育総務課
設 計	（建築・設備委託業者名を記入）
監 理	（建築・設備委託業者名を記入）
施 工	建 築（施工業者名を記入）
	電 気（施工業者名を記入）
	機 械（施工業者名を記入）
この工事は、週休2日に取り組んでいます	

上段の地色は白色
文字は青色

下段の地色は青色
文字は白色

60cm
～75cm

90cm

25 埋め戻し土

※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂
(2.2.1)

一般 26 建設発生土の処理

・ 現場内で処理

・ 構内指示の場所に堆積

・ 構内指示の場所に敷き均し

・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。）

※ 指定（想定）搬出先 受入場所：
受入時間帯： 時 分～ 時 分
仮置き等：

27 塗装

次の金属露出配管（亜鉛めっき面を含む）は、塗装を行う。
(2.7.1)
○ 屋外 ○ 屋内（○ 居室 ・ 機械室 ・ ）

28 はつり

1） 放射線透過検査を ・ 行う ☼ 行わない（但し、鉄筋検査は行う。）
(改2.11.2)

2） 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。
(改2.11.3)

3） 溝はつり深さは、図示による。
(改2.11.4)

4） 防水箇所の貫通処理方法は図示による。
(改2.11.5)

29 あと施工アンカー

1） 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。
(改2.12.3)

2） 施工後確認試験（引張試験）を ○ 行う（ 箇所） ・ 行わない

共通 30 県内産材料

石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産するように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。

31 材料検査

請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。
・ 受変電機器 ・ 自家発電装置 ・ 照明器具類 ○ 配電盤類 ・ 避雷針
・ 通信機器 ・ 構内交換機器 ・ 接地材料 ・ ・

32 工事写真等の記録

1） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。
2） 請負契約約款第14条第3項に定める工事写真は次のとおり。
・ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程
・ 接地極埋設部 ・ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体内隠ぺい部
3） 区分による規格、枚数、部数は次による。

区 分	大きさ（mm）	撮 影 枚 数	部数	備 考
着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、
工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。
完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A4用紙に整理したもの

4） 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ☼ 建築写真撮影業者以外

5） 写真はA4版用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。

6） 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。

33 部分払いの対象工事材料

請負契約約款第37条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。
・ 機器 ・ 盤 ・ 配管、配線 ・ ・

34 火災保険等

請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで）
☼ 組立保険 ・ 建設工事保険

最終改訂 R7.10.1

工事名

旧鵜巣小学校災害復旧工事

番号

E－01

図面名

工事仕様書（電気設備）

3枚組

縮尺

設 計

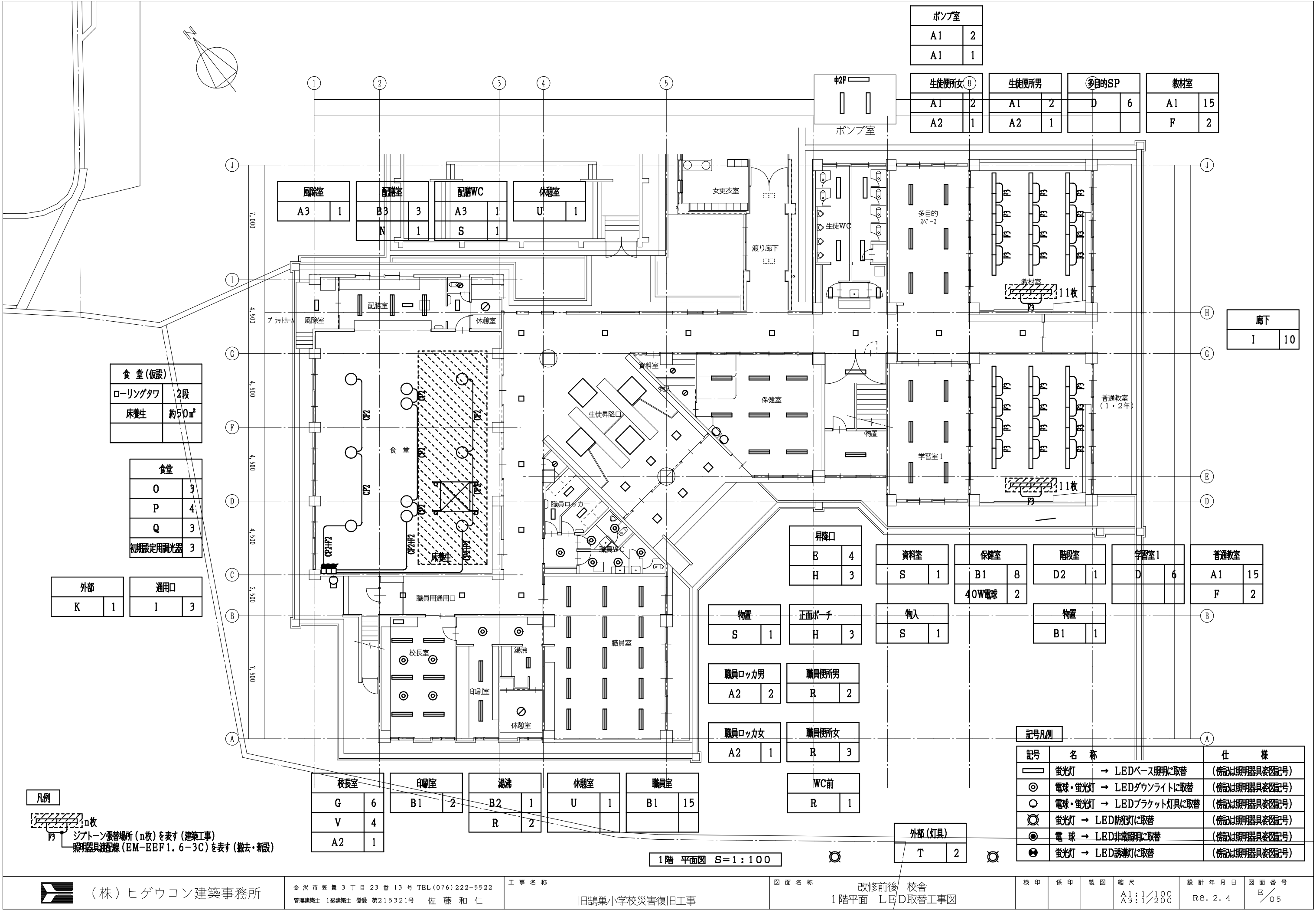
輪島市教育総務課

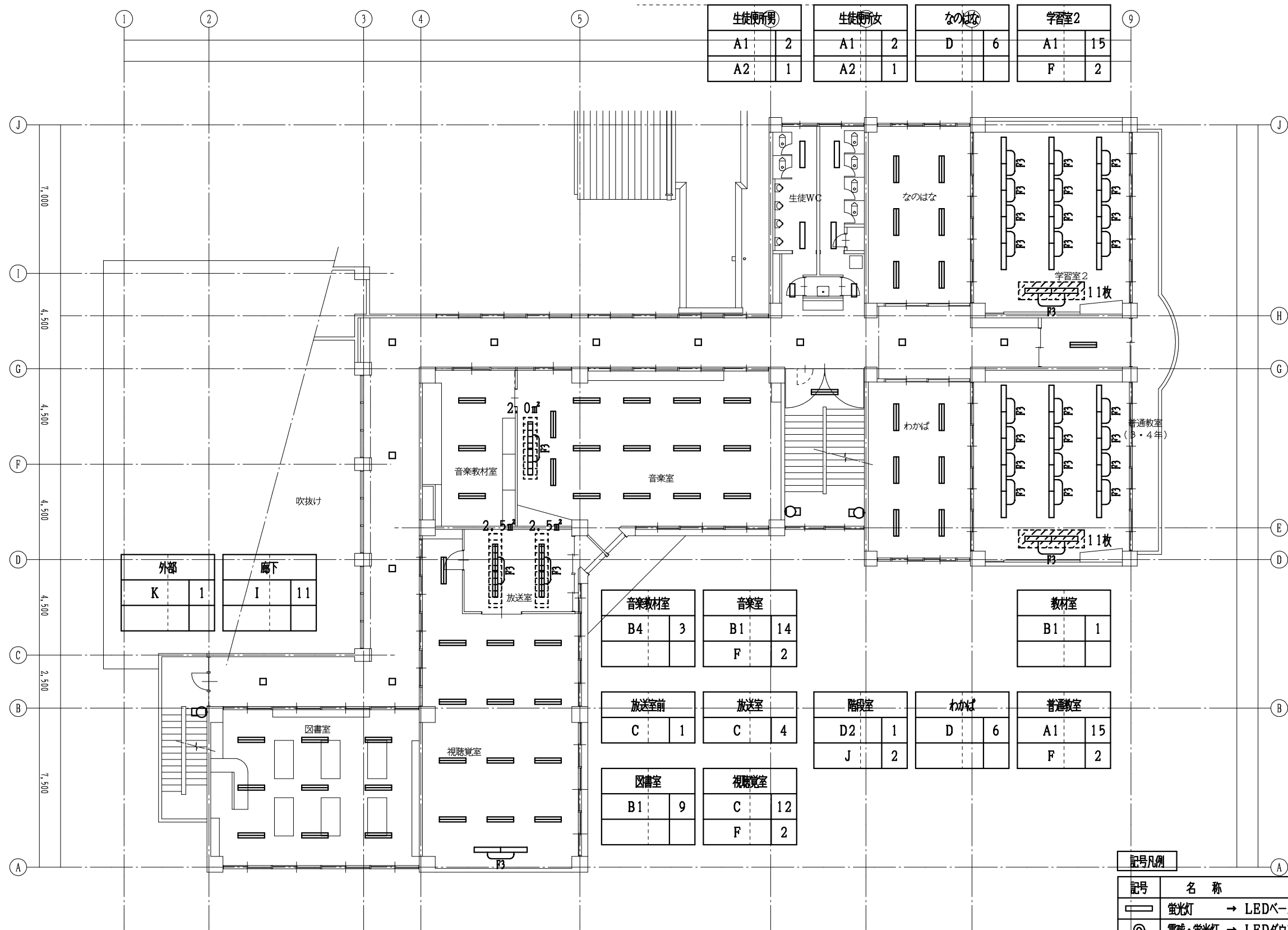
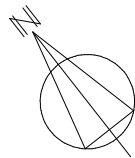
電気1

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
○その他	1 いしかわ週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義（様式）等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は月単位の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ・ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなでつくろう石川</div></div></div><div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div><div>未来への夢 「石川をつくる」 <div>みんなで つくろう 石川</div></div></div><div><div>壁掛型 H750×W900</div><div><div>未来への夢「石川をつくも」 みんなで作くろう石川</div></div></div></div> （注）看板のデザインは監督員に確認すること</div>			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

工事名	番号
旧鶴巣小学校災害復旧工事	E-03
図面名	縮尺
工事仕様書（電気設備） 3 / 3	――
設 計	輪島市教育総務課

LED照明器具参考図(新設)





凡例

- n枚
シフトン張替場所 (n枚) を表す (建築工事)
照明器具減配線 (EM-EEF1.6-3C) を表す (撤去・新設)
- x㎡
石膏ボード張替面積 (x㎡) を表す (建築工事)
照明器具減配線 (EM-EEF1.6-3C) を表す (撤去・新設)

2階 平面図 S=1:100

記号凡例

記号	名 称	仕 様
□	蛍光灯 → LEDベース照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
◎	電球・蛍光灯 → LEDダウンライトに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
○	電球・蛍光灯 → LEDブラケットに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
●	電 球 → LED非常照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
⊙	蛍光灯 → LED誘導灯に取替	(傍記は照明器具姿図記号)



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL(076)222-5522
管理建築士 1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

改修前後 校舎
2階平面 LED取替工事図

検印

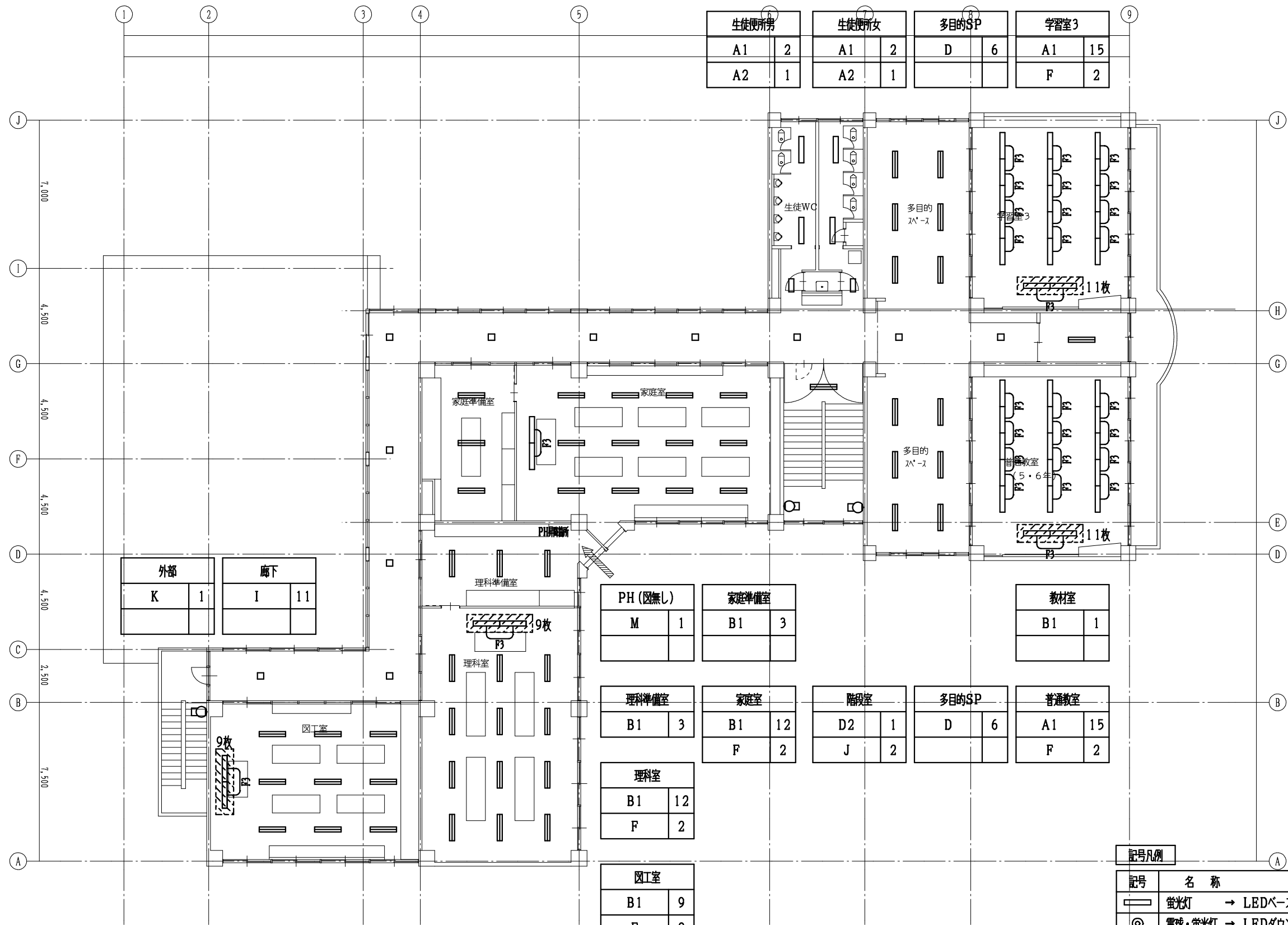
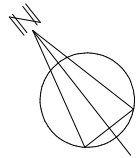
係印

製図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

設計年月日
R8.2.4

図面番号
E/06



凡例

- 11枚
シフトン張替場所 (n枚) を表す (建築工事)
照明器具撤去線 (EM-EEF1. 6-3C) を表す (撤去・新設)

3階 平面図 S=1:100

記号凡例

記号	名 称	仕 様
→	蛍光灯 → LEDベース照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
◎	電球・蛍光灯 → LEDダウンライトに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
○	電球・蛍光灯 → LEDブラケットに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
●	電 球 → LED非常照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
⊙	蛍光灯 → LED誘導灯に取替	(傍記は照明器具姿図記号)



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL(076)222-5522
管理建築士 1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

改修前後 校舎
3階平面 LED取替工事図

検印

係印

製図

縮尺

A1:1/100
A3:1/200














設計年月日

R8. 2. 4


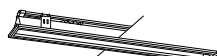




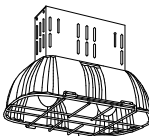
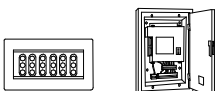
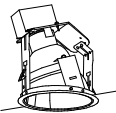


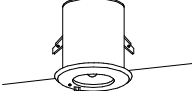
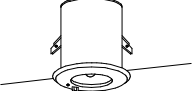

図面番号

E/07

LED照明器具参考図（新設）

A	LSS10-4-30-LN	B	LRS6-4-37-LN	C	埋込型40形	D	LEDスクエア 埋込型	E	直付型40形 反射笠付型	F	LBF3MP/RP-2-06-LN	G	高天井用照明器具 MH1000形
A2	LSS1-4-23-LN												
			 <p>マルチコンフォート 一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板、ルーバ：鋼板（高反射白色粉末塗装） 反射板：鋼板（高反射白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 光束（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XFPX445BEN類（図説寸法重視）</p>	 <p>□275、マルチコンフォート15 電圧：100～242V 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%）、Ra：83 本体：亜鉛鋼板（高反射白色粉末塗装） パネル：アクリル（乳白） ルーバ：鋼板（高反射白色粉末塗装） 白色（4000K） パナソニック 埋込XL553LWUKLE9</p>	 <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 光束（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XFX460KENLE9</p>		 <p>（一般H形鋼の吊り金具施工例） ×2/箇所 光束42300lm、消費電力231.2W、電圧200～242V 光束（5000K）、Ra70、PiPit調光、広角タイプ、直付型 光束維持時間60000時間（光束維持率85%）、電圧調整 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛鋼板 約5～100%連続調光、落下防止ワイヤー付 器具本体（4.7kg） パナソニック NYM20255RZ2</p>						
H	オートリフター制御盤	I	傾斜天井ダウンライト 150形	J	SH1-FBF20-BL	K	SH1-FBF20-BL	L	K1-LRS11-2	M	K1-LRS11-3	N	K1-LSS11-3
	<div>撤去</div>	 <p>※ リニューアルプレートφ175共 LED内蔵くワソコア（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵 4000K、Ra85、拡散タイプ 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1420lm、消費電力：12.4W 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミダイカスト（シルバーメタリックつや消し上） 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 パナソニック ダウンライトXND1561AWLE9</p>		 <p>ガード含む</p>									
												納品	PiPitハンディライコン：2個
													G：高天井用照明器具、MH1000形用の調光装置 ライコンを接続することにより個別で調光出来るものとする （試験・初年度測定調査含む）

既設照明器具参考図（撤去）

A	FHF 32W×1 直付 (V型)	B	FHF 32W×1 埋込下面開放	C	FHF 32W×2 埋込下面ルーバ	D	FHP 23W×3 埋込下面ルーバ	E	FHF 32W×1 反射笠付	F	FL 20W×1 ブラケット	G	MF 400W+NH 360W 直付
A2	FHF 32W×1 吊下												
													
FSS9-321-PHH		FRS15-321-PHH		FRS15L5-322-PHH				FSR2-321-PHH		FBF2RP-201		昇降装置電源は端火処理まで 制御装置/制御スイッチは撤去 (安定器は保留)は撤去	
H	オートリフター制御盤	I	150Wダウンライト (斜天井用)	J	冷陰極蛍光灯×1 避難口誘導灯 (片面)	K	冷陰極蛍光灯×1 避難口誘導灯 (片面)	L	JE 3.6V 13W (非常照明)	M	JE 3.6V 30W (非常照明)	N	JE 8.4V 30W (非常照明)
													
6回路用				SH1-FBF20-BL		SH1-FBF20-BL+ガード付		K1-IRS4-J13		K1-IRS4-J30		K1-ISS4-J30	



(株)ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL(076)222-5522
管理建築士 1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称
旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称
改修前後 体育館 照明器具姿図

検印

係印

製図

縮尺

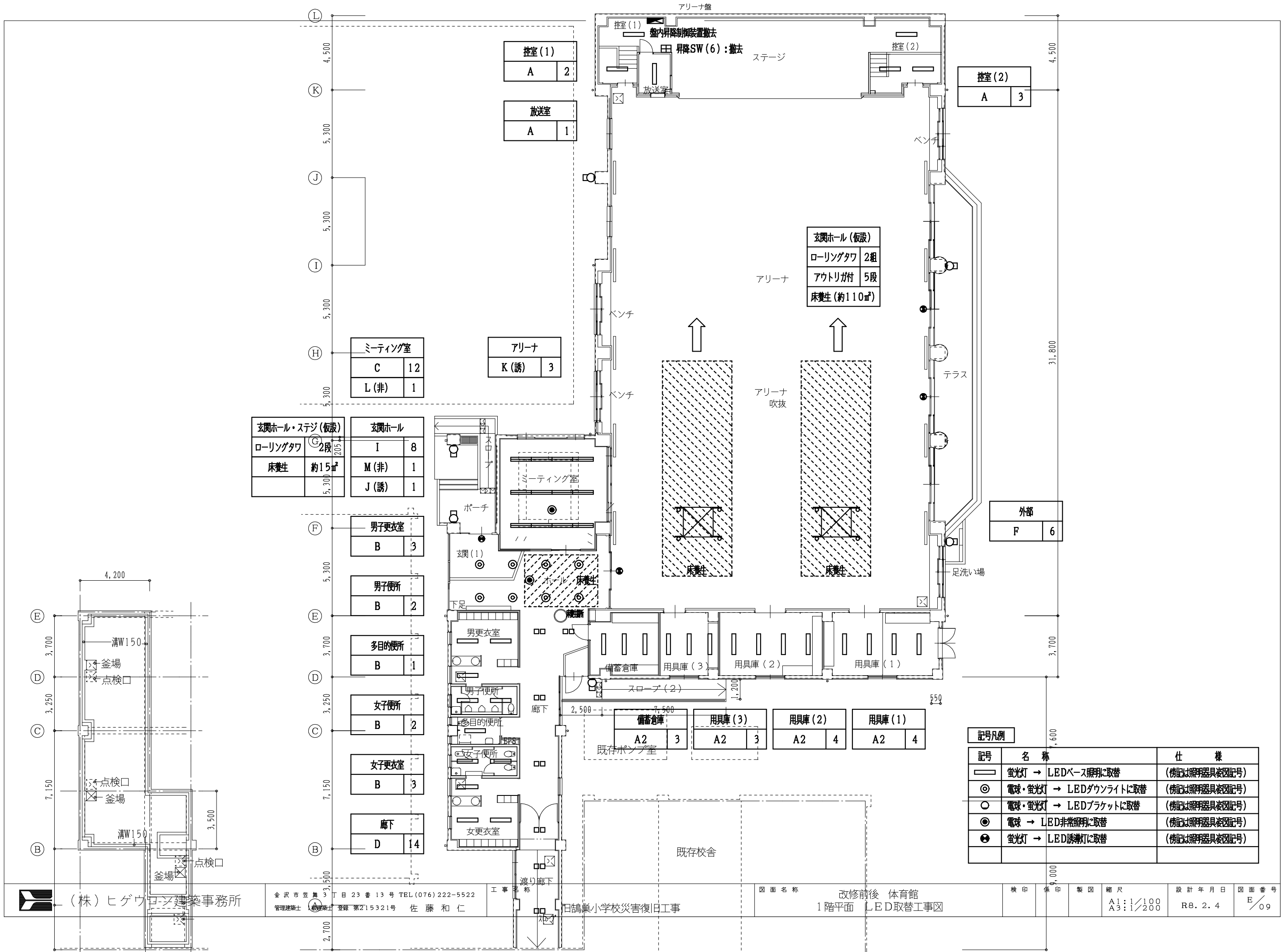
A3:N.S

設計年月日

R8.2.4

図面番号

E/08



玄関ホール・ステージ (仮設)	
ローリングタワ	G 2段
床養生	約15㎡

玄関ホール	
I	8
M (非)	1
J (誘)	1

男子更衣室	
B	3

男子便所	
B	2

多目的便所	
B	1

女子便所	
B	2

女子更衣室	
B	3

廊下	
D	14

控室 (1)	
A	2

放送室	
A	1

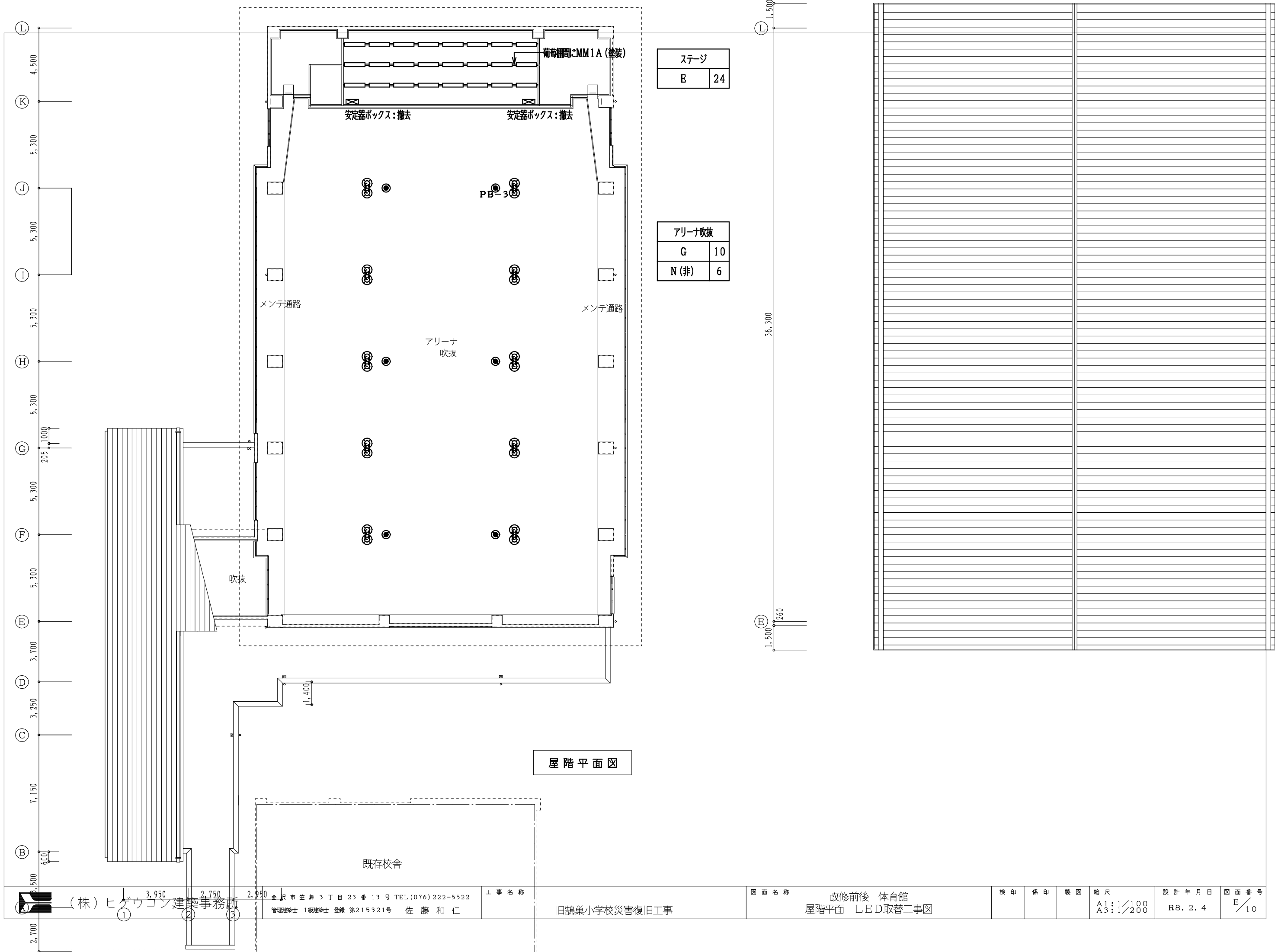
アリーナ	
K (誘)	3

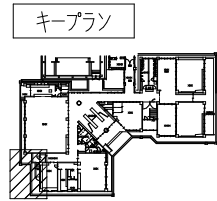
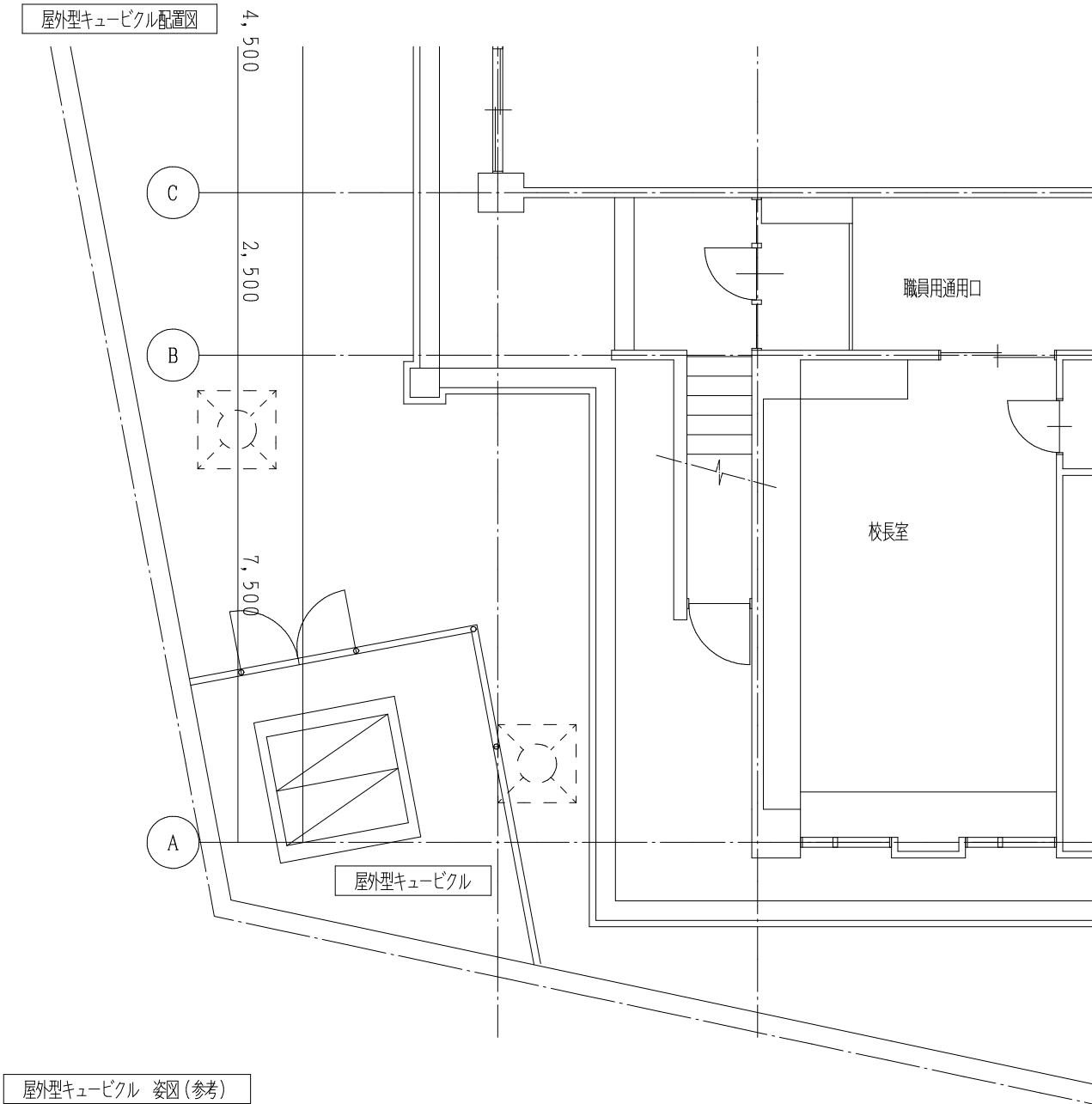
控室 (2)	
A	3

玄関ホール (仮設)	
ローリングタワ	2組
アウトリガ付	5段
床養生 (約110㎡)	

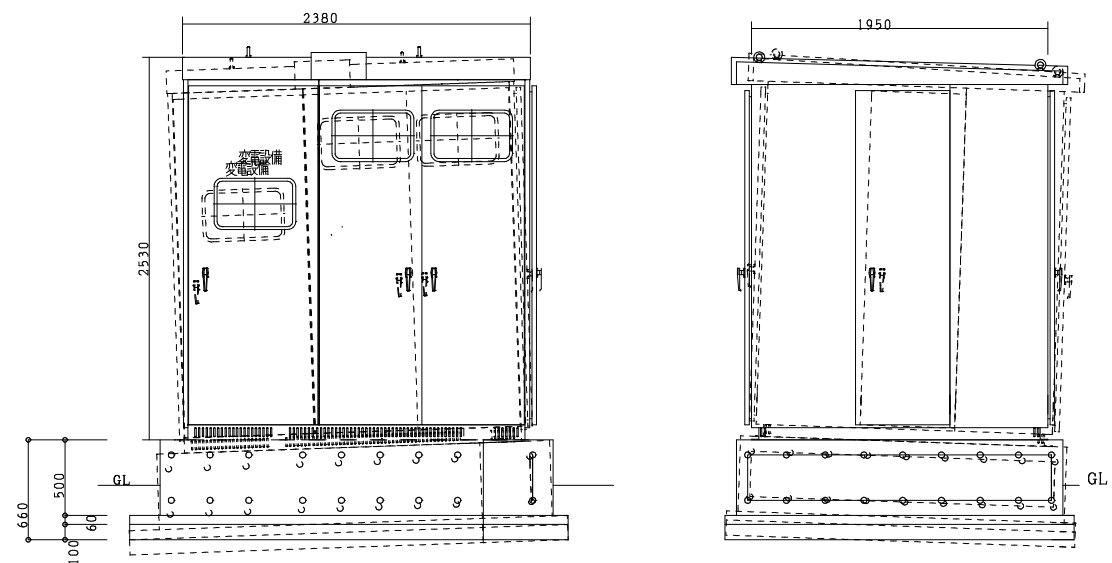
外部	
F	6

記号	名称	仕様
—	蛍光灯 → LEDベース照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
◎	電球・蛍光灯 → LEDダウンライトに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
○	電球・蛍光灯 → LEDブラケットに取替	(傍記は照明器具姿図記号)
●	電球 → LED非常照明に取替	(傍記は照明器具姿図記号)
⦿	蛍光灯 → LED誘導灯に取替	(傍記は照明器具姿図記号)





屋外型キュービクル 姿図 (参考)



災害復旧工事 1) 屋外型キュービクル復旧工事

機器	仕様
キュービクル	屋外型
変圧器	単相3線75kVA
変圧器	三相3線150kVA
寸法 (約)	幅 (900+1400) ×奥行き1950×高さ2500
重量 (約)	3,000kg (変圧器含む)
工事概要	地震による基礎傾斜を改修復旧
工事方法 (案)	ジャッキ等で基礎から切離し傾斜修繕後復旧する 既設樹脂アンカー (M16) 使用

災害復旧工事 2) 防雨入線カバー

機器	仕様
外部入線カバー	屋上階: 落下による取替
種類	樹脂形

災害復旧工事 3) ハンドホール修繕 (Cub/校舎側)

機器	仕様
ハンドホール	ブロック形上部取替 他
場所	キュービクル側 校舎側
種類	H2-9 ×2箇所



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL(076)222-5522
管理建築士 1級建築士 登録 第215321号 佐藤 和 仁

工事名称

旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称

キュービクル改修等災害復旧工事

検印

係印

製図

縮尺

A3:N.S

設計年月日

R8.2.4

図面番号

E/11

工 事 仕 様 書 （機械設備）

I. 工事概要

1. 工 事 名 称 旧鹄巢小学校災害復旧工事

2. 工事場所 輪島市大野町地内

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 (余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。)

指定部分	・ 無	・ 有 (指定期日: 令和 年 月 日)	対象部分 ()
概成工期	・ 無	・ 有 (令和 年 月 日)		(1.2.1(6))

4. 建物概要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
鴻巣小学校	R C造	3階建(地階 階、塔屋 1階)			

5. 別契約の関連工事

・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事 ・ 空調調和設備工事 ・ 構内交換設備工事
・ 昇降機設備工事 ・ 自家発電設備工事 ・ 厨房機器設備工事 ・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事

6. 工事内容

冷暖房設備工事・・・図示の位置の室外機の取外し再取付、及び室内機と室外機の更新工事を行う。

換気設備工事・・・食堂のサイクルファンの更新工事を行う。

給水設備工事・・・図示の位置の給水管の更新工事及び足洗い場の水栓の更新工事を行う。

排水通気設備工事・・・図示の位置の排水管及び樹の更新工事を行う。

ガス設備工事・・・プロパンボンベ庫の更新工事を行う。

油設備工事・・・既存オイルタンク通気配管の撤去を行う。

厨房設備工事・・・配膳室の厨房機器の取外し再取付を行う。

Ⅱ. 工事仕様

1. 一般仕様

- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。
2. 特 記 仕 様
- 章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5 施工条件	・ 新築工事 ・ 改修工事（・ 執務並行改修 ・ 全館無人改修）(1.3.3) ・ 工事用車両の駐車場所等は図示による。(改1.3.3) ・ ・
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの（・ ）(1.3.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物（・ 廃石棉（エルボ保温、パッキン） ・ ） ・ 現場で再利用を図るもの（・ ） ・ 再資源化を図るもの（・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・ ）
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

●

一

般

8 事前調査

9 養生

10 撤去等

11 環境への配慮

12 機材の品質等

13 一級技能士の適用

14 工事の創意工夫等

15 化学物質の濃度測定

16 中間検査

17 完成図

18 保全に関する資料

19 足場類

20 工事用水等

21 仮設間仕切・扉

●

共通事項

石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。
2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油
2) 石綿の撤去は、図示による。
3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。
・ 吸収冷温水機 ・ 水蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ
・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ・ 下塗用塗料（重防食）
・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓
2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。
① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。
2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。
3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。
4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称			
ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク
温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置
冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器
冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄製製ふた

・ 配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）
・ 熱絶縁施工（保温保冷工事） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備）
・ 冷凍空調調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空調調和機据付け、整備及び冷媒配管）

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

建築物の室内空气中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

中間検査の実施 ・ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下地完了時 ・ ）

原因及び製本（等倍 1部、A3縮小 2部）提出する。

保全に関する資料は次のとおり、 2部提出する。
①建築物等の利用に関する説明書※
②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）
③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも）
④官公署届出書類
※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き
手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/ki_jun_kentikubuturiyou_tebiki.htm

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

・ 既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・ 水道局引込み等

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定
・ 飲料水の水質測定（・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所）
・ 雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）

章	項 目	特 記 事 項																																																																																										
●		2) 請負契約約款第 1 4 条第 3 項に定める工事写真は次のとおり。 ・ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程 ・ 保温工程 ・ 天井、トレンチ内の隠べい箇所 ・ 躯体スリーブ 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 <table><tr><th>区 分</th><th>大きさ(mm)</th><th>撮 影 枚 数</th><th>部数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>着工前</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事期間中は現場事務所に整理保管し、</td></tr><tr><td>工事中</td><td>85×115程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事完成時に提出する。</td></tr><tr><td>完成時</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>A 4 用紙に整理したもの</td></tr></table> 4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外 5) 写真は A 4 用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断で きる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。 請負契約約款第 3 7 条第 1 項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ・ 器具 ・ 配管 16 部分払いの対象 工事材料 17 火災保険等 請負契約約款第 4 9 条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ※ 組立保険 ・ 建設工事保険 18 耐震施工 次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」による。 (3-2.1.1(5)) 1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）</th></tr><tr><th>特定の施設</th><th>一般の施設</th></tr><tr><td></td><td>・ 耐震クラス S</td><td>・ 耐震クラス A</td></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5 < 2. 0 ></td></tr><tr><td>中間階</td><td>1. 5</td><td>1. 0 < 1. 5 ></td></tr><tr><td>一階及び地下階</td><td>1. 0 (1. 5)</td><td>1. 0</td></tr></table> 注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持 する機器等は直上階を適用する。 注2 上層階は、2～6 階建の場合は最上階、7～9 階建の場合は上層 2 階、10～12 階建の場 合は上層 3 階、13 階建以上の場合は上層 4 階とする。 注3 () 内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< > 内 の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。 2) 地域係数は 1. 0 とする。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1／2 とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 1 k N 以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し 据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。	区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）		特定の施設	一般の施設		・ 耐震クラス S	・ 耐震クラス A	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >	一階及び地下階	1. 0 (1. 5)	1. 0																																																					
	区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考																																																																																							
	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、																																																																																							
	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。																																																																																							
	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの																																																																																							
	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）																																																																																										
		特定の施設	一般の施設																																																																																									
		・ 耐震クラス S	・ 耐震クラス A																																																																																									
	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >																																																																																									
	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >																																																																																									
一階及び地下階	1. 0 (1. 5)	1. 0																																																																																										
共	19 名札の義務	請負金額 1 0, 0 0 0 千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き 名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。 <table><tr><td>55mm</td><td>10mm</td><td>7mm</td><td>16mm</td><td>2mm</td><td>13mm</td><td>42mm</td><td>2mm</td><td>30mm</td><td>2mm</td><td>91mm</td><td>7mm</td><td>40mm</td><td>8mm</td><td>2mm</td></tr><tr><td colspan="15"><table><tr><td colspan="10">○○建設業社員証</td><td colspan="5">(顔写真)</td></tr><tr><td colspan="10">氏名 △ △ 太 郎</td><td colspan="5">カラー写真</td></tr><tr><td colspan="10">発行日 令和 年 月 日</td><td colspan="5">貼 付</td></tr><tr><td colspan="10">代表者 □□建一</td><td colspan="5">代表印</td></tr></table></td></tr></table>	55mm	10mm	7mm	16mm	2mm	13mm	42mm	2mm	30mm	2mm	91mm	7mm	40mm	8mm	2mm	<table><tr><td colspan="10">○○建設業社員証</td><td colspan="5">(顔写真)</td></tr><tr><td colspan="10">氏名 △ △ 太 郎</td><td colspan="5">カラー写真</td></tr><tr><td colspan="10">発行日 令和 年 月 日</td><td colspan="5">貼 付</td></tr><tr><td colspan="10">代表者 □□建一</td><td colspan="5">代表印</td></tr></table>															○○建設業社員証										(顔写真)					氏名 △ △ 太 郎										カラー写真					発行日 令和 年 月 日										貼 付					代表者 □□建一										代表印				
	55mm	10mm	7mm	16mm	2mm	13mm	42mm	2mm	30mm	2mm	91mm	7mm	40mm	8mm	2mm																																																																													
	<table><tr><td colspan="10">○○建設業社員証</td><td colspan="5">(顔写真)</td></tr><tr><td colspan="10">氏名 △ △ 太 郎</td><td colspan="5">カラー写真</td></tr><tr><td colspan="10">発行日 令和 年 月 日</td><td colspan="5">貼 付</td></tr><tr><td colspan="10">代表者 □□建一</td><td colspan="5">代表印</td></tr></table>															○○建設業社員証										(顔写真)					氏名 △ △ 太 郎										カラー写真					発行日 令和 年 月 日										貼 付					代表者 □□建一										代表印																					
	○○建設業社員証										(顔写真)																																																																																	
	氏名 △ △ 太 郎										カラー写真																																																																																	
	発行日 令和 年 月 日										貼 付																																																																																	
	代表者 □□建一										代表印																																																																																	
	通	20 退職金共济制度	受注者は建設業退職金共济制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後 1 ヶ月以 内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。																																																																																									
		21 過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長し ないようにする。 4) 取引関係のあるダンクカー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等 運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に 害することのないようにする。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 4 2 年 8 月 2 日法律第 1 3 1 号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 1 2 条に規定する団体 等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1) から 6) につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。 22 景観への配慮 本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した 施工に努める。 ・ 重点事業 ・ 一般事業 23 総合評価方式に おける技術提案 「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を 本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の 確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。 24 電子納品 ※ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品 するものである。 ここでの電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマット に基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th colspan="2">名 称</th></tr><tr><td colspan="2">営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）</td></tr><tr><td colspan="2">官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）</td></tr></table> 基準・要領額のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.htm	名 称		営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）		官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																																																																				
		名 称																																																																																										
営繕工事電子納品要領（令和 3 年改定）																																																																																												
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和 4 年改定）																																																																																												
事																																																																																												
項																																																																																												

章	項 目	特 記 事 項					
●	25 公共事業労務費 調査の協力	2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又は ＢＤ－Ｒで１部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、 次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、 その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台 帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請 負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任を もって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）					
		26 事故の補償					
●	1 煙道	ばい煙濃度計取付座、ばいじん量測定口、伸縮継手及び掃除口は図示による。 (1.1.2)					
	2 冷媒	パッケージ形空気調和機等の冷媒の種類は、図示による。 (1.7.5.15)					
	3 ダクト	1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト (1.14.3.1～2) ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） 2) 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の１ランク厚いものを使用する。 (1.14.3.5) 消音内貼りを施すチャンバーは、図示による。 (1.14.6.(1))					
	4 チャンバー						
	5 風量測定口	取り付け位置は、図示による。 (2.2.5.5)					
	6 基礎	防振基礎は、図示による。 (2.1.1(3))					
	7 配管材料	1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (2-2.1.2.1) 2) 冷却水管 ・ ポリ粉末ライニング鋼管(PB) ・ 3) 蒸気管 給気管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ※ 配管用炭素鋼鋼管(黒) (2-2.1.2.2) 還管 ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ 4) 油管 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PE1H)) 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV) 5) 冷媒配管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 銅管 (2-2.1.2.4) 6) 空調用ドレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2-2.1.2.6) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(屋内露出を除く) 7) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラーへの給水管は配管用炭素鋼鋼管(白)とする。 銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 (2-2.2.7.1)					
	8 伸縮管継手						
	9 瞬間流量計	・ 着脱形 ・ 固定形 を設ける。 (2-2.3.8)					
	10 保温	1) 還りダクト（ＲＡダクト）の保温範囲は図示による。 (2-3.1.4) 2) 外気取入れダクト（ＯＡダクト）の保温範囲は図示による。 3) 外壁１ｍ以内のダクト及び多湿箇所（図示の範囲）のダクトは保温（２５mm厚）を行う。 4) 膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、温水管の項による。 5) 建物内の空気抜き管の保温は、温水管の項による。 6) 冷媒管の保温外装は次表による。 <table><tr><td>屋外露出</td><td>・ 合成樹脂製カバー</td><td>・ 保温化粧ケース</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>◎ ステンレス鋼板</td><td>・ 保温化粧ケース</td></tr></table>	屋外露出	・ 合成樹脂製カバー	・ 保温化粧ケース	屋外露出	◎ ステンレス鋼板
屋外露出	・ 合成樹脂製カバー	・ 保温化粧ケース					
屋外露出	◎ ステンレス鋼板	・ 保温化粧ケース					
●	11 冷媒(フロン類) の回収	1) 業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン排出 抑制法」の対象となっている機器 (改2.4.3) ◎ 「第一種フロン類充填回収業者登録通知書」の写しを提出する。 ・ 「フロン類引取証明書」を提出する。 2) 家庭用エアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器 ・ 「特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサクル券)」の写しを提出する。					
	○ 自動制御設備	1 システム構成 図示による。 (1.1.1(2)) 2 電源装置 無停電電源装置は、図示による。 (1.4.2.9) (1.5.1)(2.3.1) 3 電気計装用配線 原則、配線はＥＭケーブル等とし、天井隠ぺい部は、図示がなければケーブル配線とする。					
○	給排水衛生設備	1 水栓 水抜栓を使用する系統の水栓は、固定こま式とする。台所流し水栓は泡沫式とする。 (1.1.6)					
	2 量水器	1) ・ 親メーター（ ・ 貸与品 ・ 買取 ） ・ 子メーター（ ・ 買取 ・ ） (2-2.2.16) 2) 量水器枠 ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取 ） ・ 標準図 Ⅲ Ｃ形 (1.8.4)					
	3 汚水用 水中ポンプ	水中ケーブルの長さは、図示による。 (1.2.7)					
	4 タンクの保温	ステンレス鋼板製タンクの保温を ・ 行う ・ 行わない (1.4.2.4)(1.4.2.5)					

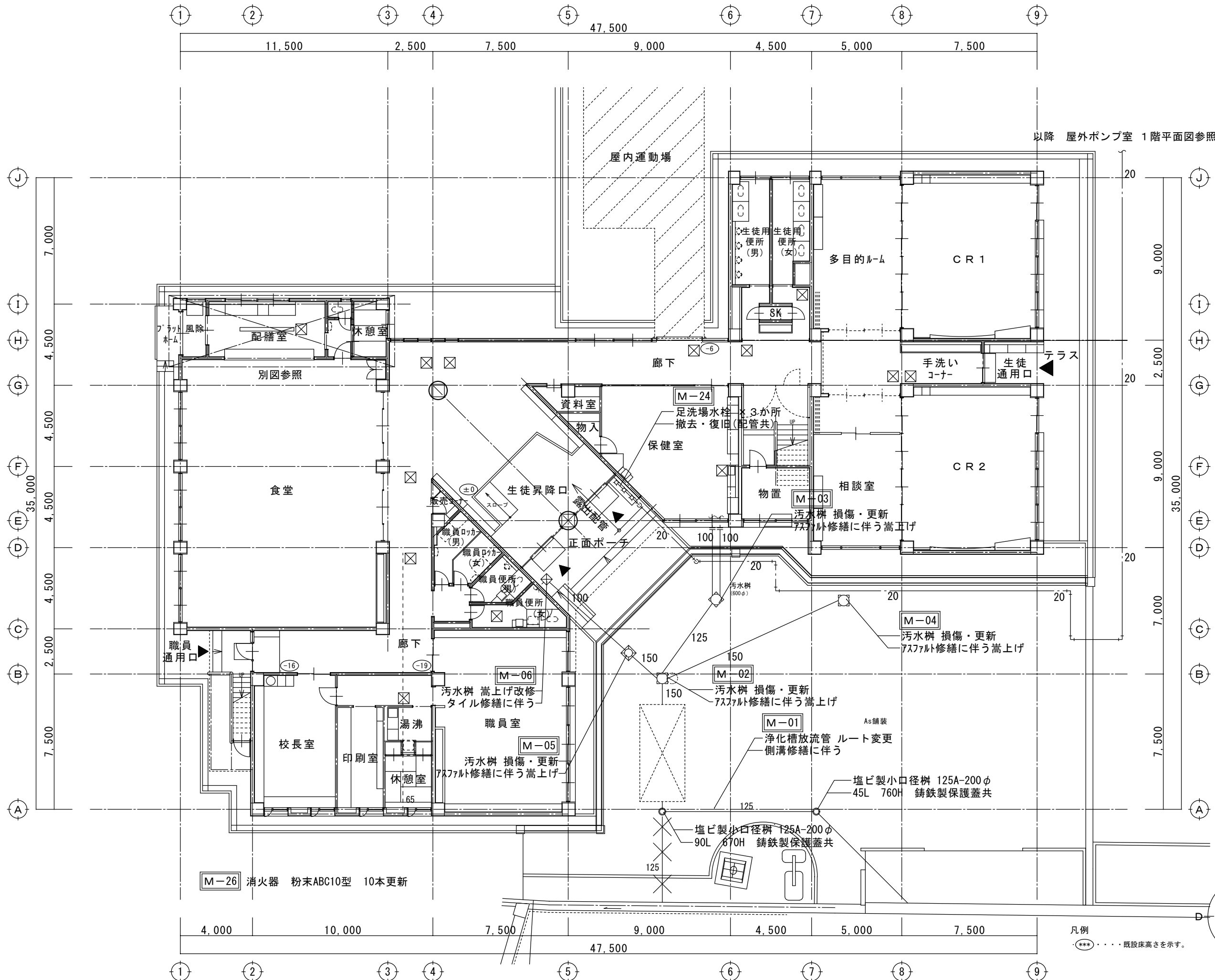
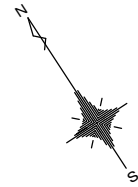
章	項 目	特 記 事 項
●	給 水 衛 生 設 備	5 緊急遮断弁装置
		6 配管材料
		7 洗面器等の排水管
		8 満水試験継手
		1 配管材料
		2 メーター
		3 ガス漏れ警報器
		4 その他
		○ 1 配管材料等
		2 山留め
		3 維持管理
●	ガ ス 設 備	1) 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2.1.1)(3.1.1) 2) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PE1H)) ・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋外露出、暗渠 ◎ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)
		◎ 親メーター(◎ 貸与品 ・) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2.1.7)(3.1.3.4)
		・ 本工事（図示による） ・ 別途工事 (2.1.3)(3.1.3.6)
		ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ポンベの転倒防止措置は、図示による。
		1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 (2.1.27) 2) 管材や弁類は、図示による。 (2.1.30)
		山留め壁 ・ 要（図示による。） ・ 不要 (2.2.1(9))
		工事引渡後 6 ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7 条検査を受検し、その報告を行う。 (2.2.2)
●	浄 化 槽 設 備	(別表－1) 他工事との取り扱い
		工 事 内 容
		機 械
		電 気
		建 築
		備 考
		開 口 部
		はり、床、壁の貫通部 (R C 造)
		スリーブ、仮枠、穴埋共
		補 強 筋
●	給 水 衛 生 設 備	天井、壁の切り込み
		ボ ー ド 類 切 込 み
		下 地 補 強
		外部取付ガラリ（ダクト、チャンパの接続用フランジを含む）
		レンジフードファン、フード（取付枠共）及び流し台（排水トラップ共）
		洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり
		下流し、足洗い場及び玄関の排水
		床、天井、壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋
		屋内外設備（受水槽、ポンプ等）の基礎
		屋上設備の基礎
●	電 気 配 線	地下油タンク室等のコンクリート工事
		油サービスタンクの防油堤
		ボイラーの煙突及びブロパンボンベ庫（既製のものは機械）
		実験台(陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む)
		実験台への配管及び配管接続
		機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）
		機器付属の制御盤への電源供給の配管配線
		制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線
		機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線

工事名	旧鶴巣小学校災害復旧工事	番号	M－2
図面名	工事仕様書（機械設備）	2／3	縮尺
設 計			

輪島市教育総務課

章 項 目 特 記 事 項			章 項 目 特 記 事 項		
その他	○ 1 いしかわ週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日（4週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（4週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ・ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつこう石川</div></div></div><div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div><div>未来への扉 「石川をつくる」 <div>みんなで つこう 石川</div></div></div></div><div><div>壁掛型 H750×W900</div><div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつこう石川</div></div></div></div> <div>（注）看板のデザインは監督員に確認すること</div>			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/ki jun/ki jun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

工事名	旧鶴巣小学校災害復旧工事	番号	M－3
図面名	工事仕様書（機械設備）	3／3	縮尺 _____
設 計	輪 島 市 教 育 総 務 課		



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士 登録 第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工 事 名 称

旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称

校舎棟 給排水設備 1階平面図

検 印

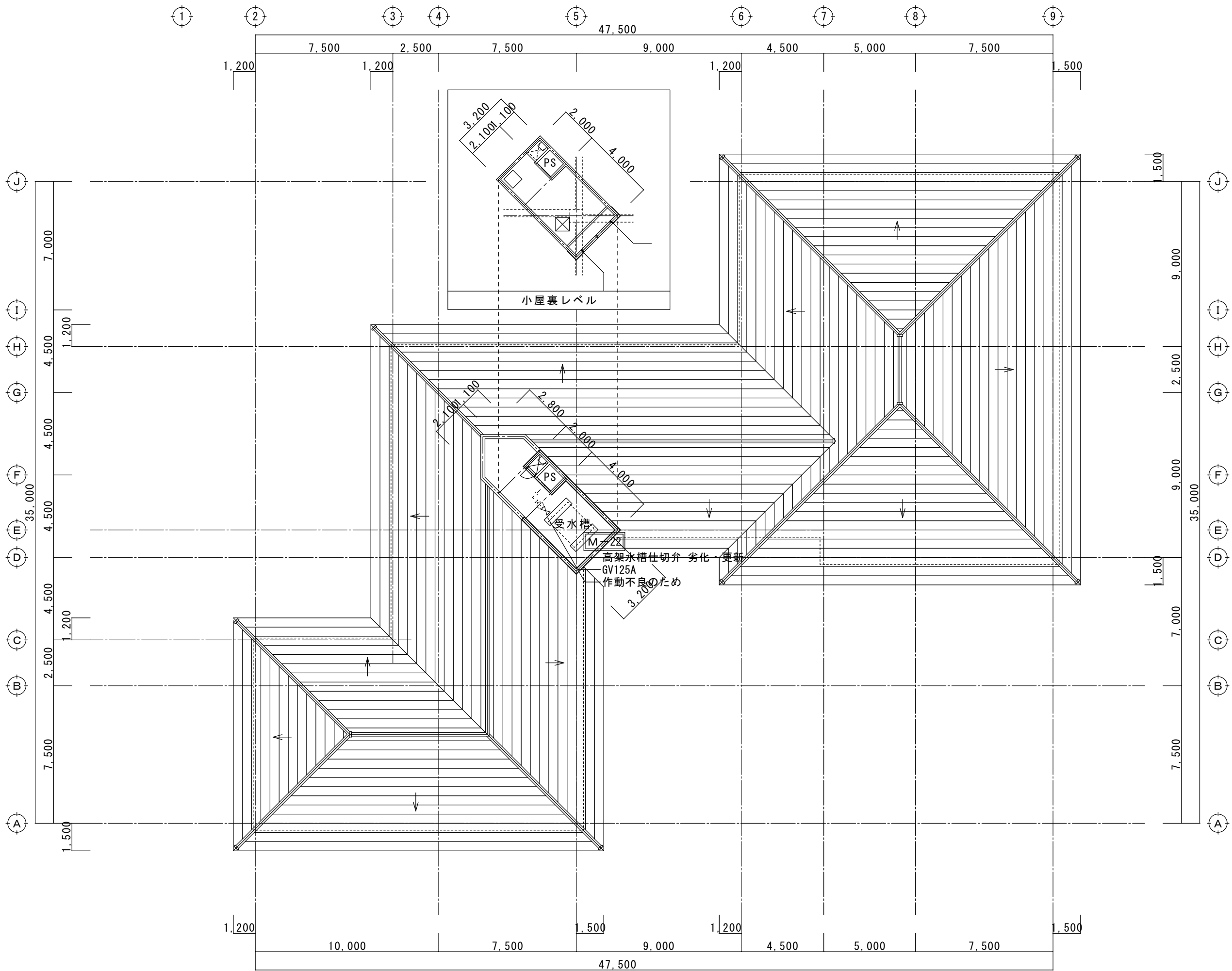
係 印

製 図

縮 尺
A1:1/100
A3:1/200

設 計 年 月 日
R8.2.4

図 面 番 号
M / 4



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士 登録 第215321号

TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工 事 名 称

旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称

校舎棟 給排水設備 屋根伏図

検 印

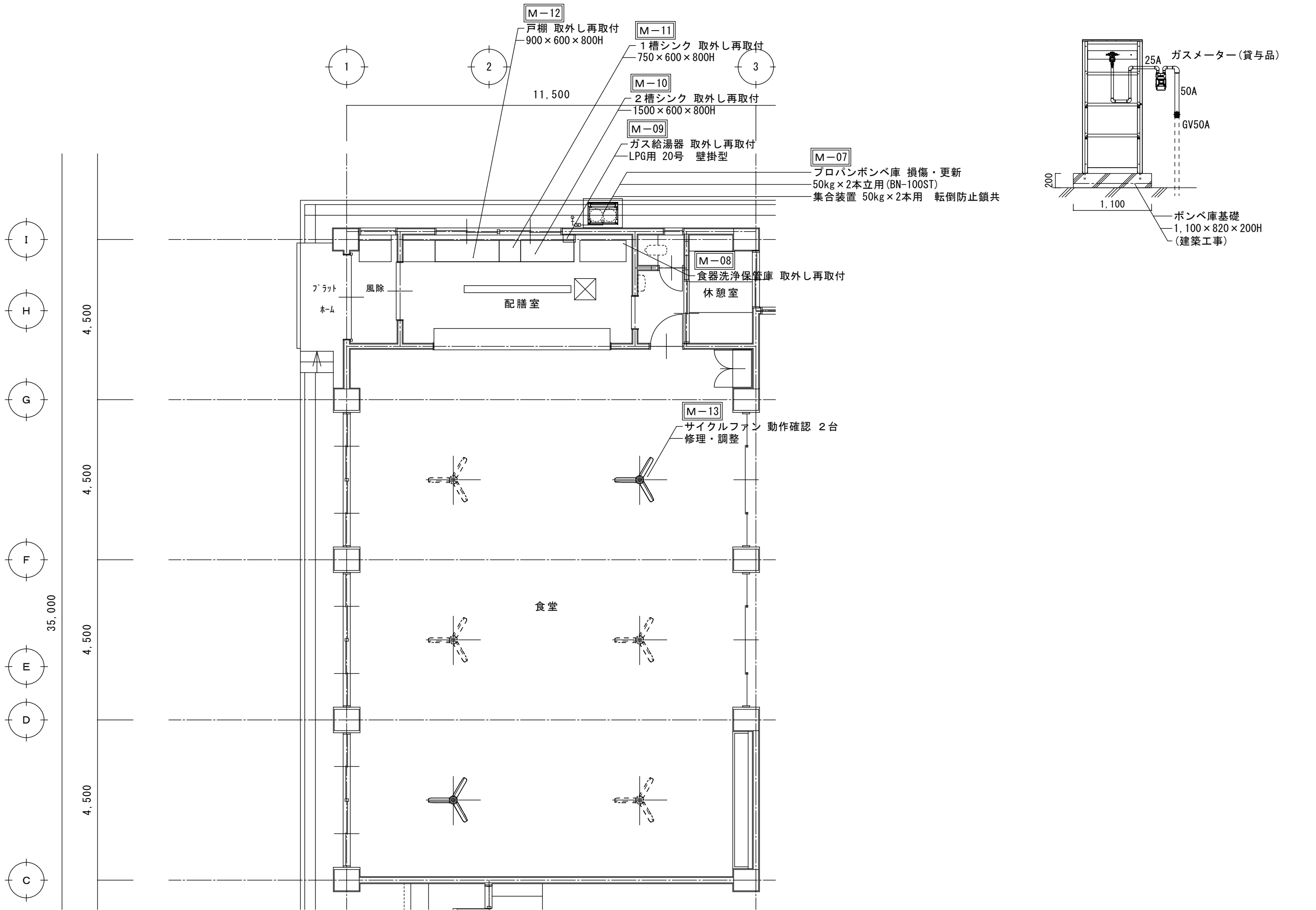
係 印

製 図

縮 尺
A1:1/100
A3:1/200

設 計 年 月 日
R8.2.4

図 面 番 号
M / 5



(株) ヒゲウコン建築事務所

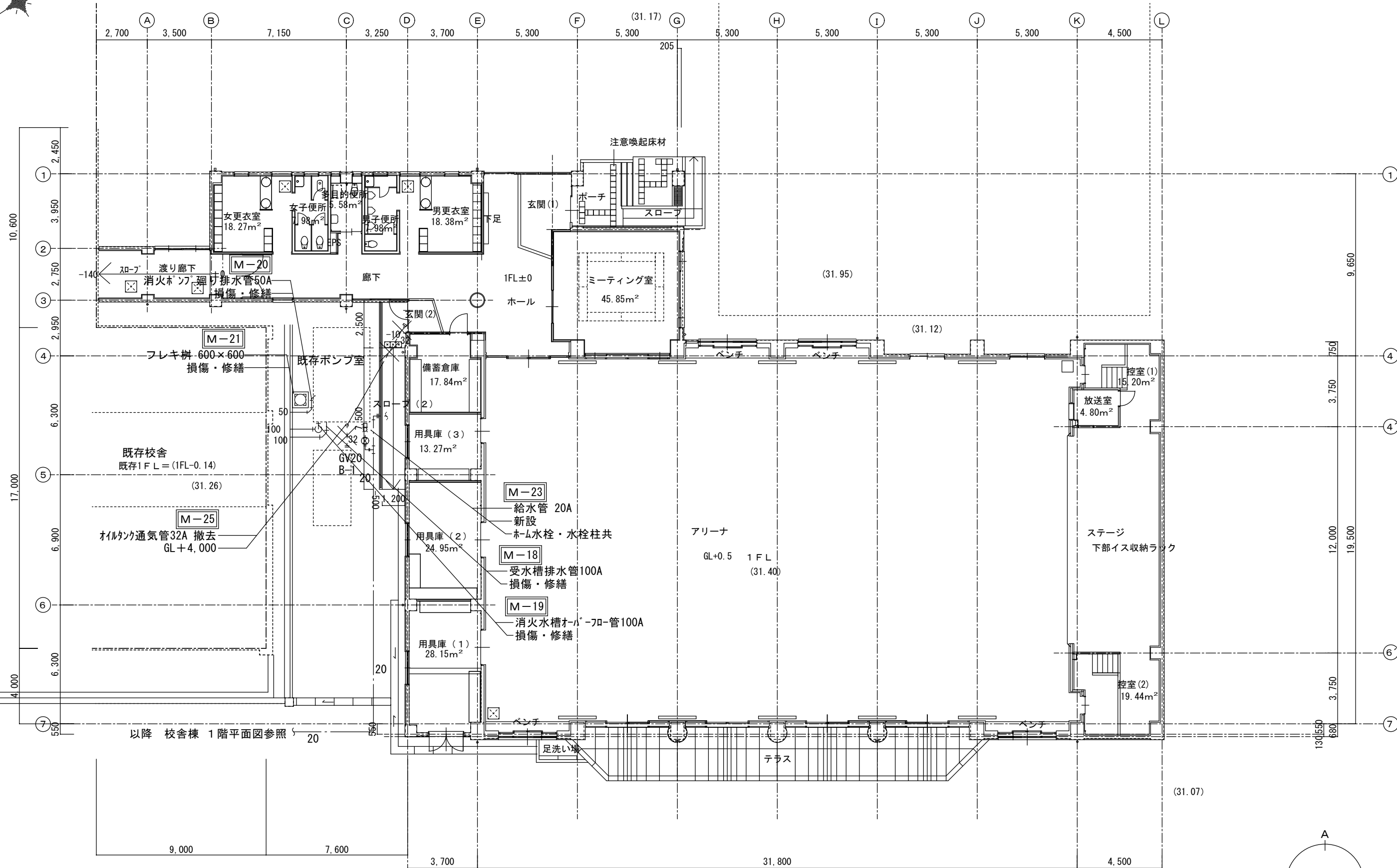
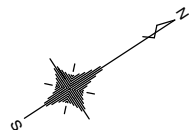
金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士 登録 第215321号
TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

工 事 名 称
旧鵜巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称
校舎棟 給排水空調設備 1階食堂・配膳室 詳細図

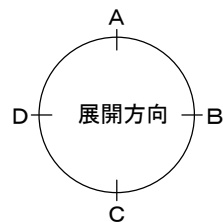
検 印
係 印
製 図
縮 尺
A1:1/50
A3:1/100

設 計 年 月 日
R8.2.4
図 面 番 号
M/6



1 階 平 面 図

凡例 校舎棟玄関±0を基準とし、
*** 既設床高さを示す。



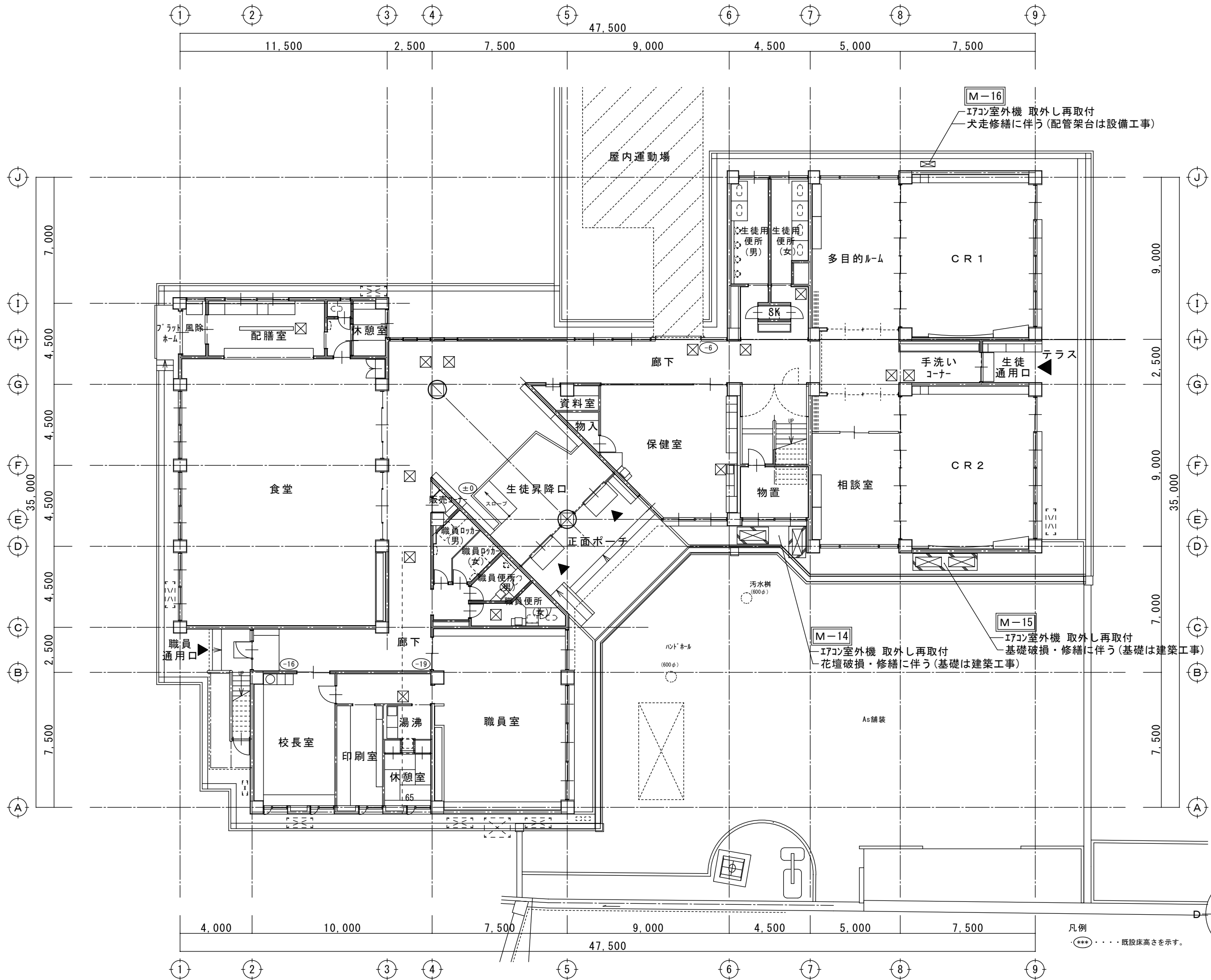
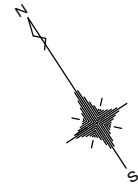
(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工事名称 旧鶴巣小学校災害復旧工事

図面名称 屋外ポンプ室 給排水設備 1階平面図

検印 係印 製図 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 設計年月日 R8.2.4 図面番号 M/7



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号
1級建築士 登録 第215321号
TEL (076) 222-5522
佐藤 和 仁

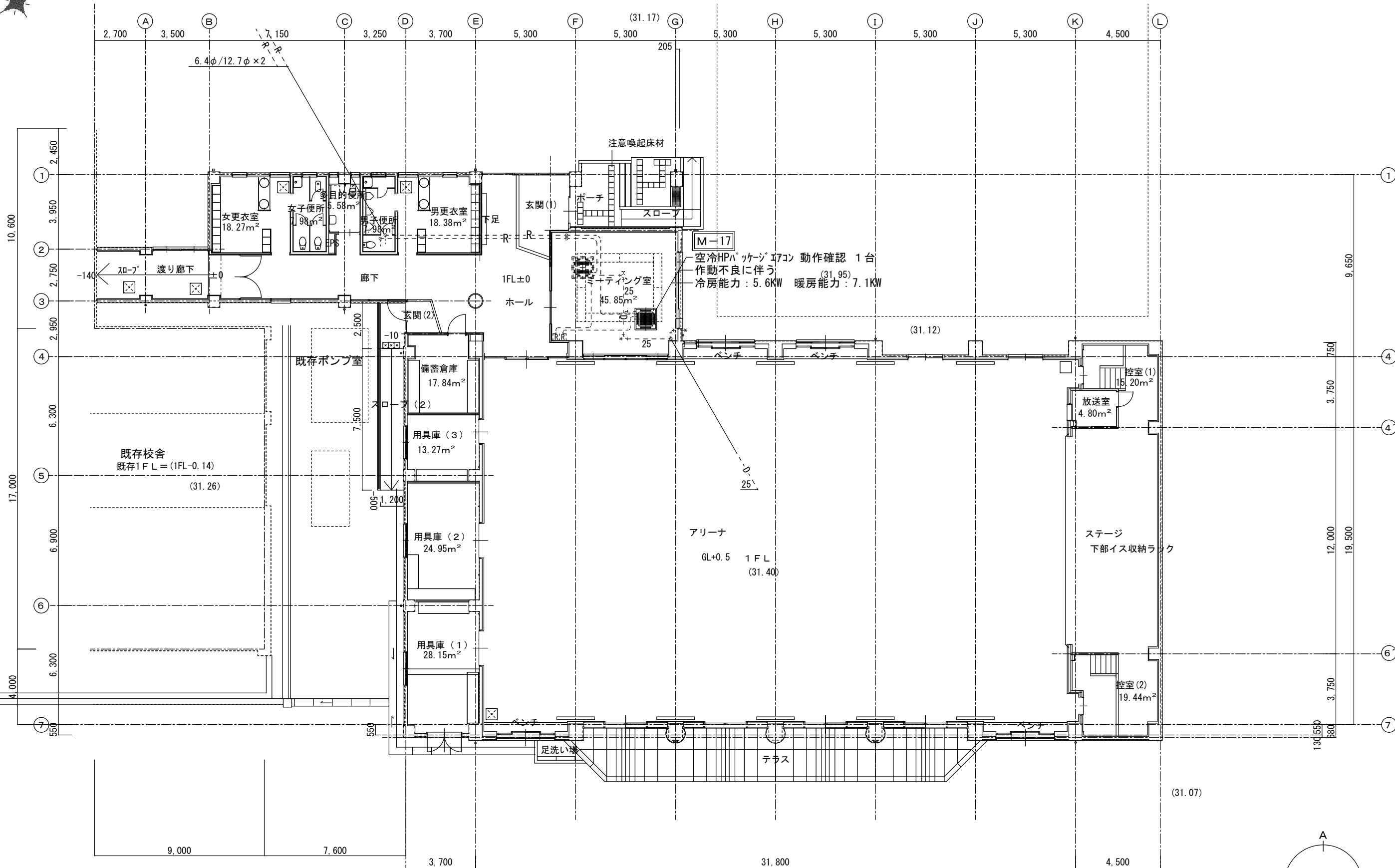
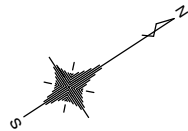
工 事 名 称
鶴巣小学校災害復旧工事

図 面 名 称
校舎棟 空調設備 1階平面図

検 印
係 印
製 図
縮 尺
A1:1/100
A3:1/200

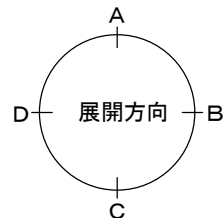
設 計 年 月 日
R8.2.4

図 面 番 号
M / 8



1 階 平 面 図

凡例 校舎棟玄関±0を基準とし、
*** 既設床高さを示す。



(株) ヒゲウコン建築事務所

金沢市笠舞3丁目23番13号 TEL (076) 222-5522
1級建築士登録第215321号 佐藤和仁

工事名称 旧鵜巢小学校災害復旧工事

図面名称 屋内運動場 空調設備 1階平面図

校印 係印 製図 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 設計年月日 R8.2.4 図面番号 M/9